2018/07

ACAD-DENKI 2019

# ACAD-Parts

## マニュアル

## （AutoCAD/BricsCAD 共通）

## 入門編

ACAD-Parts の操作を説明するためのマニュアルです。
必ずお読みください。

Alfatech

## 本マニュアルについて

本マニュアルは、ACAD-Parts の操作を説明するものです。
ACAD-Parts は予めインストール調整が済んでいることが前提です。

## ご注意

本マニュアルの内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。
本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますので了承ください。

AutoCAD は Autodesk 社の登録商標です。
BricsCAD は BRICSYS 社の登録商標です。

# ACAD-Parts 入門編マニュアル　目次


## 1 章. はじめに ..... 1

### 1-1. ACAD-Partsマニュアルについて ..... 2

#### 1-1-1. ACAD-Partsマニュアルの概要と目的 ..... 2

#### 1-1-2. ACAD-Partsについて ..... 2

### 1-2. 起動方法について ..... 4

#### 1-2-1. ACAD-Partsの起動方法 ..... 4

#### 1-2-2. Parts回路図・盤図照合の起動方法 ..... 6

#### 1-2-3. Parts外部ファイル照合の起動方法 ..... 7

#### 1-2-4. ACAD-Parts環境設定の起動方法 ..... 8

#### 1-2-5. 部品マスタメンテナンスの起動方法 ..... 8

#### 1-2-6. 部品マスタ設定の起動方法 ..... 8

## 2 章. 部品情報登録 ..... 9

### 2-1. 部品情報について ..... 10

#### 2-1-1. 部品情報とは ..... 10

#### 2-1-2. 部品情報登録の流れ ..... 10

### 2-2. 部品マスタ設定 ..... 11

#### 2-2-1. 部品マスタ設定について ..... 11

#### 2-2-2. 部品マスタ設定の起動 ..... 11

#### 2-2-3. 部品マスタ設定で登録した内容と表示 ..... 12

### 2-3. 部品マスタメンテナンス ..... 15

#### 2-3-1. データベースのイメージ ..... 15

#### 2-3-2. 部品マスタメンテナンスの起動と検索 ..... 15

#### 2-3-3. 部品情報の追加 ..... 17

#### 2-3-4. 出力ファイルへ書き出し ..... 18

#### 2-3-5. 入力ファイルから登録 ..... 20

#### 2-3-6. 登録内容の削除 ..... 23

#### 2-3-7. 部品マスタメンテナンスの終了 ..... 23

### 2-4. 付属品情報 ..... 24

#### 2-4-1. 付属品指定 ..... 24

#### 2-4-2. 付属品情報登録 ..... 26

2-4-3. 付属品情報・指定の解除 ..... 28
2-5. 端子情報登録 ..... 30
2-5-1. 端子情報の確認 ..... 30
2-5-2. 端子情報登録 ..... 32
2-5-3. 端子情報の削除 ..... 34
2-6. 部品マスタメンテナンスの行の色 ..... 36
2-6-1. 行色の説明 ..... 36
3 章. 部品情報抽出準備 ..... 37
3-1. ACAD-Parts環境設定 ..... 38
3-1-1. ACAD-Parts環境設定の起動 ..... 38
3-1-2. 部品表タブ ..... 38
3-1-3. 対象タブ ..... 40
3-1-4. 分類項目タブ ..... 42
3-1-5. 単位数量タブ ..... 42
3-1-6. 集約項目タブ ..... 43
3-1-7. ソート(集約)タブ ..... 44
3-1-8. 表示項目タブ ..... 45
3-1-9. 仮配置タブ ..... 46
3-1-10. ACAD-Parts 環境設定ダイアログタブ説明まとめ ..... 47
3-2. ファイルスタイルの作成 ..... 48
3-2-1. ファイルスタイルの選択イメージ ..... 48
3-2-2. ファイルスタイルの新規作成 ..... 49
3-3. 部品表テンプレート作成 ..... 51
3-3-1. 部品表テンプレートの選択イメージ ..... 51
3-3-2. 部品表テンプレートの新規作成 ..... 52
3-3-3. 部品表テンプレートの修正 ..... 56
3-4. 部品情報抽出から図面化までの流れ ..... 59
3-4-1. 部品情報抽出から図面作成までの図解 ..... 59
3-4-2. ファイルスタイル設定と部品表テンプレートについて ..... 60
4 章. 部品表作成 ..... 61
4-1. 部品情報抽出 ..... 62

4-1-1. 回路図面の作成 62
4-1-2. シンボル入力(部品マスタ) 64
4-1-3. 部品情報の抽出と反映 66
4-2. 部品表作成 70
4-2-1. 部品情報更新(部品マスタ) 70
4-2-2. 部品情報の集約 71
4-2-3. 部品表作成 72
5 章. 盤図コマンド 74
5-1. 器具仮配置 75
5-1-1. 新ページ作成 75
5-1-2. 器具仮配置操作 75
5-2. Parts外部ファイル照合 77
5-2-1. 情報の照合 77
5-3. Parts回路図・盤図照合 78
5-3-1. 情報の照合 78
5-3-2. 色の説明 78
5-3-3. 色の説明 79
6 章. 補足 80
6-1. こんな時は? 81
6-1-1. 設定 81
6-1-2. 操作 82

<<このページは白紙です。＞＞

# 1 章. はじめに

ACAD-Partsマニュアル(以下、本書と記述)の目的と流れ、及び、各メニューの起動方法について説明します。

# 1-1. ACAD-Partsマニュアルについて

本書について説明します。

## 1-1-1. ACAD-Partsマニュアルの概要と目的

本書はACAD-Partsの基本的な設定・操作方法について説明しています。
また基礎となるデータベースへの情報登録・編集操作図面へのシンボル配置・仮配置操作部品情報の抽出・編集・反映・情報照合操作部品表作成操作などについて説明します。
本書ではACAD-Partsの設定・操作の基本的な仕組みについて理解していただくことを目的としています。

本書の操作説明はご使用の弊社製品(ACAD-DENKI)のトレーニングマニュアルなどの基本操作を習得されていることを前提としています。
本書内で説明しています「使用属性の設定」「シンボル登録」などの詳細はコマンドヘルプトレーニングマニュアルを参照ください。

※本書の画面ダンプはあくまで一例です。環境により異なる場合があります。
　またCAD使用画面はBricsCADを例としています。
　AutoCADをご使用の場合はAutoCADに置き換えて参考ください。

## 1-1-2. ACAD-Partsについて

ACAD-Partsでは部品情報データベース[部品マスタ]を参照して以下のような処理を行うことができます。
・部品マスタから検索した部品情報を図面内の指定シンボルの属性へ転記
・プロジェクト内の図面から部品情報を抽出し編集した部品情報をシンボルの属性へ反映
・プロジェクト内の電気図面から抽出した部品情報を元にして器具配置図面上へ対応する外形図
　シンボルを仮配置
・プロジェクト内の電気図面と器具仮配置図面間での部品情報の過不足を照合
・プロジェクト内の図面から部品情報を抽出し部品表発注書図面を生成

ACAD-Partsマニュアルの流れ
本書の流れについてのフローチャートです。

| 1章.はじめに |
| --- |
| 本章の内容です。 |

↓

| 2章.部品情報登録 |
| --- |
| ACAD-Partsで最も重要となる部品情報とデータベースについて説明します。 |

↓

| 3章.部品情報抽出準備 |
| --- |
| 図面から部品情報を抽出するための準備作業と部品情報の抽出後に部品表を作成するための準備作業について説明します。 |

↓

| 4章.部品表作成 |
| --- |
| 図面から部品情報を抽出します。<br>その抽出データを元にして部品表の作成方法を説明します。 |

↓

| 5章.盤図コマンド |
| --- |
| その他図用の図枠を使用している図面を対象としたコマンド及びプロジェクト内の電気図面の配置部品と盤図面配置部品の比較方法について説明します。 |

↓

| 6章.補足 |
| --- |
| 操作をする上で参考になる章について解説します。 |

# 1-2. 起動方法について

ACAD-Partsの起動にはいくつかの操作方法があります。目的に応じて起動操作を選択します。
ACAD-Partsの各設定の起動方法についても説明します。

## 1-2-1. ACAD-Partsの起動方法

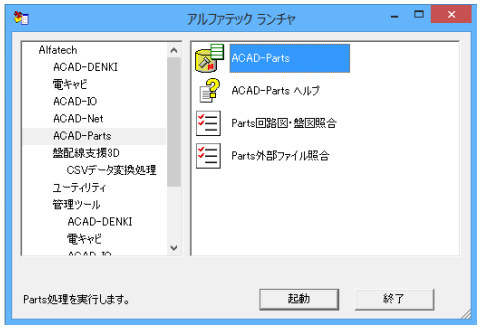
### ■ デスクトップアイコンからの起動

1. デスクトップのACAD-Partsアイコンを
ダブルクリックします。

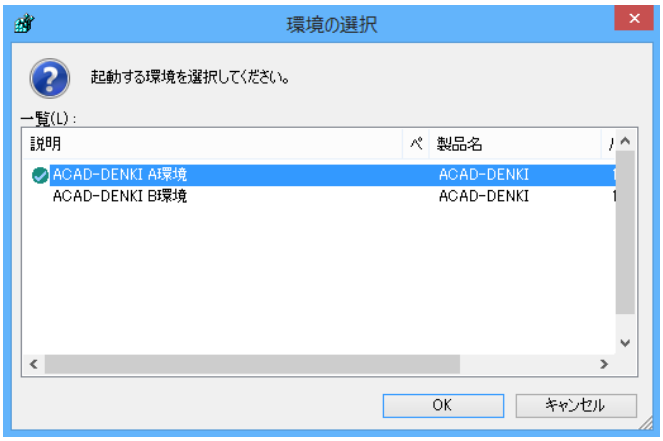
ACAD-Partsが起動します。

### ■ アルファテック ランチャーからの起動方法

1. スタートメニューから[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[ACAD-Parts]-[ACAD-Parts]を選択します。
ACAD-Partsが起動します。
※Windows7の場合は[スタート]-[プログラム]-[Alfatech]-[ACAD-Parts]-[ACAD-Parts]を選択します。



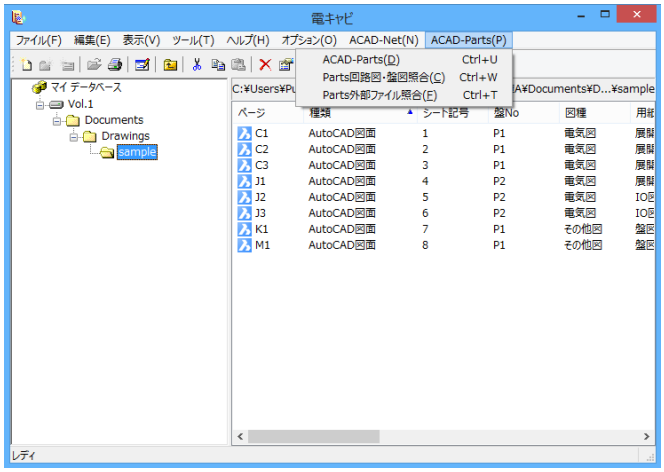

※上記の起動方法の場合ACAD-DENKIの環境が複数あれば起動環境の選択ダイアログが表示されます。



## ■ 電キャビからの起動方法

1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。
もしくはデスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。

電キャビが起動します。
右図の電キャビ起動画面はACAD-DENKIのSampleフォルダを使用した例です。




2. 対象フォルダを選択します。

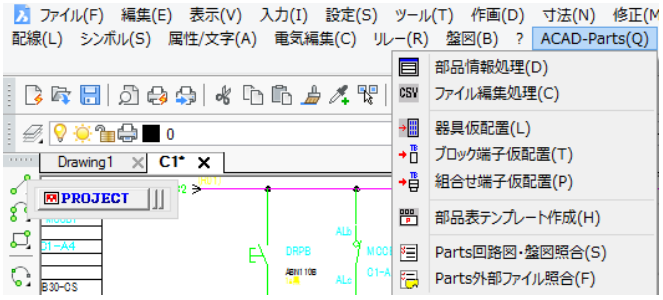
右図例ではSampleフォルダを選択しています。

3. 電キャビメニューから[ACAD-Parts]-[ACAD-Parts]を選択します。
ACAD-Partsが起動します。

## ■ CADメニューからの起動

ACAD-DENKIを起動後にプロジェクトを指定して図面を開きます。

ACAD-DENKIで開いているプロジェクト内の図面を対象にCADメニュー[ACAD-Parts]-[部品情報処理]から部品情報を抽出すると編集画面が起動します。

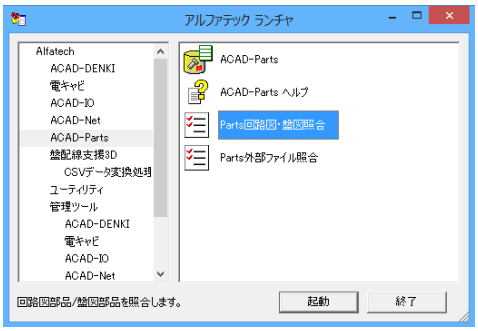


# 1-2-2. Parts回路図・盤図照合の起動方法

## ■ アルファテック ランチャーからの起動方法

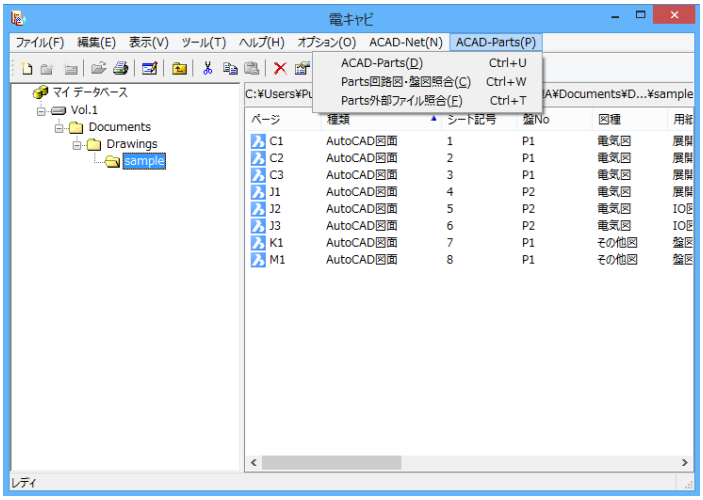
1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[ACAD-Parts]-[Parts回路図・盤図照合]を選択します。

   Parts回路図・盤図照合が起動します。




## ■ 電キャビからの起動方法

1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。
   もしくはデスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。
   電キャビが起動します。
   右図の電キャビ起動画面はACAD-DENKIのSampleフォルダを使用した例です。




2. 対象フォルダを選択します。
   右図例ではSampleフォルダを選択しています。

3. 電キャビメニューから[ACAD- Parts]-[Parts回路図・盤図照合]を選択します。
   Parts回路図・盤図照合が起動します。

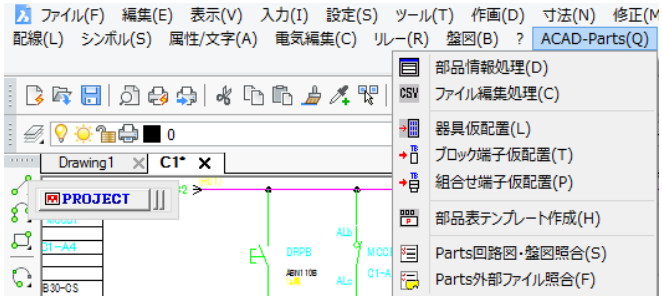
## ■ CADメニューからの起動

ACAD-DENKIを起動後にプロジェクトを指定して図面を開きます。

ACAD-DENKIで開いているプロジェクト内の図面を対象にCADメニュー[ACAD-Parts]-[部品情報処理]から部品情報を抽出します。

その後右図メニューから「Parts回路図・盤図照合」選択します。

編集画面が起動します。

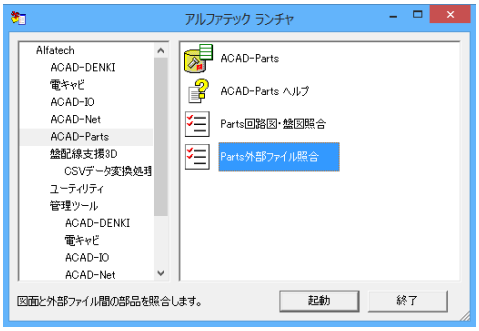


# 1-2-3. Parts外部ファイル照合の起動方法

## ■ アルファテック ランチャーからの起動方法

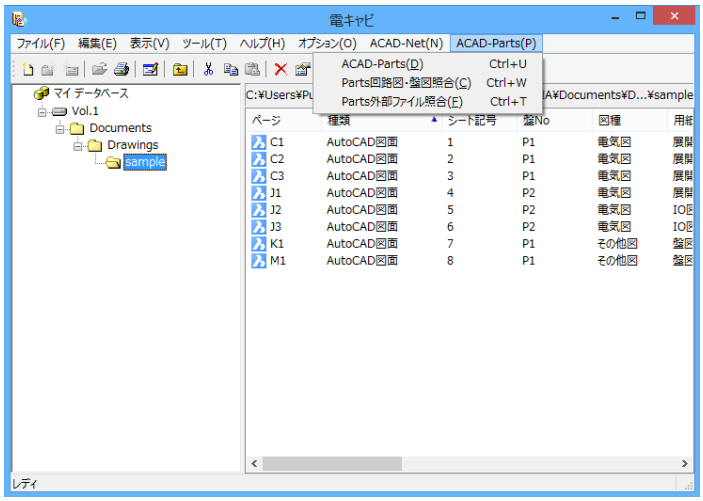
1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[ACAD-Parts]-[Parts外部ファイル照合]を選択します。

Parts回路図・盤図照合が起動します。




## ■ 電キャビからの起動方法

1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。
もしくはデスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。
電キャビが起動します。
右図の電キャビ起動画面はACAD-DENKIのSampleフォルダを使用した例です。




2. 対象フォルダを選択します。

右図例ではSampleフォルダを選択しています。

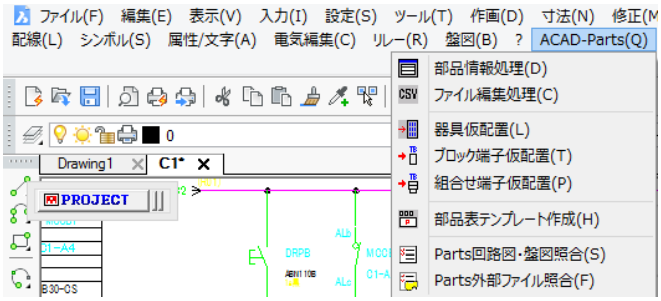
3. 電キャビメニューから[ACAD-Parts]-[Parts外部ファイル照合]を選択します。
Parts外部ファイル照合が起動します。

## ■ CADメニューからの起動

ACAD-DENKIを起動後にプロジェクトを指定して図面を開きます。

ACAD-DENKIで開いているプロジェクト内の図面を対象にCADメニュー[ACAD-Parts]-[部品情報処理]から部品情報を抽出します。

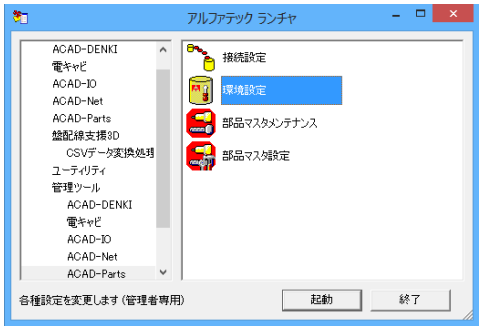
その後右図メニューから
「Parts外部ファイル照合」選択します。




編集画面が起動します。

## 1-2-4. ACAD-Parts環境設定の起動方法

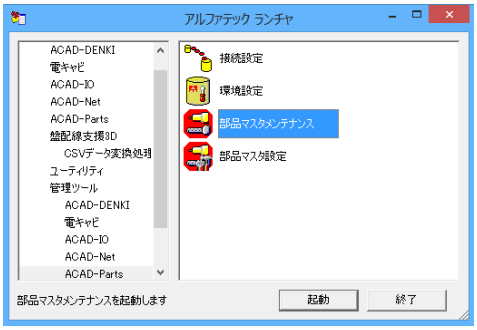
1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[環境設定]を選択します。




ACAD-Parts環境設定が起動します。

## 1-2-5. 部品マスタメンテナンスの起動方法

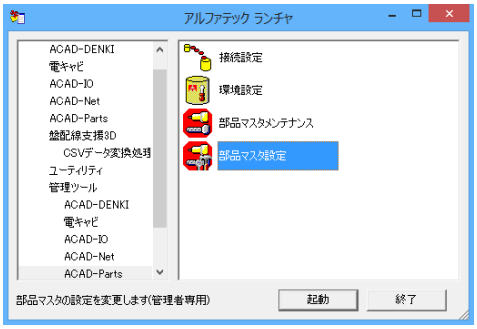
1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択します。




部品マスタメンテナンスが起動します。

## 1-2-6. 部品マスタ設定の起動方法

1. [スタート]-[アルファテック ランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタ設定]を選択します。




部品マスタ設定が起動します。

# 2 章. 部品情報登録

ACAD-Partsで最も重要となる、部品情報とデータベースについて説明します。

# 2-1. 部品情報について

ACAD-Partsではデータベースに登録された部品情報を元に情報の検索・反映などを行います。

## 2-1-1. 部品情報とは

部品情報とは部品に含まれる定格・型式・メーカー名などの情報です。
部品の情報項目は回路図面に表示する項目盤図面に表示する項目部品表・発注書などの帳票に必要な項目などすべての項目を考慮した上で登録します。

## 2-1-2. 部品情報登録の流れ

| 部品マスタ設定 |
| --- |
| 部品情報を登録する部品マスタメンテナンスに表示する項目の設定を行います。 |

↓

| 部品マスタメンテナンス |
| --- |
| 部品情報が登録されているデータベース[部品マスタメンテナンス]を起動し登録内容から必要な情報を検索・表示させます。情報の登録や編集方法について説明します。 |

# 2-2. 部品マスタ設定

部品情報を登録する部品マスタメンテナンスに表示する項目の設定を行います。

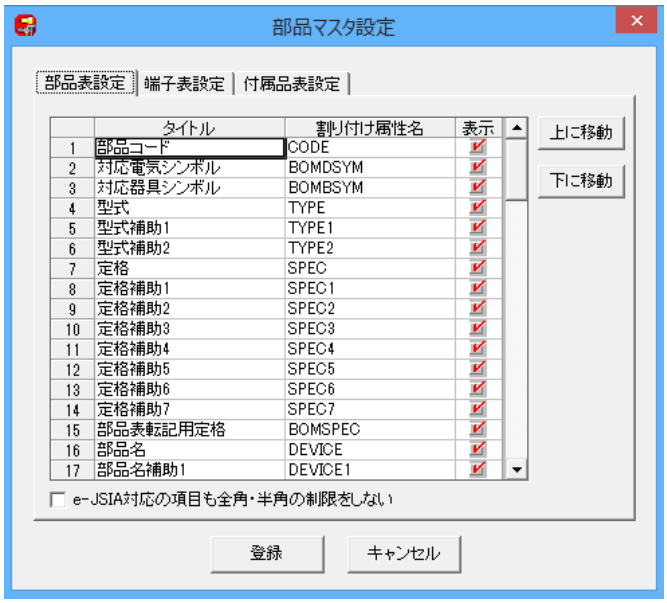
## 2-2-1. 部品マスタ設定について

部品マスタ設定では「部品表設定」「端子表設定」「付属品表設定」を行います。
各項目では表示する項目のタイトル名の編集と表示・非表示及び表示順序の設定を行います項目行の新規追加/削除は行えません。
「端子表設定」「付属品表設定」の設定は省略可能です。

## 2-2-2. 部品マスタ設定の起動

1. [スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech] -[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタ設定]を選択します。

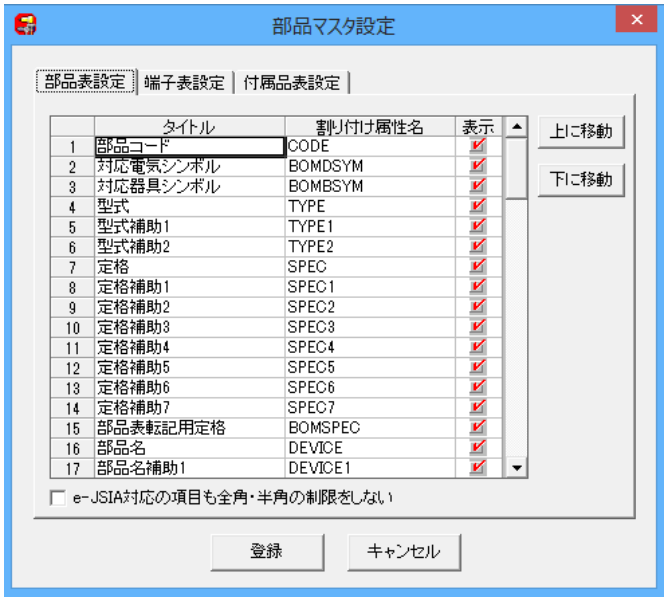
部品マスタ設定ダイアログの「部品表設定」タブが表示されます。



## 2-2-3. 部品マスタ設定で登録した内容と表示

1. [部品マスタ設定]で表示設定した項目は部品マスタメンテナンスの表示項目となります。

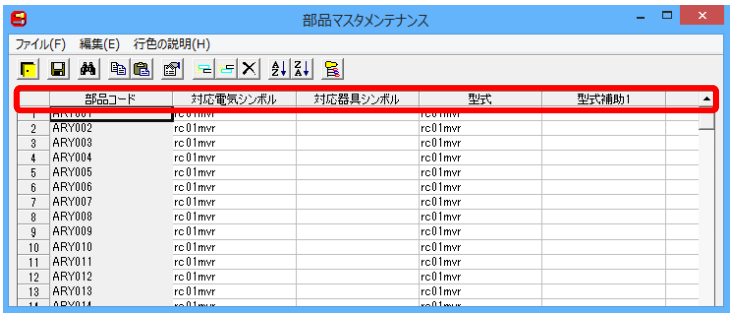
※ここで項目行を追加することはできません。表示されていない属性を使用したい場合は備考欄「備考1～備考7」を編集してください。




■ 表示

右図は[スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択し部品情報を登録する"部品マスタメンテナンス画面を表示した例です。

表示項目は「部品マスタ設定」の部品表タブで設定されています。

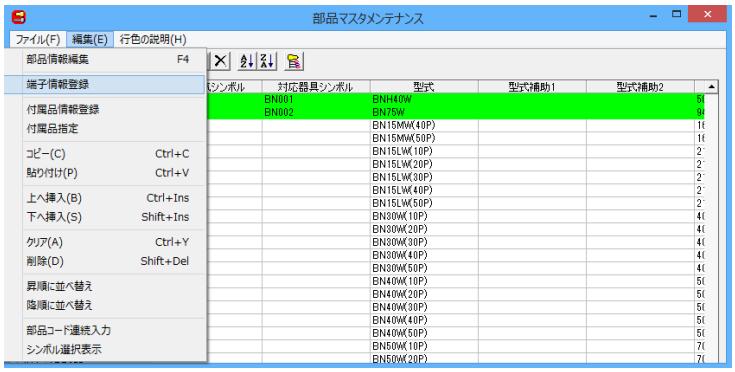



2.「端子表設定」タブをクリックします。

部品マスタメンテナンスで部品コードに対して登録する端子情報項目の表示/非表示を設定します。

■ 表示

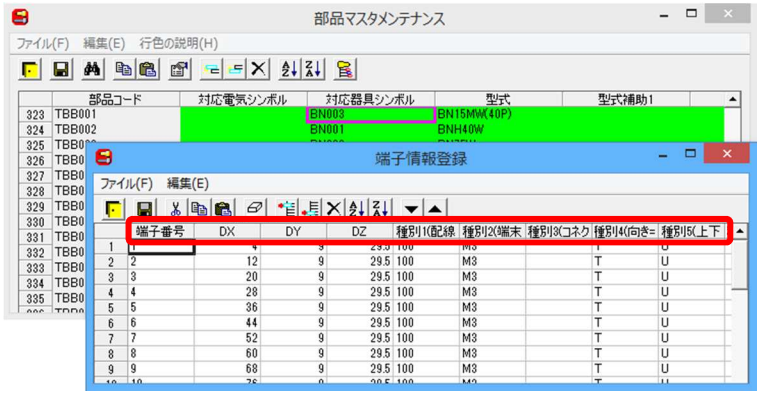
右図は[スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択し、部品情報を登録する"部品マスタメンテナンス"画面を表示した例です。




[部品表設定]タブで設定した項目は部品マスタメンテナンスの表示項目となります。

端子情報を登録する行を選択し[編集]-[端子情報登録]を選択します。

端子情報登録ダイアログが表示されます。



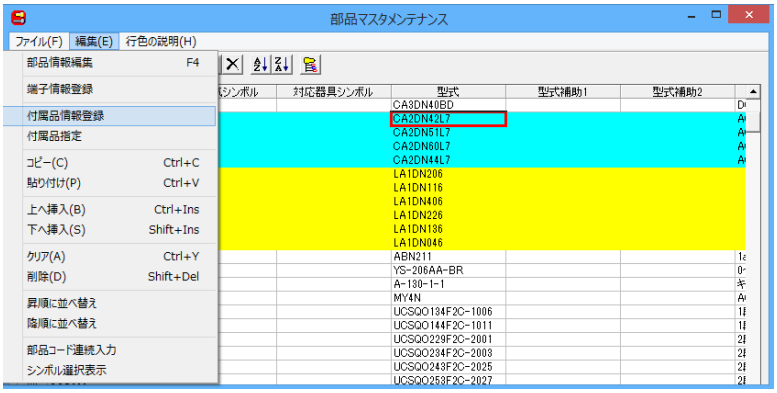

表示される項目は「部品マスタ設定」の"端子表設定"タブで表示設定されている項目です。

3.「付属品表設定」タブをクリックします。

部品マスタメンテナンスで部品に対して登録する付属品情報項目のタイトルを設定します。

■ 表示

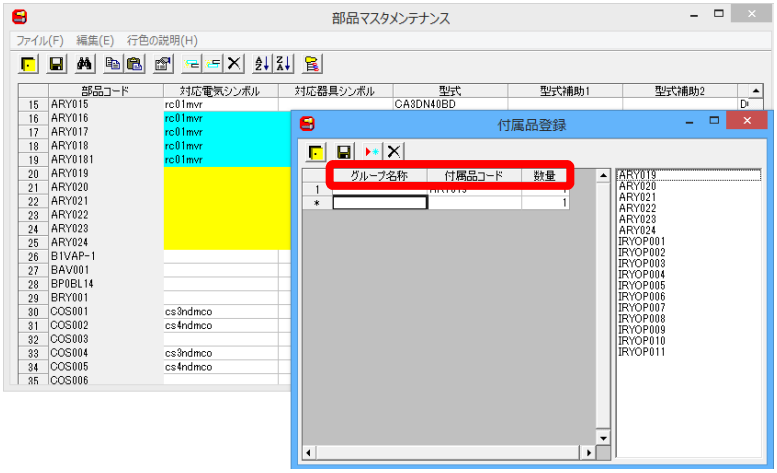
右図は[スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択し、部品情報を登録する、"部品マスタメンテナンス"画面を表示した例です。




付属品情報を登録する行を選択し[編集]-[付属品情報登録]を選択します。

付属品登録ダイアログが表示されます。

この項目は「部品マスタ設定」の"付属品表設定"タブで表示設定されている項目です。

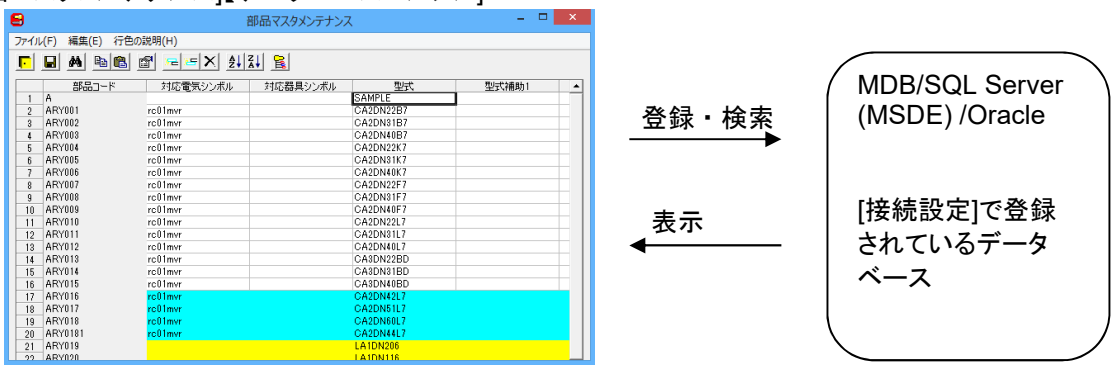


# 2-3. 部品マスタメンテナンス

部品マスタメンテナンス(部品情報が登録されているデータベース)を起動し、必要な情報を検索・表示させます。部品マスタメンテナンスへの情報の登録や編集方法について説明します。

## 2-3-1. データベースのイメージ

「部品マスタメンテナンス」とはACAD-Partsで使用する部品情報の基礎となるデータの登録先および部品検索時の参照先です。ACAD-Partsで大変重要となります。
【部品マスタメンテナンス】【データベースエンジン】

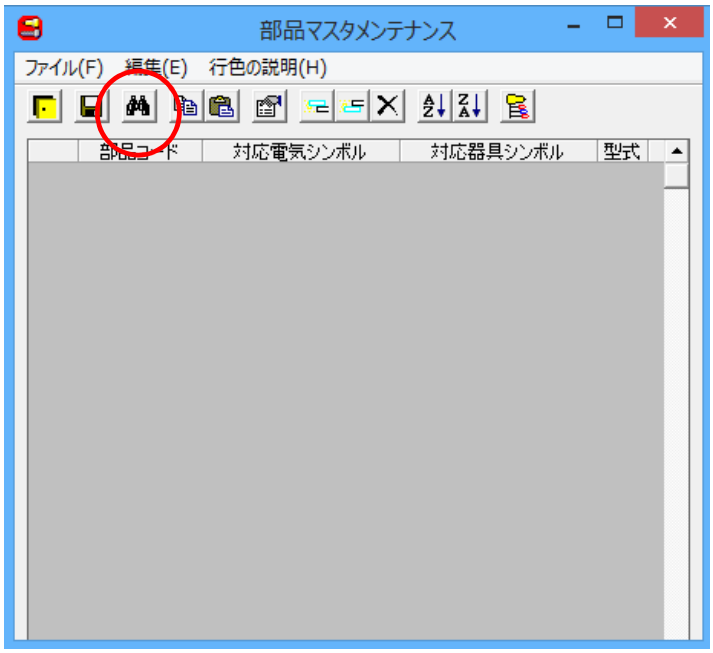



接続設定に関しましては「データベース接続設定マニュアル」を参照ください。

## 2-3-2. 部品マスタメンテナンスの起動と検索

1. [スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択します。

右図は初期起動画面です。




2. 部品マスタメンテナンスダイアログが表示されます。

(検索)をクリックします。

キーとなる項目を指定して必要な部品情報を絞込み検索します。

部品マスタメンテナンスに表示される項目[部品コード][対応電気シンボル]などは「部品マスタ設定」で設定された項目です。

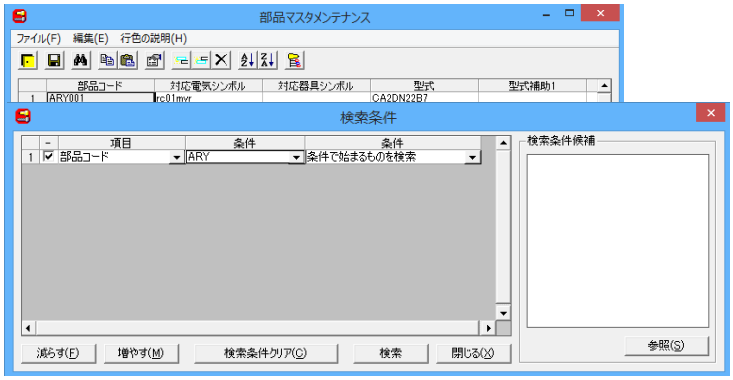
**3.** 部品検索ダイアログが表示されます。

項目の をクリックして選択します。

本例では"部品コード"を選択します。

※"部品コード"は全ての部品に必要な情報です。

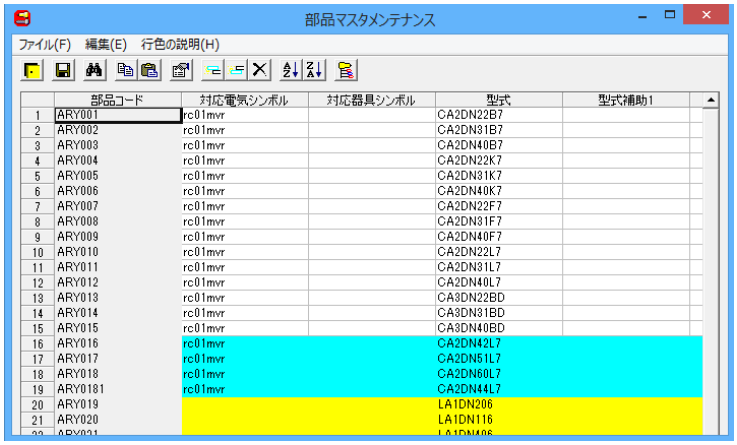
**4.** 部品条件を入力します。




条件:ARY(入力)
条件:条件を含むものを検索
(選択)

**5.** 検索 をクリックします。

「検索条件候補」に検索条件に該当する部品コードが表示されます。




**6.** 閉じる(X) をクリックします。
検索条件ダイアログが閉じます。

**7.** 閉じる をクリックします。

検索結果が終了します。

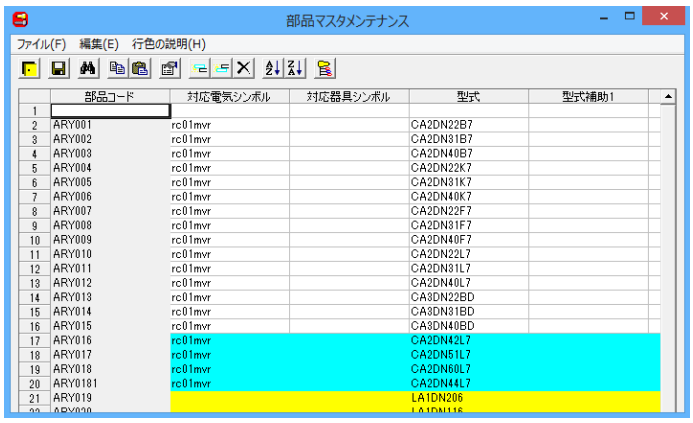
本例の検索条件"ARY"で表示される結果はACAD-Partsの初期に提供されているデータベースの登録情報を元にした一例です部品マスタメンテナンスへの登録内容によっては異なる結果が表示される場合もあります。

## 2-3-3. 部品情報の追加

**1.** 登録する行を追加します。

(上へ挿入)をクリックします。

カーソルのある行の上に空行が 1 行追加されます。

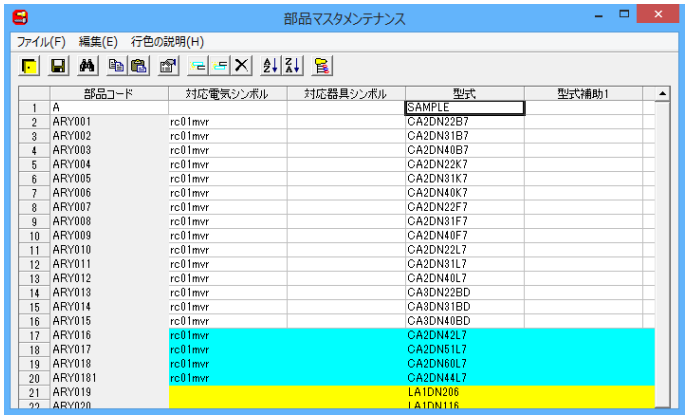



**2.** 追加した行に情報を入力します。

本例では下記のように入力します。

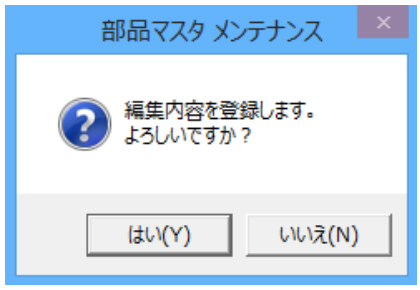
部品コード:A
型式:SAMPLE

(登録)をクリックします。




**3.** 確認のダイアログが表示されます。

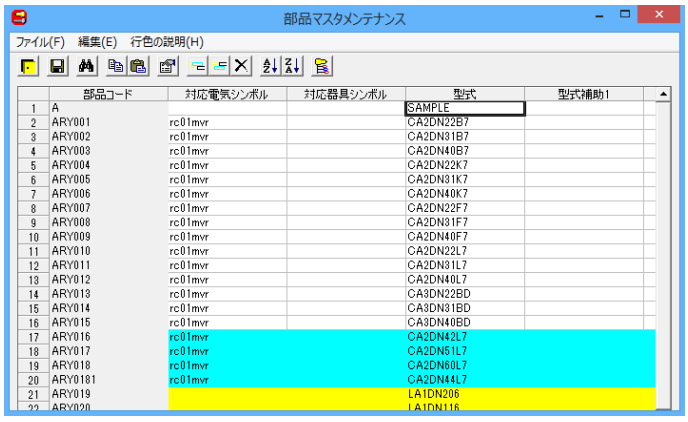
をクリックします。




**4.** 登録された行は部品コードがグレーアウトされます。

登録した行の内容を編集します。

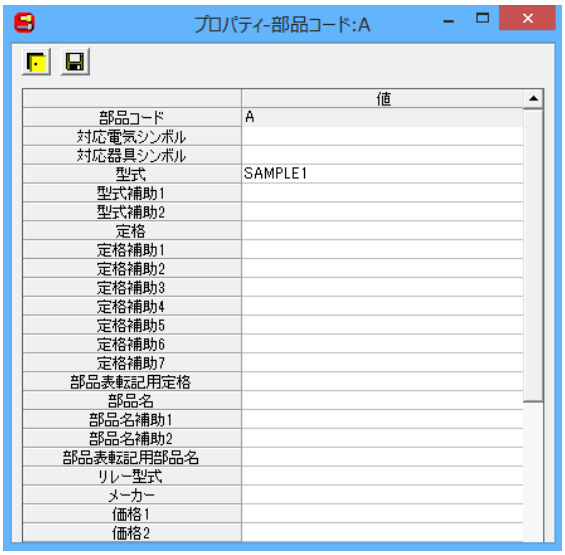
編集する行を選択し、
(部品情報編集) をクリックします。



5. プロパティ部品コード*ダイアログが表示されます

(*は選択行の部品コードが表示)

本例では型式を"型式:SAMPLE1"と変更しています。




(保存)をクリックします。
プロパティダイアログが終了し部品マスタメンテナンスの選択で行の情報が更新されます。

部品マスタメンテナンスの(登録)をクリックして内容を登録します。

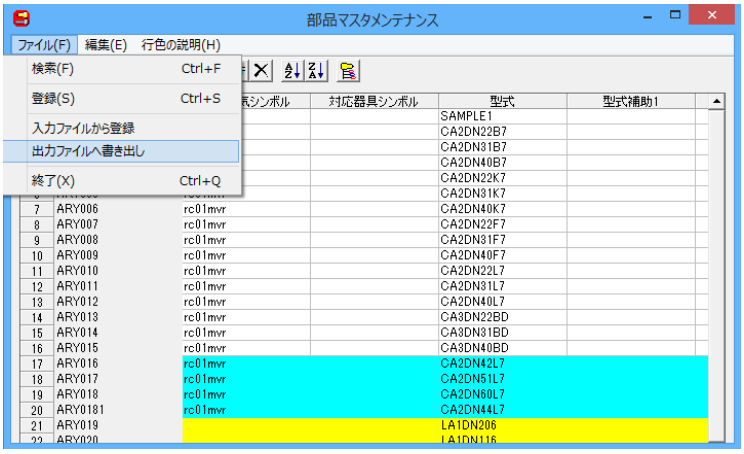
※部品マスタメンテナンスの行を直接編集して内容の変更を行うこともできます。
※"部品コード"の変更は行えません。
　部品コードを変更する場合は一旦該当する部品情報行を削除して新規に追加してください。

## 2-3-4. 出力ファイルへ書き出し

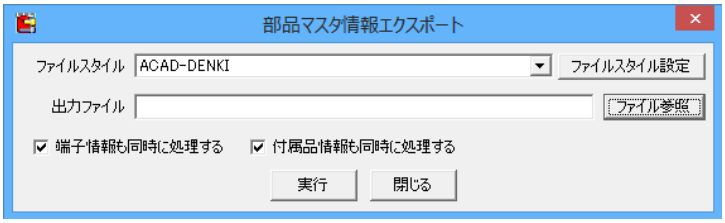
部品マスタメンテナンスの登録内容を外部ファイル(CSV)へ書き出します。

**【確認操作】**

1. [ファイル]-[出力ファイルへ書き出し]を選択します。




2. 部品マスタ情報エクスポートダイアログが表示されます。



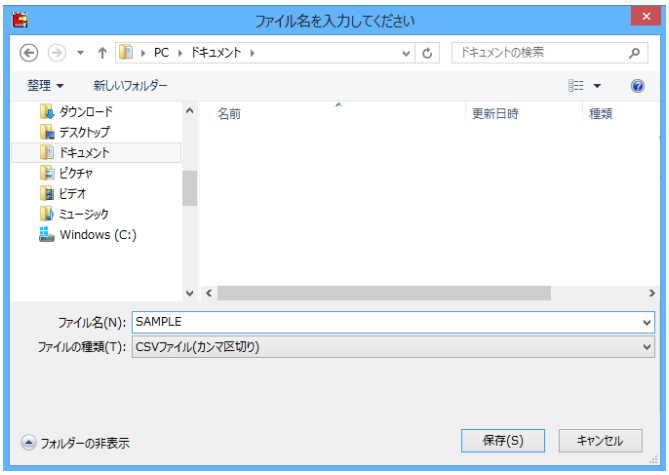

ファイル参照 をクリックします。

**3.** ファイル名を入力してください
ダイアログが表示されます。

ファイル名を入力します。本例では
"SAMPLE"としています。

既存のファイルを選択した場合は上書
きします。

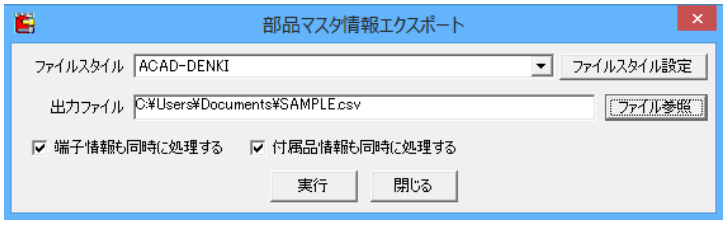
保存(S) をクリックします。




**4.** 部品マスタ情報エクスポートダイアロ
グに戻ります。

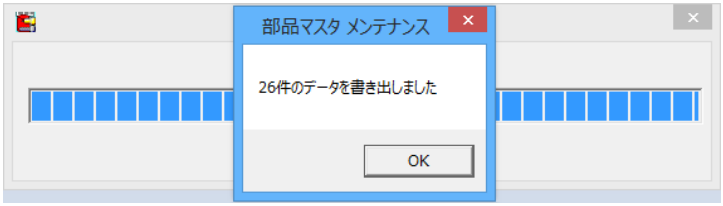
実行 をクリックします。

情報がエクスポートされます。

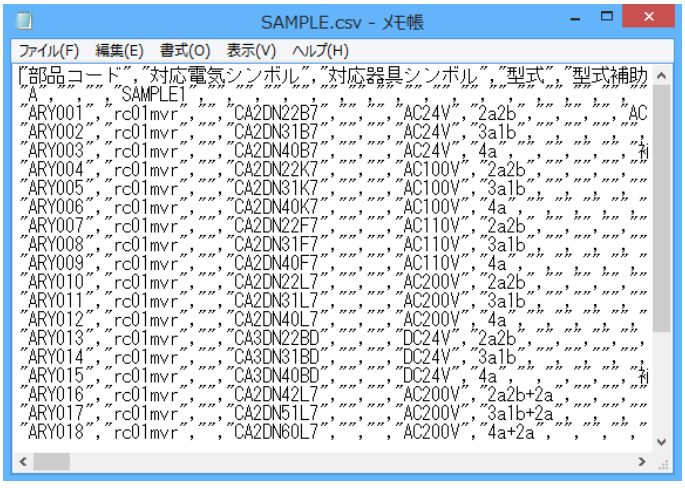



**5.** 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。




出力したファイルをメモ帳で表示した例です。




エクスポートにかかる時間について
※登録件数・使用のデータベース・ネットワーク環境によって異なります。
※登録件数が多い(数万点)場合、また共有環境を使用時の接続状態によっては時間を要する場合があります。

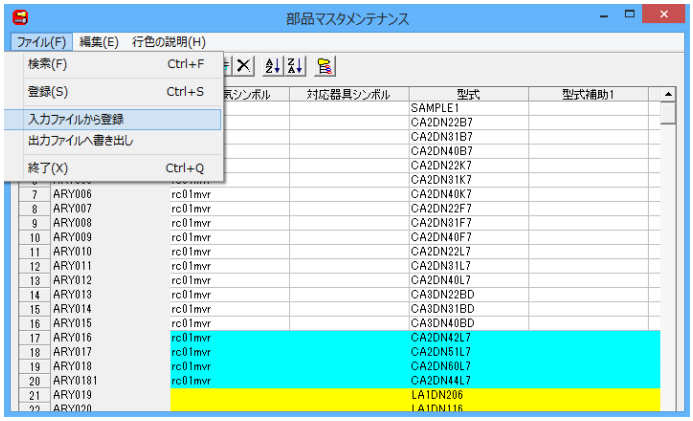
## 2-3-5. 入力ファイルから登録

外部ファイル(CSV)から部品マスタメンテナンスに情報を登録します。

本例では右図のような内容を登録します。

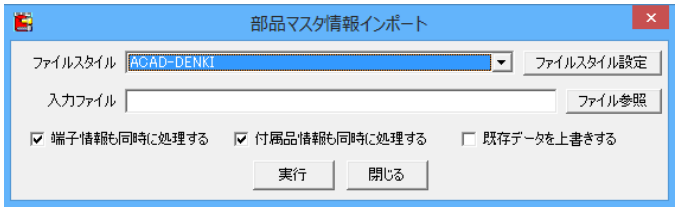
※右図は一例です。ACAD-Parts提供
サンプルではありません。確認用に
ご使用になれる外部ファイルがない
場合は操作の確認のみを行ってください。

1. [ファイル]-[入力ファイルから登録]を選択します。




2. 部品マスタ情報インポートダイアログが表示されます。

ファイルスタイル設定 をクリックします。



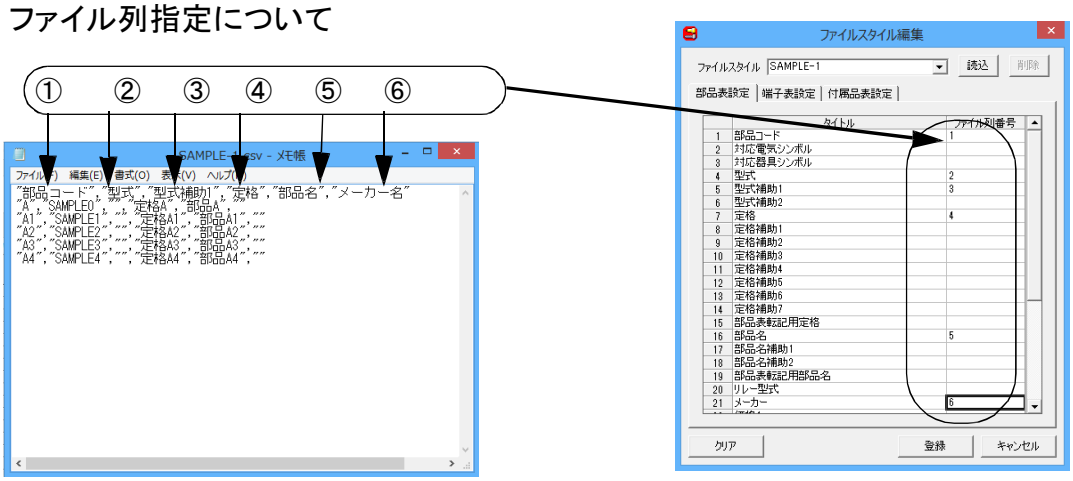
**3.** ファイルスタイル編集ダイアログが表示されます。

ファイル名を入力します。本例では "SAMPLE-1"と入力しています。

ファイル列番号を指定します。CSV の記述順と転記する項目を一致させるように入力します。

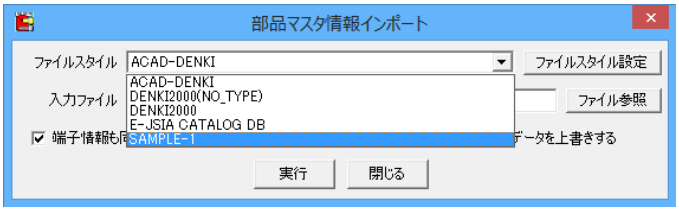
登録 をクリックします。

## ■ ファイル列指定について




CSVファイルの項目記述順番にあわせてファイル列指定欄に番号を記述してください。

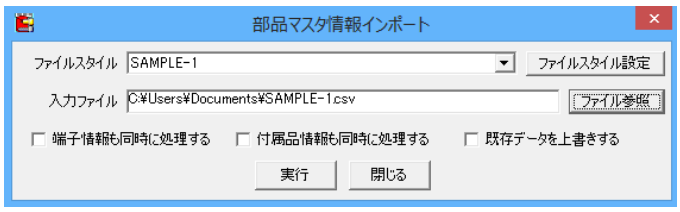
**4.** 部品マスタ情報インポートダイアログに戻ります。



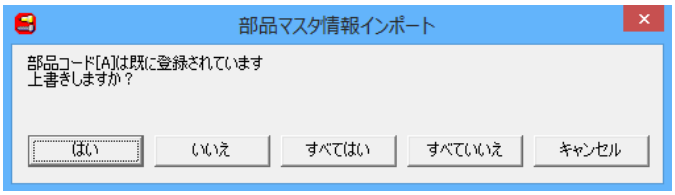

ファイルスタイルと入力ファイル (本例では"SAMPLE-1") を選択します。

本例では端子情報・付属品情報はありませんのでチェックを外しています。

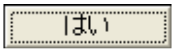
実行 をクリックします。



5. 既に登録された部品コードと重複するものがあった場合は、図のようなメッセージが表示されます。



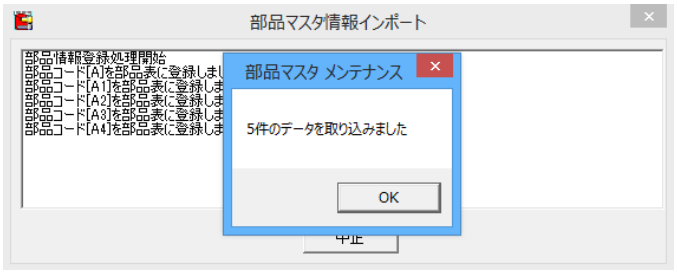

本例では上書きしますので




をクリックします。

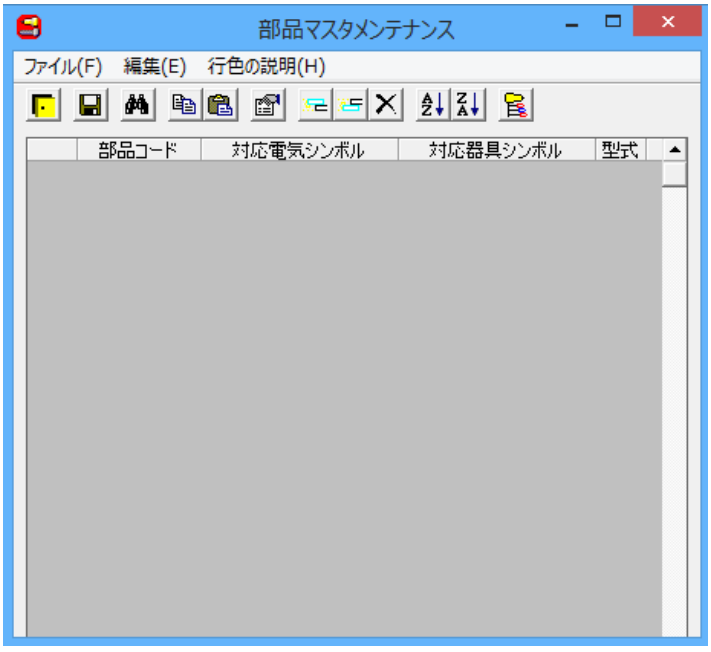
6. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。



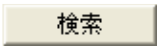

7. 部品マスタメンテナンスダイアログが表示されます。

(検索)をクリックします。



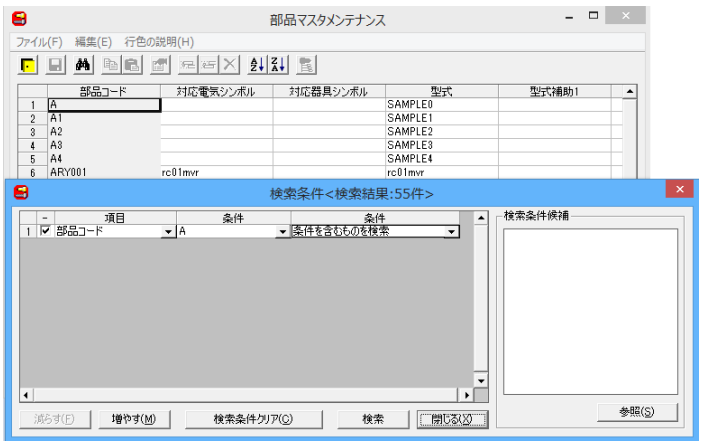

8. 検索条件ダイアログが表示されます。

本例では"部品コード:A"として




をクリックした例です。

登録した"A ～ A4"が表示されています。



## 2-3-6. 登録内容の削除

登録済み内容の削除方法について説明します。

1. 削除する行を選択します。

(削除)をクリックします。

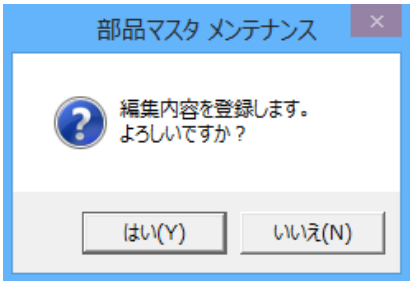
2. 削除指定した行がグレーアウトされます。

(登録)をクリックします。

3. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。

※保存を行うと元に戻せませんのでご注意ください。




## 2-3-7. 部品マスタメンテナンスの終了

部品マスタメンテナンスダイアログを終了します。

(終了)をクリックします。

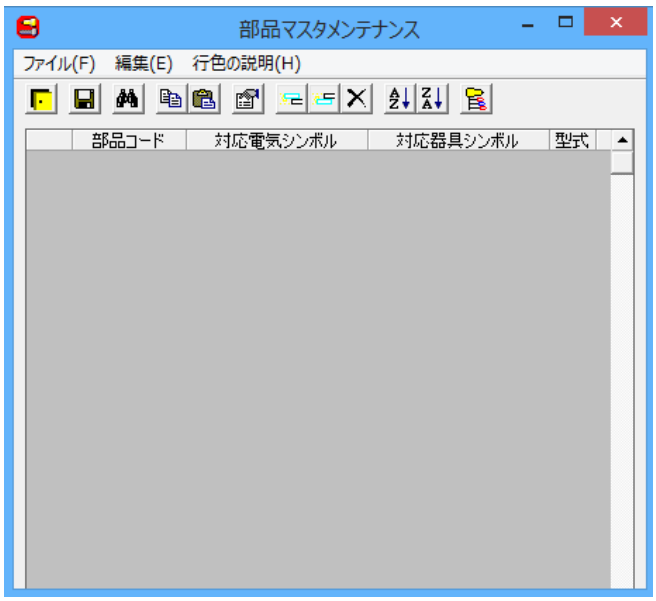
部品マスタメンテナンスが終了します。

# 2-4. 付属品情報

登録した部品情報を元に付属品の指定を行います。付属品情報の処理を行わない場合は「付属品情報」の操作は不要です。

## 2-4-1. 付属品指定

1. [スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]を選択します。




2. 部品マスタメンテナンスダイアログが表示されます。

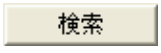
   初期表示は内容が表示されません。
   ここから各項目をキーに部品情報の絞込み検索を行い、必要な情報を表示させます。

3. (検索)をクリックします。

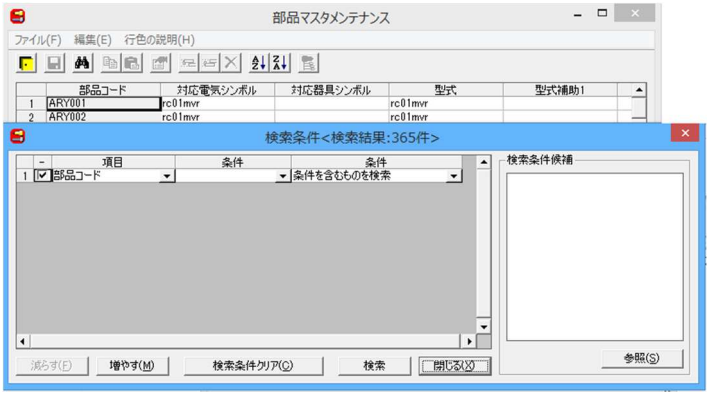
4. 検索条件ダイアログが表示されます。

   検索項目の をクリックし選択します。
   本例では"部品コード"を選択します。

   ※"部品コード"は全ての部品に必要な情報です。

5.  をクリックします。

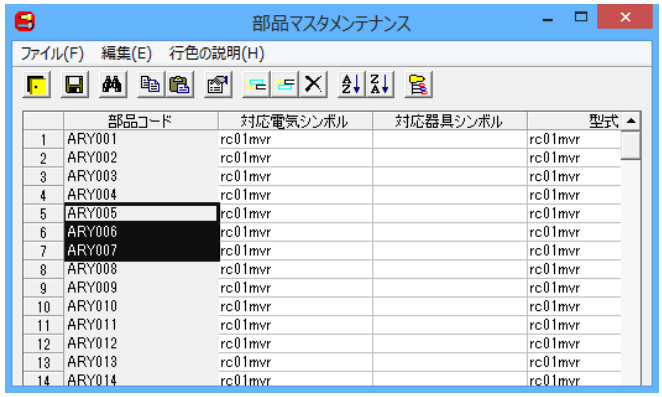
6. 条件を指定していませんので全ての情報が表示されます。



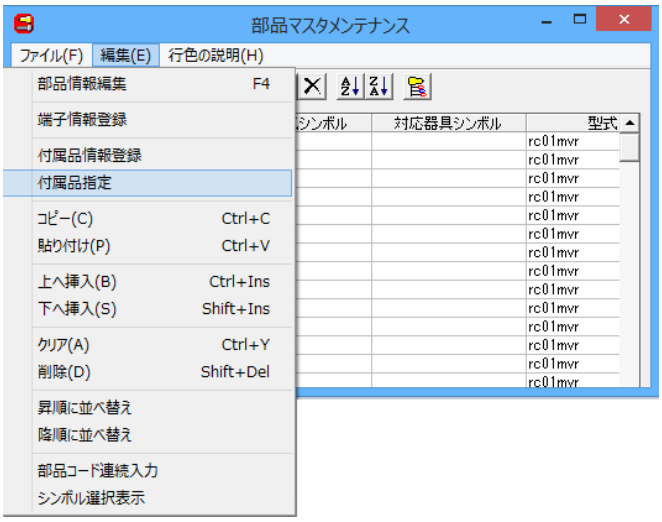

   をクリックします。

7. 付属品に指定する情報を選択します。

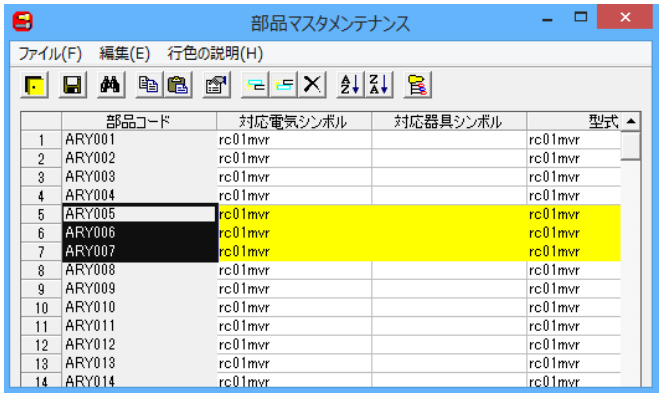
本例では"ARY005,ARY006,ARY007"を選択しています。




8. [編集]-[付属品指定]を選択します。

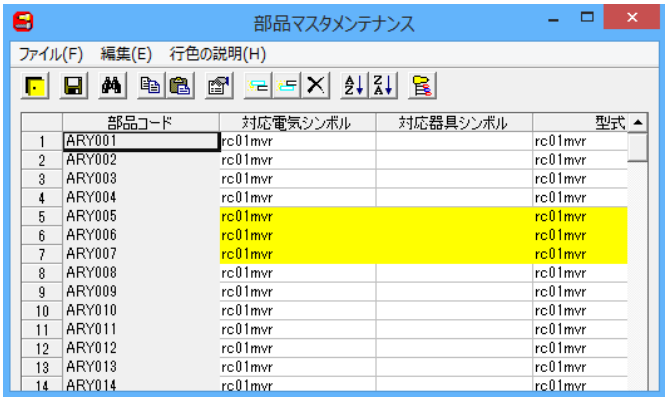



9. 選択した行の色が"付属品(黄色)"の色に変わります。

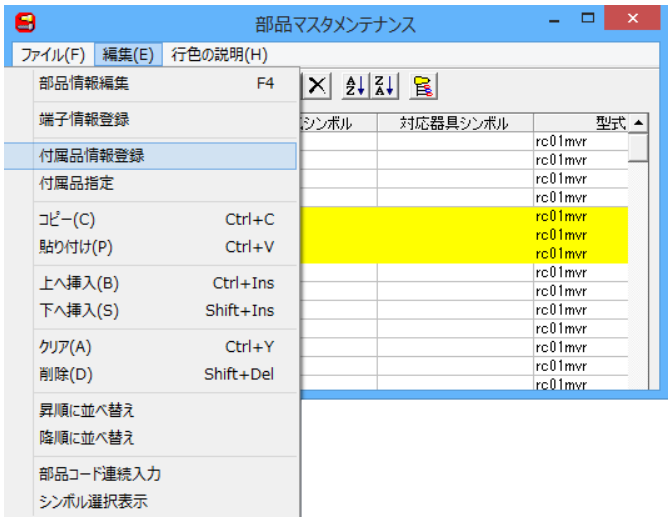


## 2-4-2. 付属品情報登録

1. 付属品情報を登録する行を選択します。
本例では"ARY001"を選択しています。




2. [編集]-[付属品情報登録]を選択します。

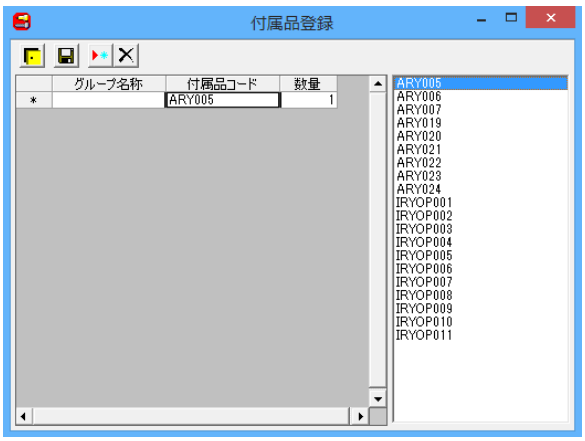



3. 付属品登録ダイアログが表示されます。

右側の一覧には「付属品指定」された
行の部品コードが一覧表示されます。

**4.** 追加する付属品の行をダブルクリックします。

本例では "ARY005" を選択しています。
左側の [付属品コード] に指定したコードが表記されます。




**5.** 複数の付属品を追加します。

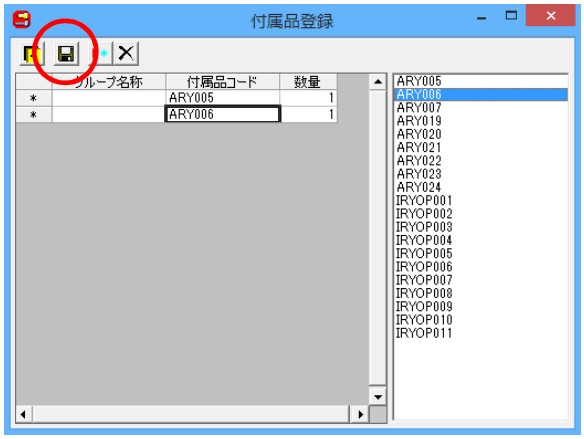
(追加)をクリックします。
新しい行が追加されます。

**6.** 同様の手順で追加する付属品の行をダブルクリックします。

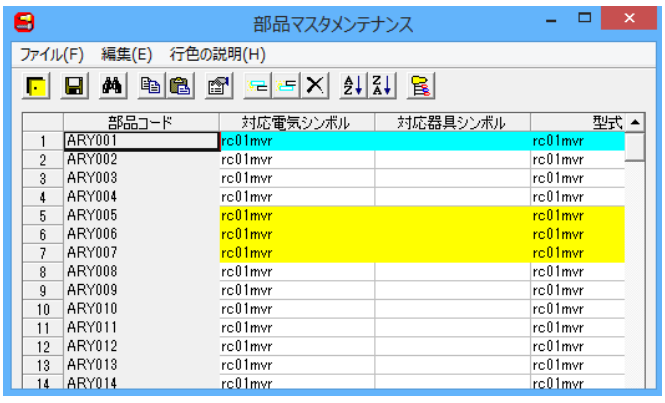
本例では"ARY006"を選択しています。

(保存)をクリックします。

付属品登録ダイアログが終了します。



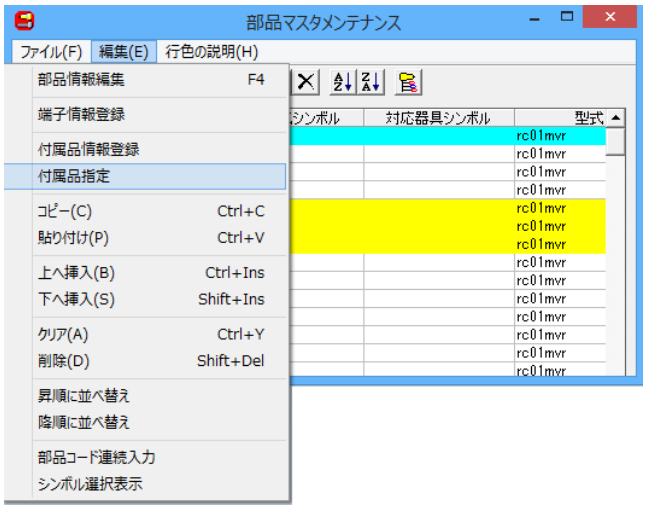

**7.** 選択した行の色が"付属品を持つ部品(水色)"の色に変わります。



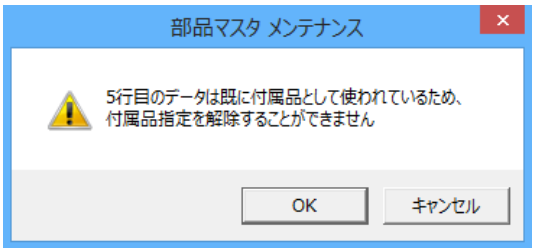
## 2-4-3. 付属品情報・指定の解除

1. 情報を解除する行を選択します。
本例では
"ARY005,ARY006,ARY007"を選択しています。

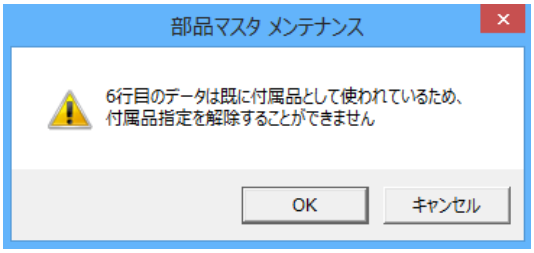
[編集]-[付属品指定]を選択します。




2. 他の行のデータで付属品として割りついている情報をそのまま付属品指定解除することは出来ません。

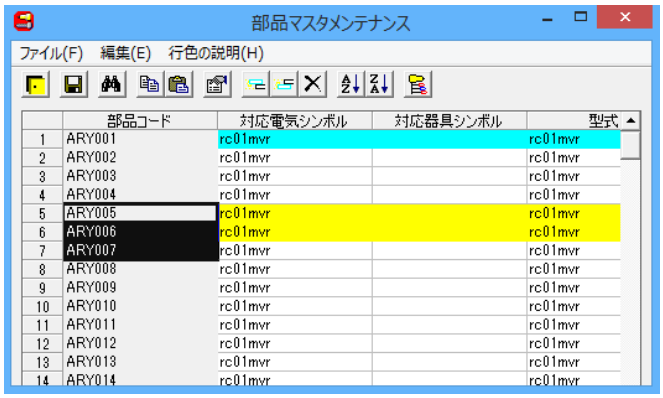



その場合は図のようなメッセージが表示されます。




OK をクリックします。

3. 結果です。




他の行で付属品情報登録されていない "ARY007" のみ指定解除されました。

4. 部品上登録内容を削除します。

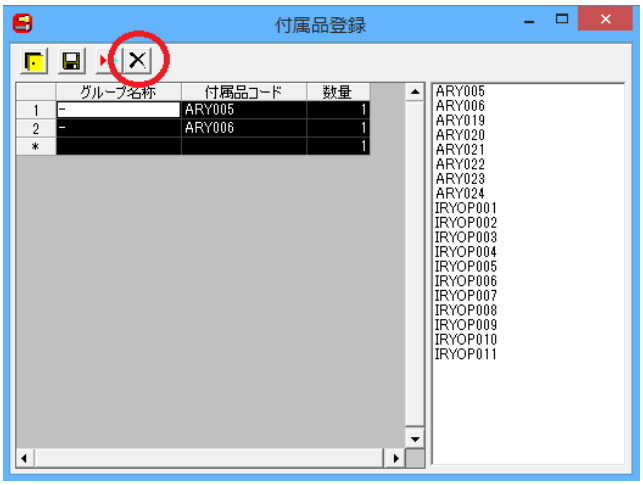
削除する行を選択します。本例では
"ARY001" を選択します。

[編集]-[付属品情報登録] を選択します。

5. 付属品登録ダイアログが表示されます。

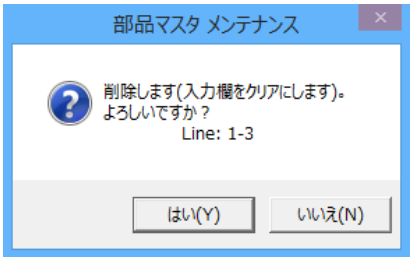
情報を削除する行を選択します。

(削除)をクリックします。




6. 確認のダイアログが表示されます。

(はい(Y)) をクリックします。



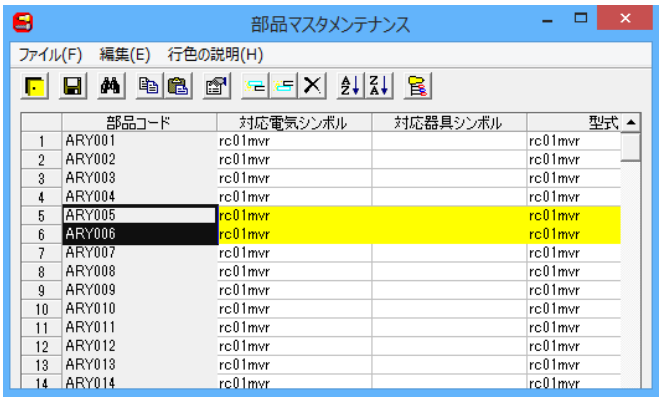

7. (上書き保存)をクリックします。

8. 結果です。

指定解除されました。

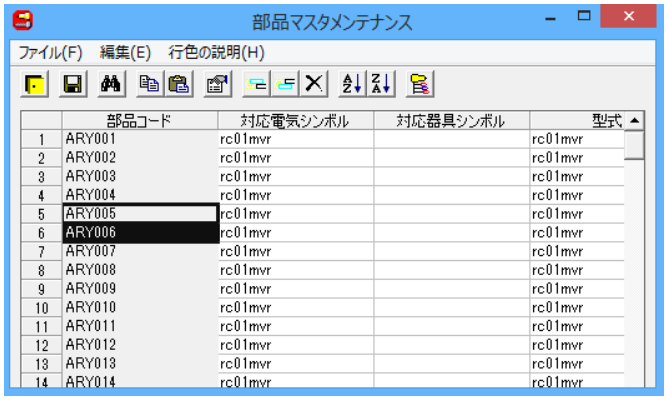
付属品の登録を解除しましたので付属品指定を解除する行を選択します。

本例では "ARY005,ARY006" を指定しています。




9. [編集]-[付属品指定]を選択します。

付属品指定が解除されます。




10. (終了)をクリックします。

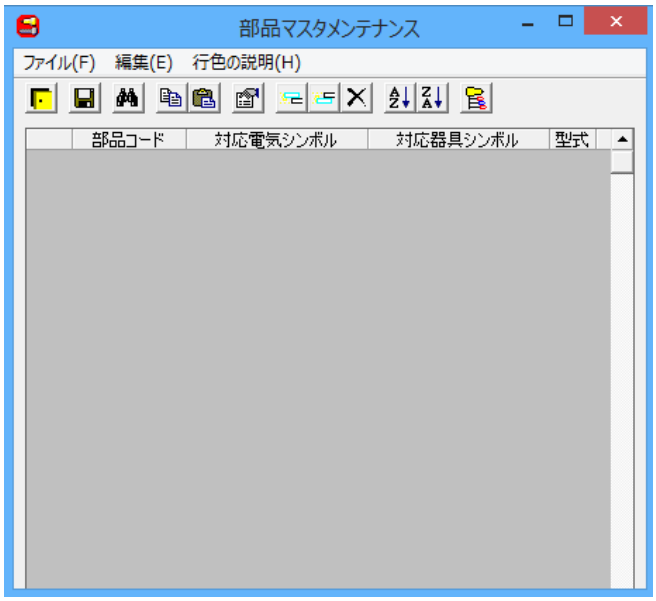
部品マスタメンテナンスが終了します。

# 2-5. 端子情報登録

登録されている部品コードに端子情報の登録を行います。
「盤配線支援システム」の利用がない場合は「端子情報登録」の操作は不要です。

## 2-5-1. 端子情報の確認

[スタート]-[アルファテックランチャー]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[部品マスタメンテナンス]
を選択します。




1. 部品マスタメンテナンスダイアログが表示されます。

   初期表示は内容が表示されません。
   ここから各項目をキーに部品情報の絞込み検索を行い必要な情報を表示させます。

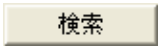
2. (検索)をクリックします。

3. 部品検索ダイアログが表示されます。

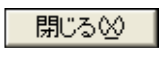
   本例では"部品コード"を選択しています。

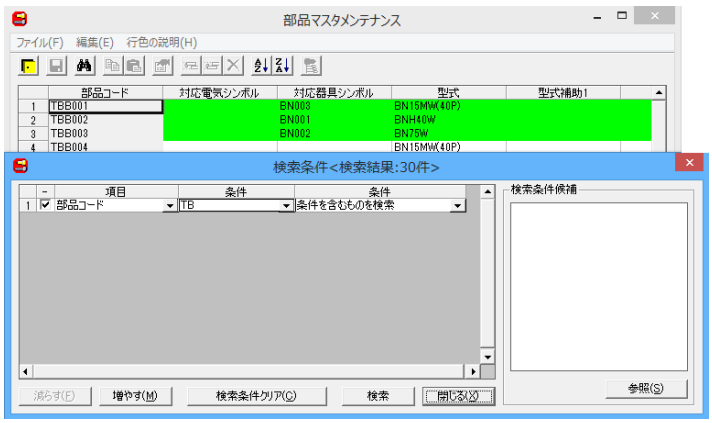
   ※"部品コード"は全ての部品に必要な情報です。

   検索条件に"TB"と入力します。

4.  をクリックします。

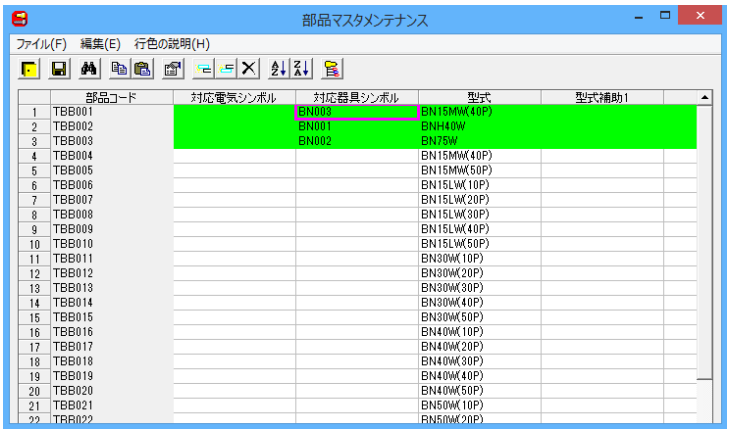
5. 検索条件を指定していませんので全ての情報が表示されます。

    をクリックします。

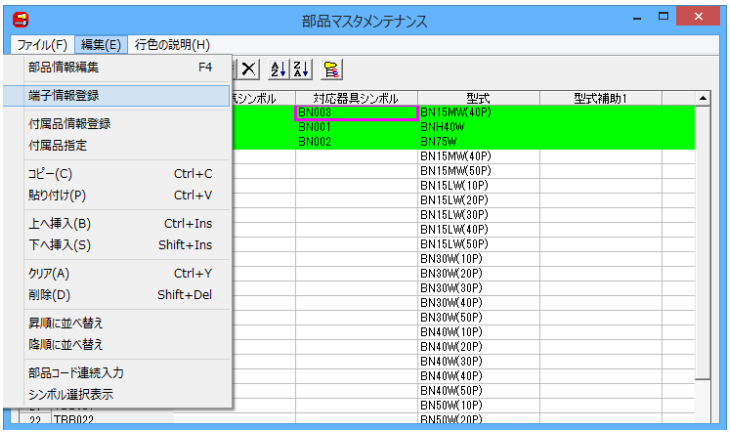


6. すでに端子情報が登録されている部品コードの行は"緑"で表示されています。

右図ではTBB001の行を選択しています。




7. [編集]-[端子情報登録]を選択します。

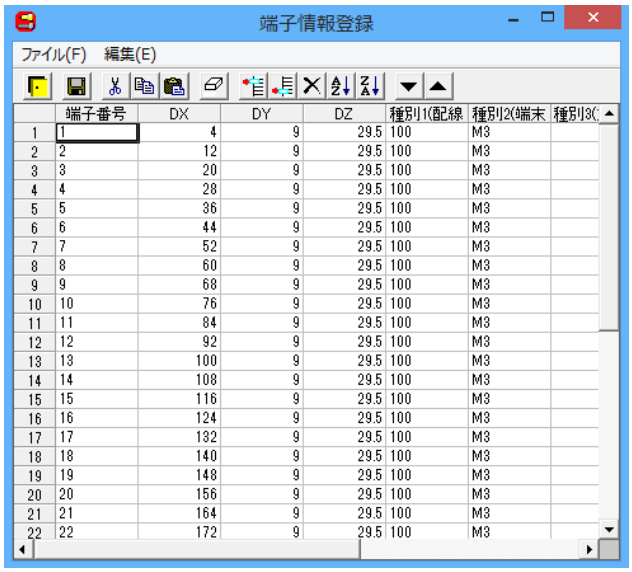



8. 端子情報登録ダイアログが表示されます。

登録内容が表示されます。

ここでは確認のみです。

(終了)をクリックします。



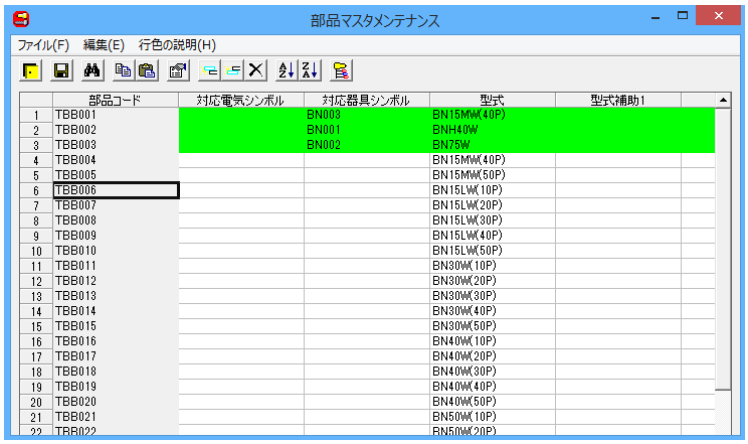
※右図は部品コード「TBB001」に登録されていた、"器具対応シンボル:BN003"です。

登録する端子情報は登録する[対応電気シンボル]または[対応器具シンボル]に合わせます。

## 2-5-2. 端子情報登録

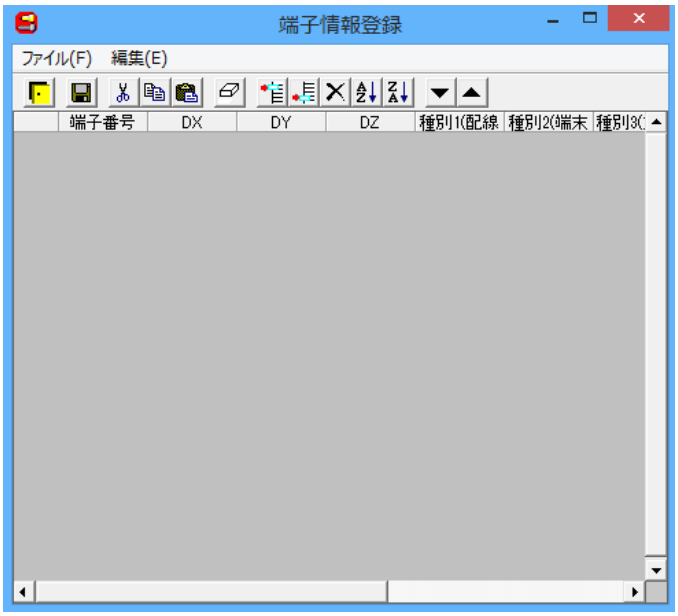
1. 端子情報が未登録の行に端子情報を登録します。

右図では部品コード"TBB006"を選択しています。




2. [編集]-[端子情報登録]を選択します。

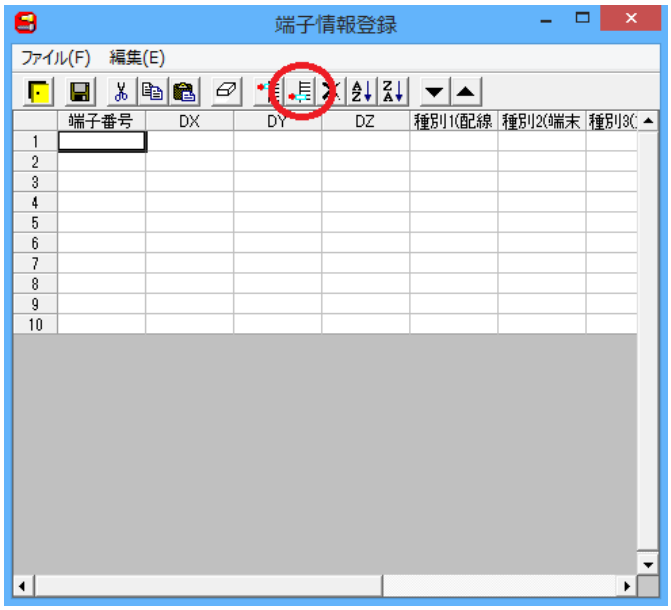
3. 端子情報登録ダイアログが表示されます。



4. (下に挿入)をクリックして

登録する端子の数だけ行を追加します。

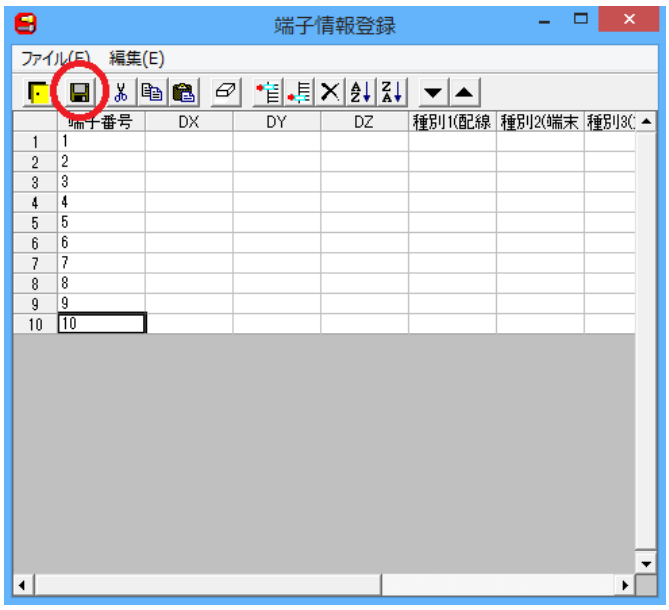
本例では10行追加しますが実際には、関連付けるシンボルの端子数に合わせてください。




5. 本例では端子番号のみ入力します。

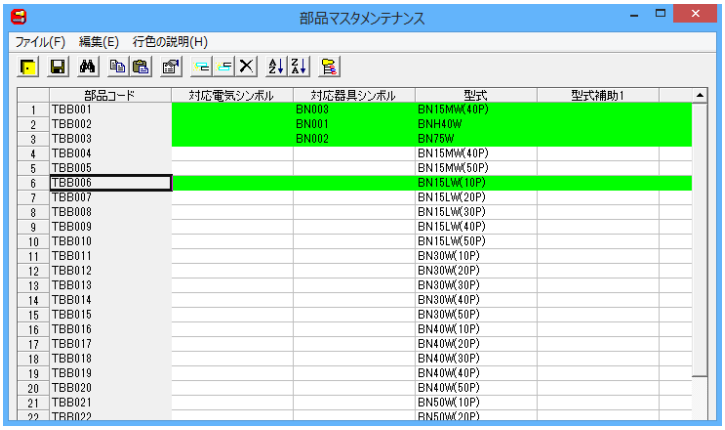
右図を参考に端子番号を入力します。

(上書き保存)をクリックします。




6. 部品マスタメンテナンス画面に戻ります。

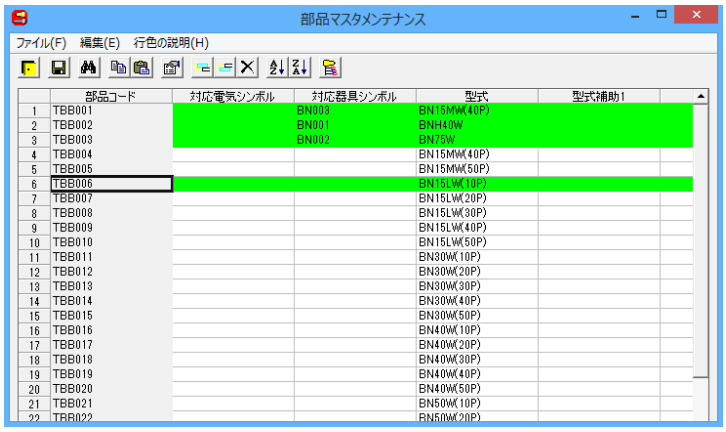
端子情報が登録されましたので行が緑色に変わります。



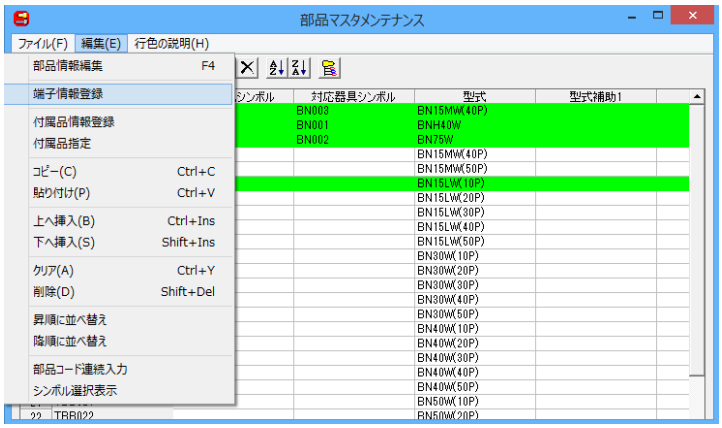
## 2-5-3. 端子情報の削除

**1.** 端子情報を削除する行を選択します。

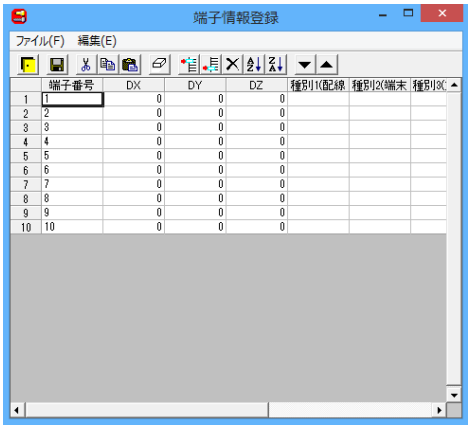
本例では"TB006"を選択しています。



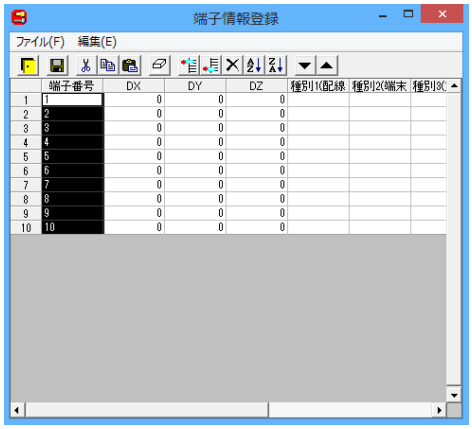

**2.** [編集]-[端子情報登録]を選択します。




**3.** 端子情報登録ダイアログが表示されます。

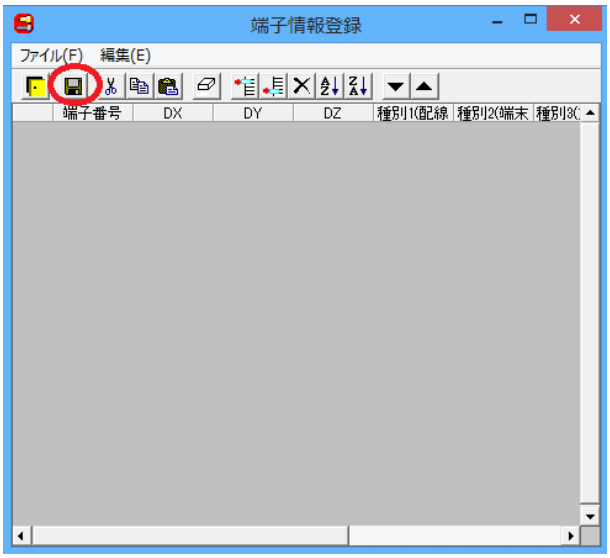



**4.** すべての行を選択します。




(削除)をクリックします。

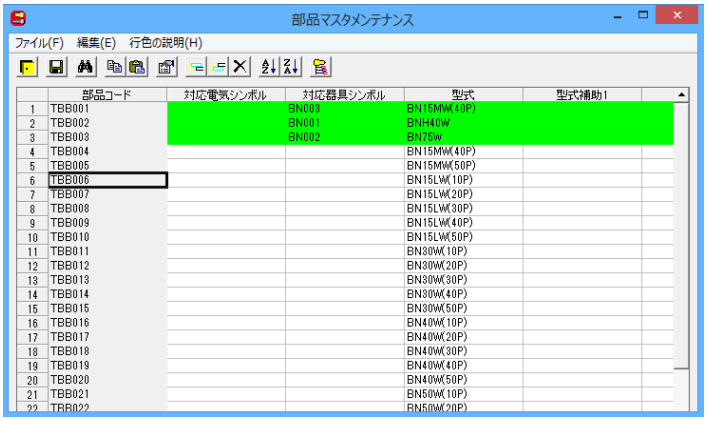
5. 端子情報登録ダイアログの中がすべて削除されます。




(上書き保存)をクリックします。

6. 結果です。

端子情報が削除されたので行の色は戻ります。




7. (終了)をクリックします。

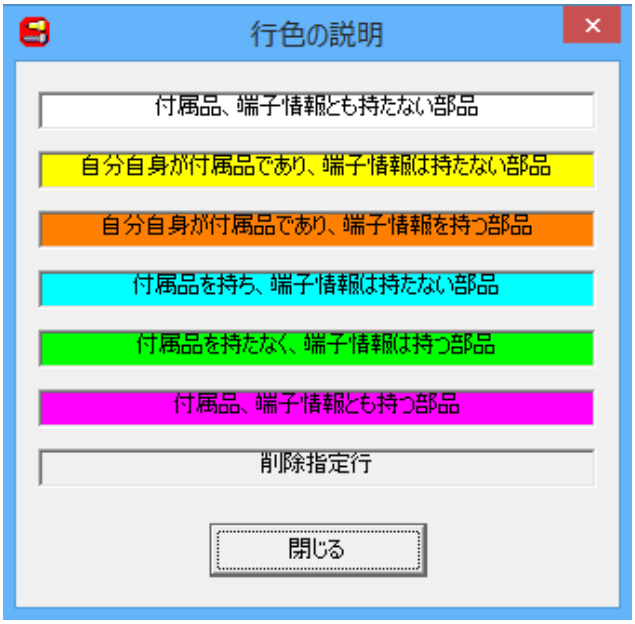
部品マスタメンテナンスが終了します。

# 2-6. 部品マスタメンテナンスの行の色

部品マスタメンテナンスでは行の色を登録内容で分けて表示しています。

## 2-6-1. 行色の説明

1.[行色の説明]をクリックします。




行色の説明ダイアログが表示されます。付属品/端子情報の有無を識別する行色の説明が表示されます。

色なし:
付属品端子情報とも持たない部品

黄色:
自分自身が付属品であり端子情報は持たない部品

橙色:
自分自身が付属品であり端子情報を持つ部品

水色:
付属品を持ち端子情報は持たない部品

黄緑色:
付属品を持たなく端子情報は持つ部品

赤紫色:
付属品端子情報とも持つ部品

グレーアウト:
削除指定行

2.確認後、閉じる をクリックします。

# 3 章. 部品情報抽出準備

図面から部品情報を抽出するための準備作業と部品情報の抽出後に部品表を作成するための準備作業について説明します。

# 3-1. ACAD-Parts環境設定

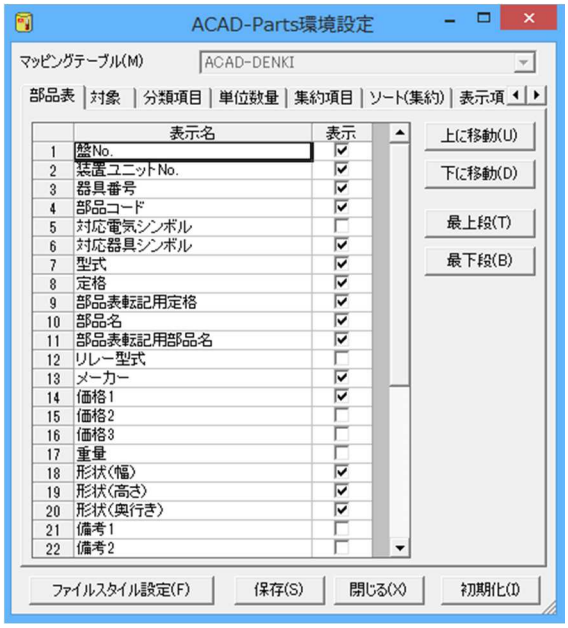
部品表タブ(表示項目)・ファイルスタイル設定について説明します。

## 3-1-1. ACAD-Parts環境設定の起動

1. [スタート]-[アルファテックランチャー]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[環境設定]を選択します。

   ACAD-Parts環境設定ダイアログが表示されます。

   ACAD-Parts環境設定では図面から部品情報を抽出・反映するときの項目表示、抽出情報編集時の設定初期値などを設定します。



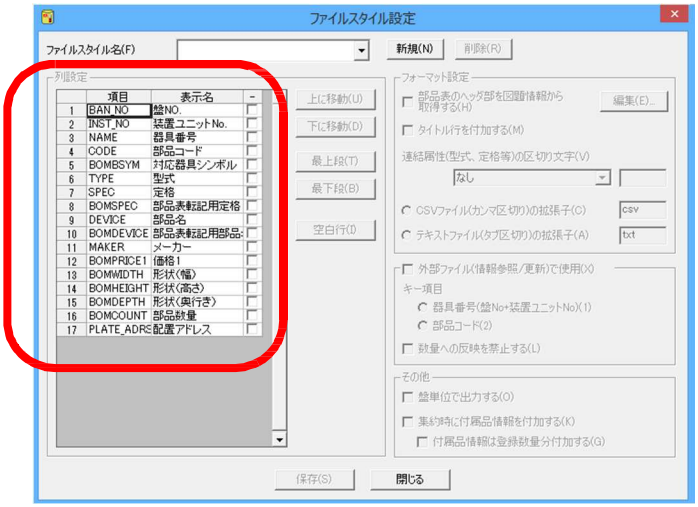

## 3-1-2. 部品表タブ

1. 部品表タブでは「ファイルスタイル設定」で選択する項目の表示設定を行います。

   右図は「部品表」タブの初期表示です。

   ファイルスタイル設定(F) をクリックします。

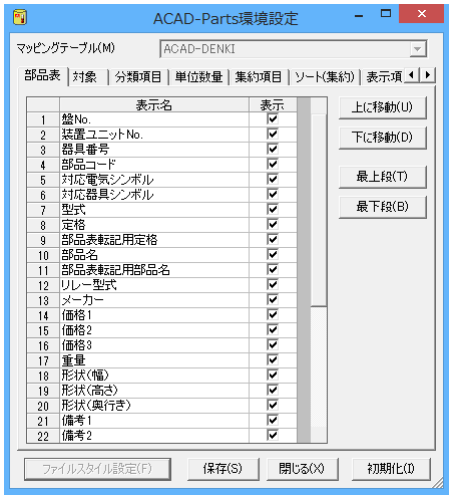
**2.** ファイルスタイル設定ダイアログが表示されます。




「部品表」タブで[表示]にチェックが入力されている項目が列設定に表示されます。

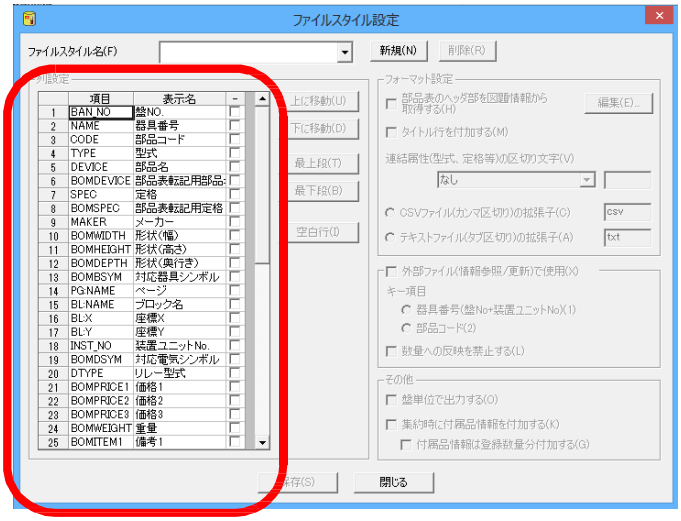
確認のみですので、閉じる をクリックします。

**3.** 部品表タブの[表示]にすべてチェックを入れ保存した例です。




ファイルスタイル設定(F) をクリックします。

**4.** ファイルスタイル設定ダイアログが表示されます。

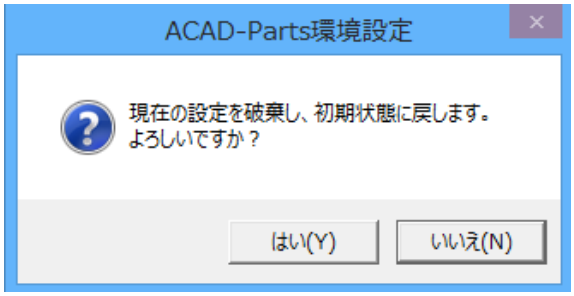



「部品表」タブで[表示]にチェックが入力されている項目が列設定に表示されます。

このようにファイルスタイル設定では使用しない項目もすべて表示されますので「部品表」タブで表示を絞り込みます。

確認のみですので 閉じる をクリックします。

5. ACAD-Parts環境設定ダイアログの 初期化(I) をクリックします。



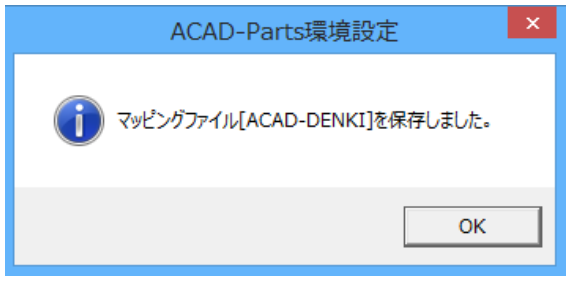

確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。

6. 確認のダイアログが表示されます。

OK をクリックします。

ACAD-Parts環境設定の内容が初期値に戻ります。




[ファイルスタイル設定]の設定方法につきましては後の章「3-2-2.ファイルスタイルの新規作成」を参照ください。

**部品表タブのご注意**

ACAD-Parts 環境設定の項目は既存の提供属性の中で部品情報抽出対象の属性及び使用属性の設定で登録したユーザ定義属性が反映されます。
ここでは項目の追加はできません。

定格・定格補助など連結属性は1つの抽出情報項目という扱いになります。
定格(表示)/定格補助I(非表示)のような設定はできません。

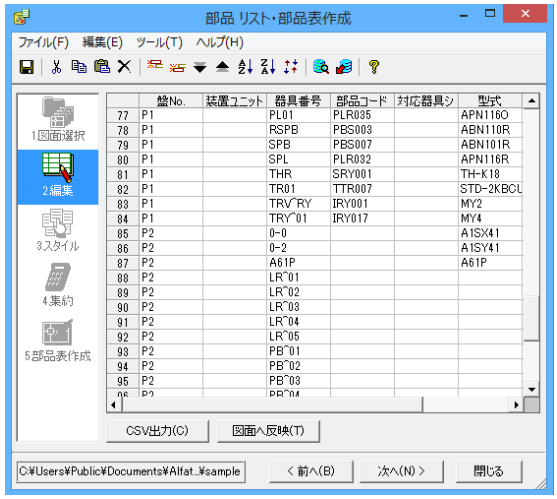
## 3-1-3. 対象タブ

1. 対象タブでは図面内に配置されている「端子シンボル」「IO端子シンボル」「シールド」「ケーブル」などの情報抽出の有無を設定します。

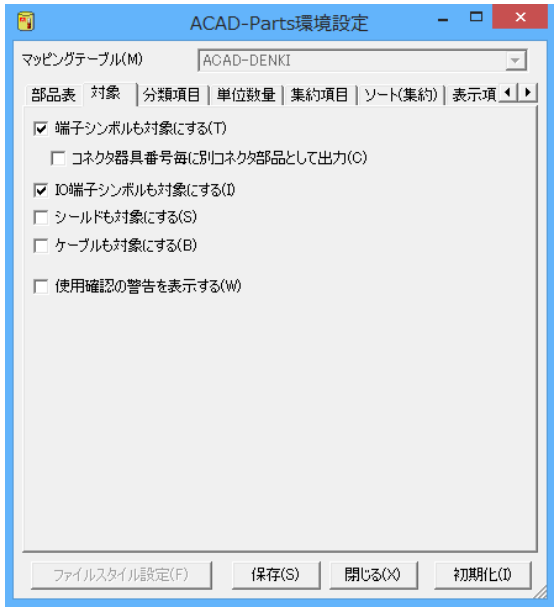
右図は「対象」タブの初期表示です。

**2.** 右図はデフォルト設定のままACAD-DENKIのSampleフォルダ内の図面から部品情報を抽出した結果です。

ここでは確認のみです。

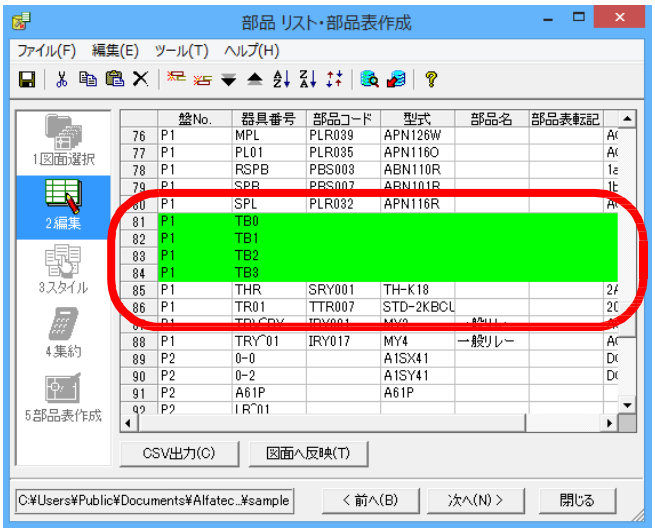



**3.** 右図は「端子シンボルも対象にする」等を抽出対象として設定した例です。



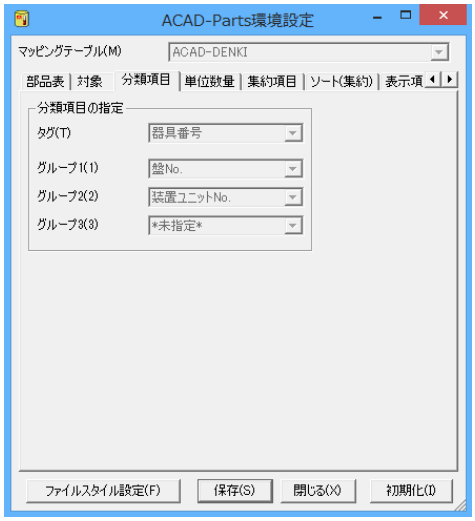

**4.** ACAD-DENKIのSampleフォルダ内の図面から部品情報を抽出した結果です。

「2」の結果では抽出されなかった、端子情報が抽出されています。



## 3-1-4. 分類項目タブ

1. 分類項目タブでは情報抽出時の器具番号の分類項目を表示しています。




分類項目の指定を変更することはできません。
確認のみです。

## 3-1-5. 単位数量タブ

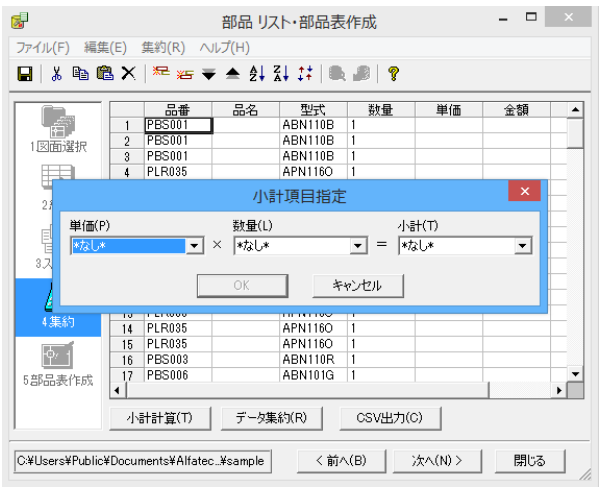
1. 単位数量タブでは、情報抽出時の個数の指示設定集約処理時の小計計算の項目の初期値を設定します。

[単位数量の指定]
常に 1
:数量欄に 1 を転記

属性を指示
:部品数量に入力された値を数量欄に転記 (属性の変更不可)

部品マスタ
:部品マスタの数量欄に入力された値を転記

2. 右図は部品情報抽出後から集約画面まで進んだ内容を表示しています。

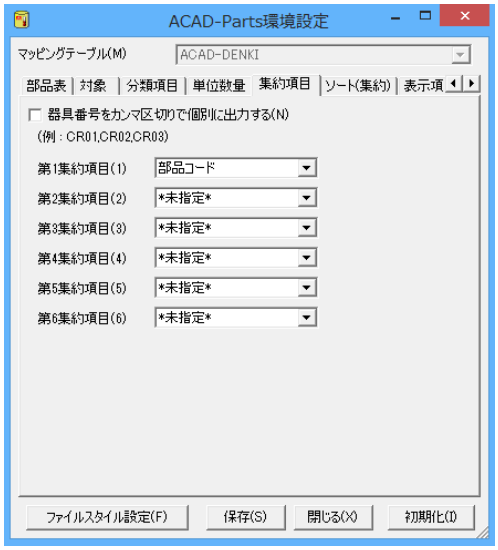



小計計算(T) をクリックすると小計項目設定ダイアログが表示されます。

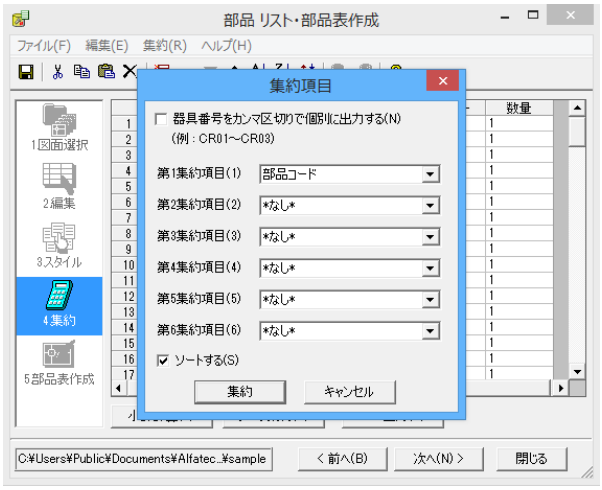
小計計算の設定ではこのときに表示される初期値を設定します。

## 3-1-6. 集約項目タブ

**1.** 集約項目タブでは情報抽出項目の集約項目と器具番号の表記設定をします。

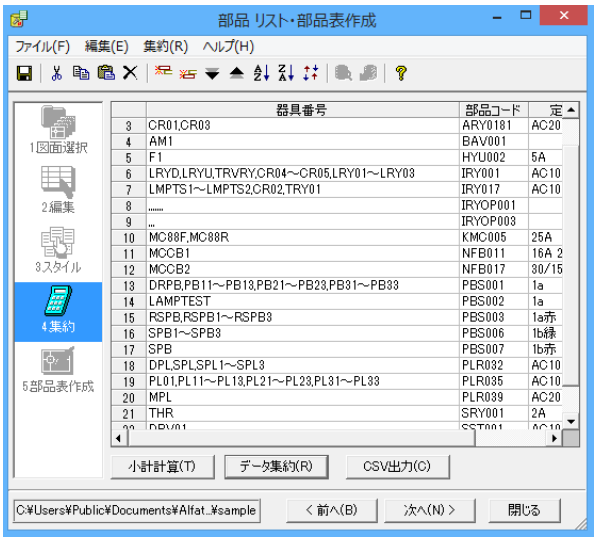



**2.** 右図は部品情報抽出後の画面です。



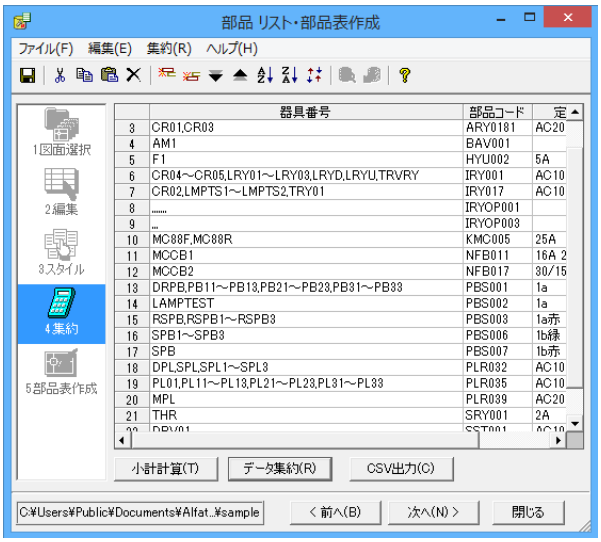

データ集約(R) をクリックすると集約項目ダイアログが表示されます。
このときに表示される初期値を設定します。

**3.** 右図は集約結果です。




「集約項目」タブ
:器具番号をカンマ区切りで個別に出力する
チェックなし(デフォルト)

**4.** 右図は集約結果です。




「集約項目」タブ
:器具番号をカンマ区切りで個別に出力する
チェックあり

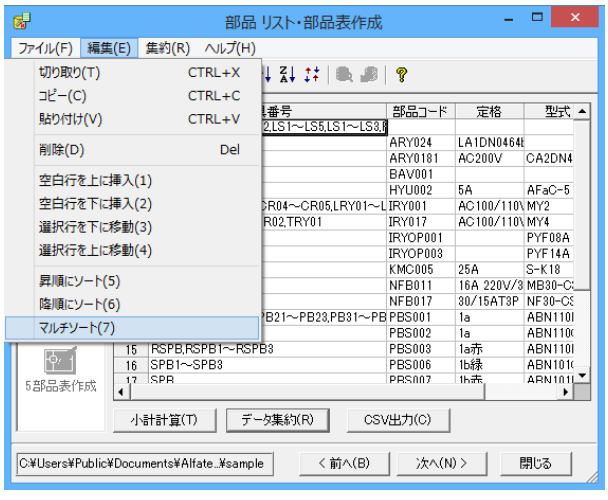
「3」の手順の集約結果とでは
器具番号の表記が違います。

## 3-1-7. ソート(集約)タブ

**1.** ソート(集約)タブではマルチソート指定順序の初期値を設定します。

**2.** 右図は部品情報を抽出後の画面です。

[編集]-[マルチソート]を選択します。

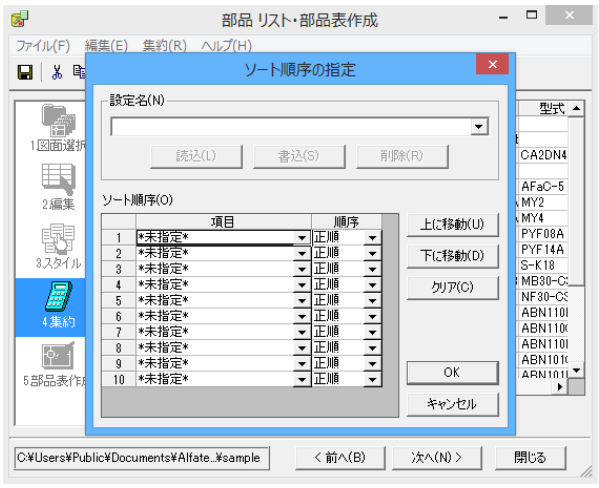


3.ソート順序の指定ダイアログが表示されます。

「ソート(集約)」タブではこのソート順序の指定ダイアログの初期値を設定します。

下に移動(D) ／ 上に移動(U) で項目の順番を入れ替えます。

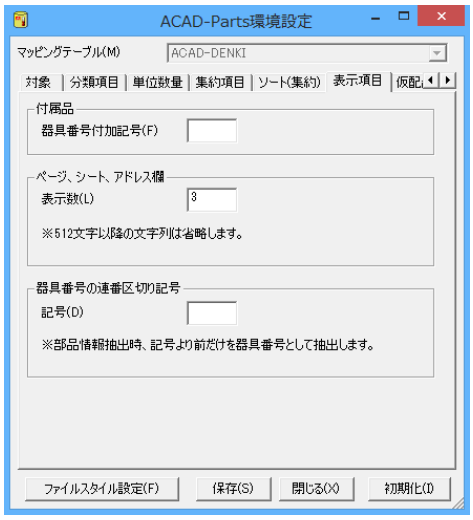
クリア(C) で項目をクリアします。




※ソート順序を指定し設定名をつけて書込することでよく使用するソート順序をパターンとして読み込むことができます。

## 3-1-8. 表示項目タブ

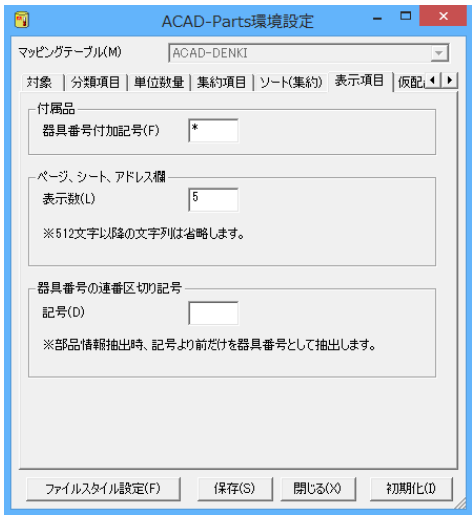
1.表示項目タブでは付属品部品抽出情報のページ/シート表記数を設定します。




2.右図のように設定した例です。

付属品:器具番号付加記号[*]

ページシートアドレス欄
表示数[5]

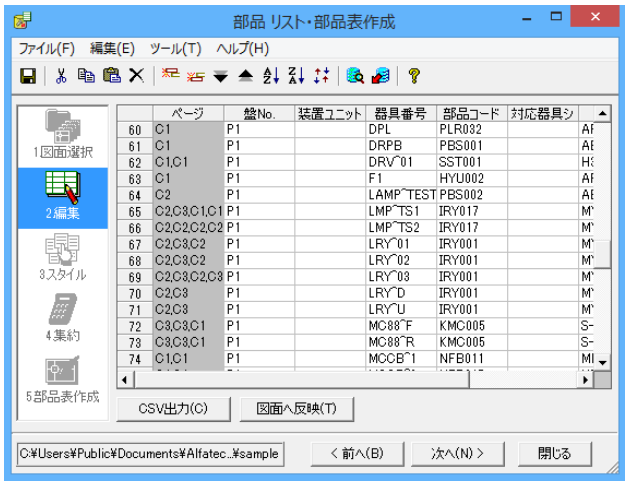


3. 部品情報の抽出結果と集約画面結果です。

部品情報抽出画面でページシートなどの項目を表示している場合の設定です。

ページ、シート、アドレス欄
表示数[5]

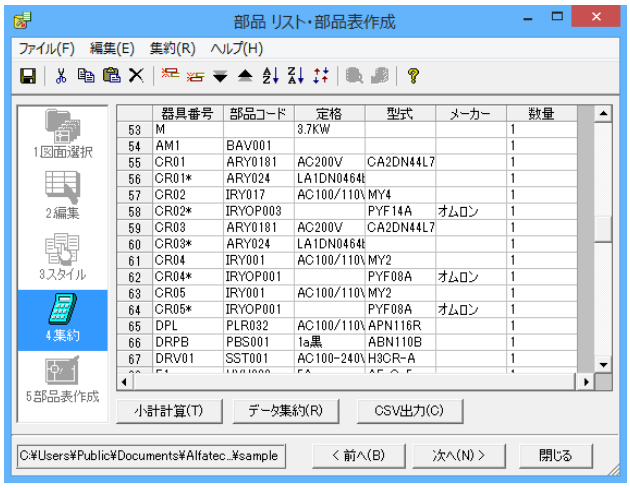
器具番号の存在するページを設定数まで表示します。




「ファイルスタイル設定」で"付属品情報:あり"のスタイルを選択した例です。

付属品:器具番号付加記号[*]

付属品にも器具番号を表記した場合に付属品には設定した記号が付加されます。



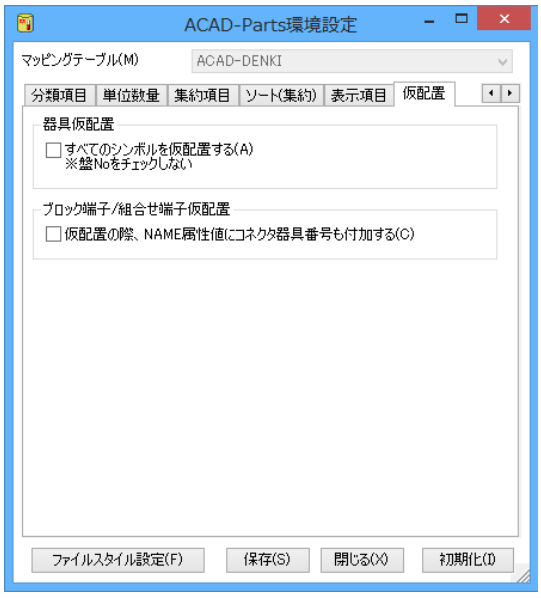

## 3-1-9. 仮配置タブ

1. 仮配置タブでは[ACAD-Parts]-[器具仮配置]時にプロジェクト内にある盤Noをチェックする/しないを設定します。

チェックを入力した場合はプロジェクト内の別ページに配置してある部品でもカレントページに無い部品であれば仮配置対象とすることができます。

2. ブロック端子/組合せ端子仮配置□仮配置の際、NAME属性値に器具番号も付加(C)

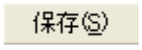
配置した部品の器具番号が[器具番号+コネクタ器具番号]となります。



## 3-1-10. ACAD-Parts 環境設定ダイアログタブ説明まとめ

| | |
|---|---|
| 部品表 | :部品情報を抽出する項目の項目順、表示/非表示設定を行います。基本的に部品情報は全て抽出されます。本設定は表示/非表示の設定です。<br>また、定格/定格補助1のように、補助属性がある場合、項目を分けて抽出する設定を行います。 |
| 対象 | :情報抽出の対象に、端子シンボル、IO端子シンボル、シールド、ケーブルを含める/含めないの設定をします。 |
| 分類項目 | :情報抽出時の器具番号の分類項目を表示しています。参照のみです。 |
| 単位数量 | :情報抽出後の「集約」で、小計計算項目のデフォルト表示を設定します。 |
| 集約項目 | :情報抽出後の「集約」で、データ集約項目のデフォルト表示を設定します。 |
| ソート(集約) | :情報抽出後の「集約」で、マルチソート項目のデフォルト表示を設定します。 |
| 表示項目 | :部品情報抽出後の表示項目を設定します。 |
| 仮配置 | :器具仮配置時に、プロジェクト内の盤No.をチェックせずに、カレントページにすべてのシンボルを仮配置対象とするかを設定します。 |

ファイルスタイル設定 (3-2.ファイルスタイルの作成P48参照) では抽出したデータから部品表・発注書などの図面を作成するために必要な項目の抽出設定を行います。

いずれの項目を変更した場合も必ず 

をクリックして保存してください。

### ※初期化についてのご注意※

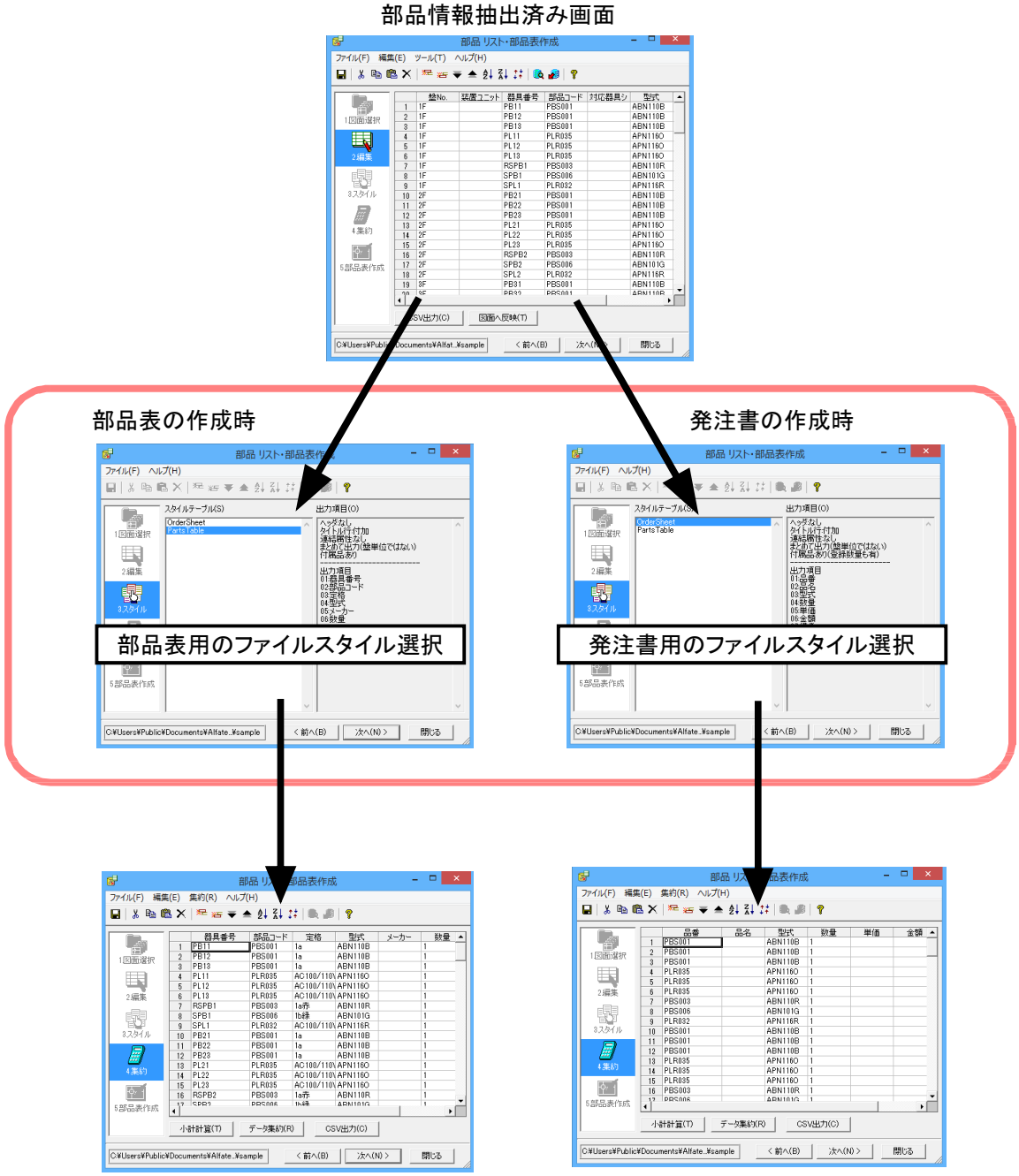
ACAD-Parts環境設定の設定値をすべて初期値に戻す場合に

をクリックします。
各タブとの設定値を戻すものではなくすべての設定を初期化します。

# 3-2. ファイルスタイルの作成

図面から部品情報抽出を行うとすべての項目について部品の情報を抽出します。
そこから目的に応じて必要な項目だけを表示するように絞り込むのがファイルスタイル設定です。
ファイルスタイル設定では「部品表だけに使用する項目」、「発注書だけに使用する項目」などを
選定し名前を付けてスタイル名を登録します。

## 3-2-1. ファイルスタイルの選択イメージ

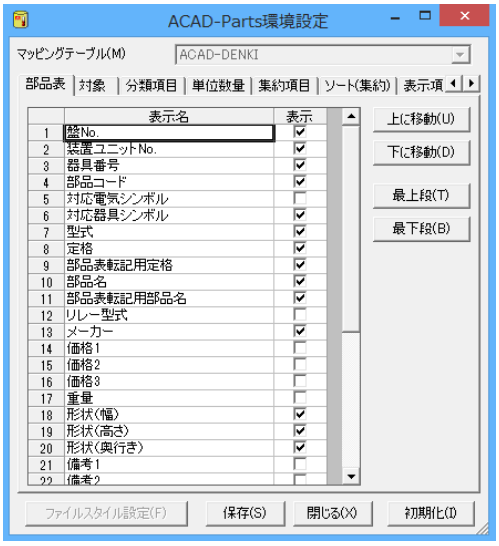



ファイルスタイルを使用して、集約する項目の表示を行います。

## 3-2-2. ファイルスタイルの新規作成

1. [スタート]-[アルファテックランチャー]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[環境設定]を選択します。

   ACAD-Parts環境設定ダイアログが表示されます。




   ファイルスタイル設定(F) をクリックします。

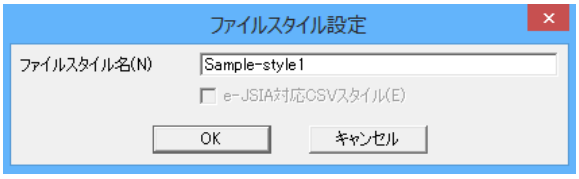
2. ファイルスタイル設定ダイアログが表示されます。

   新規(N) をクリックします。

3. ファイルスタイル設定ダイアログが表示されます。

   ファイルスタイル名を入力します。

   ファイルスタイル名
   :Sample-style1




   OK をクリックします。

4. ファイルスタイル名にファイル名が表示されます。

   列設定から表示する項目を選択します。

   本例では下記項目の出力にチェックを入力します。

   器具番号/部品コード/定格/型式/メーカー/部品数量

**5.** 項目の順番を変更します。

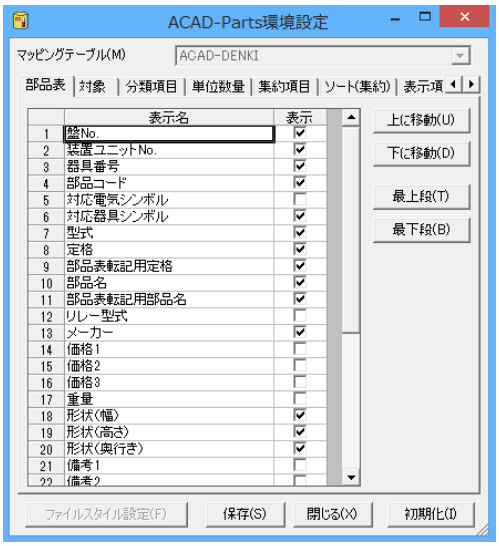
項目を選択し目的の行まで
上移動(U) を数回クリックします。

**6.** 保存(S) をクリックします。

ファイルスタイルが保存されます。

**7.** 閉じる をクリックします。
ファイルスタイル設定が終了します。

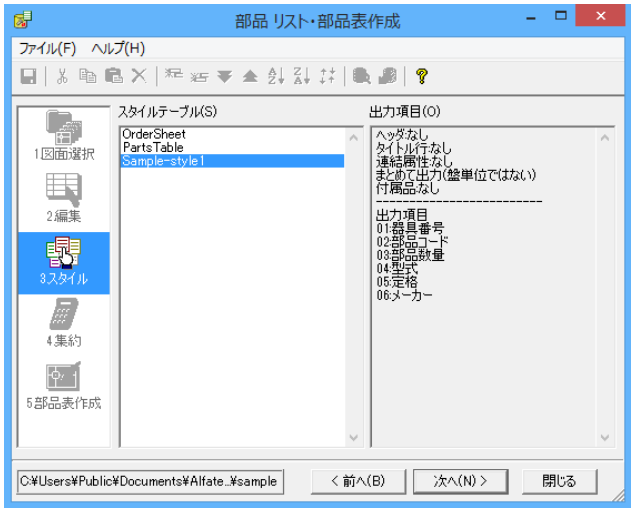
**8.** ACAD-Parts環境設定ダイアログに戻ります。




閉じる(X) クリックします。

## 確認

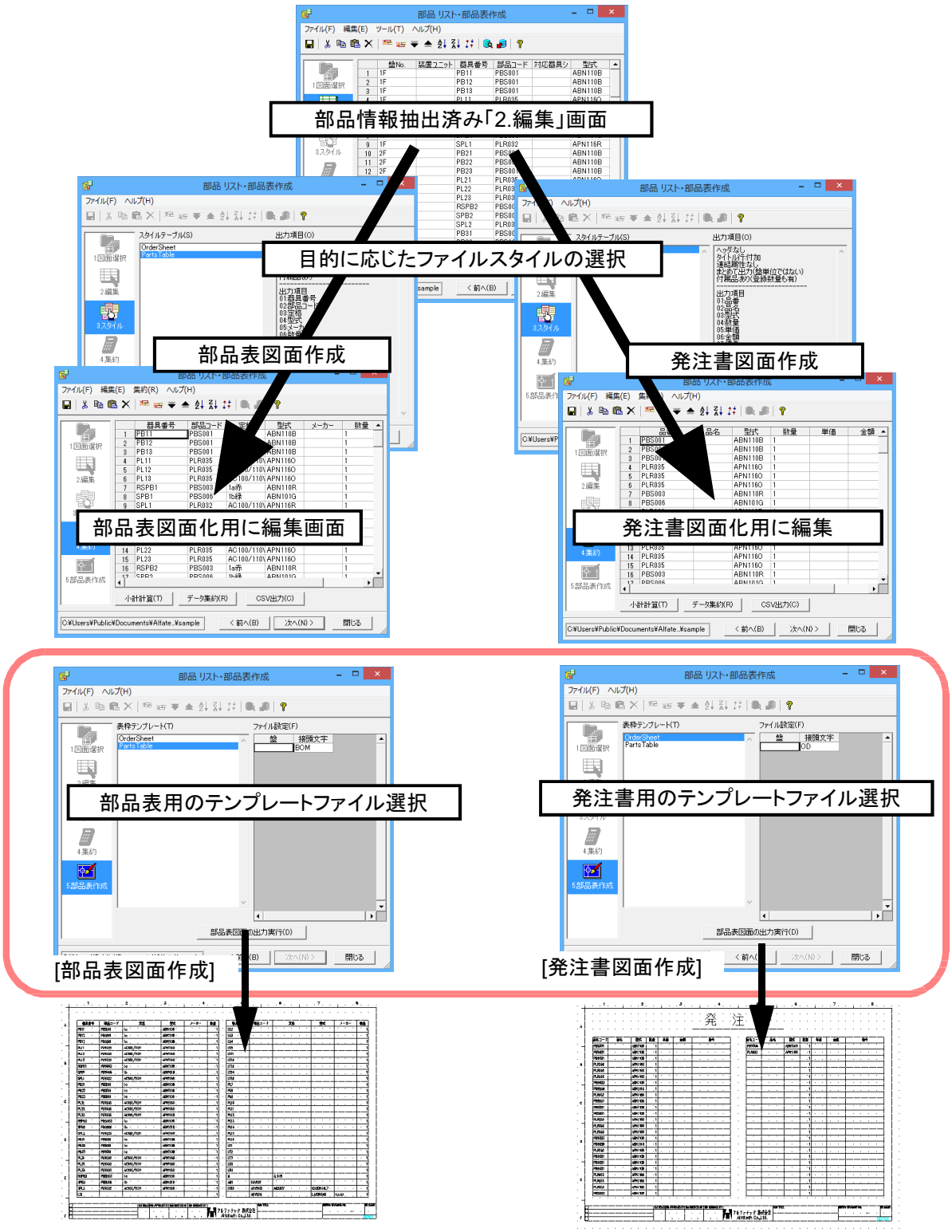
ファイルスタイルに登録すると部品情報抽出後の[3.スタイル]でファイルスタイルに登録したファイルスタイル名が表示され選択することができます。



# 3-3. 部品表テンプレート作成

前章「3-2-2.ファイルスタイルの新規作成」で設定した出力項目に合わせた部品表テンプレートの作成/編集方法について説明します。

## 3-3-1. 部品表テンプレートの選択イメージ




部品表テンプレートを使用して図面の作成を行います。

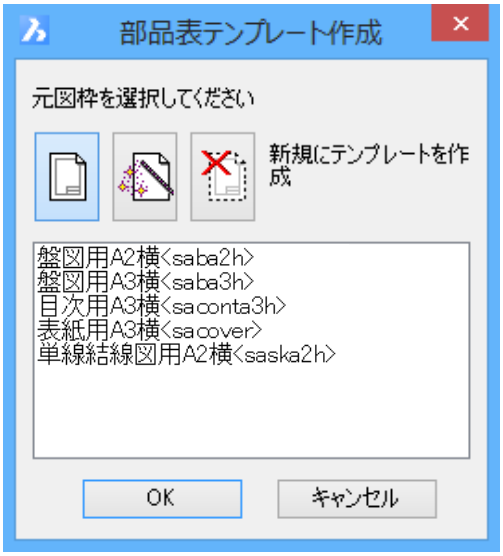
## 3-3-2. 部品表テンプレートの新規作成

1. ACAD-DENKIを起動します。

[ACAD-Parts]-[部品表テンプレート作成]を選択します。

部品表テンプレート作成ダイアログが表示されます。

右図はデフォルトの状態です。
[新規にテンプレートを作成]アイコンが選択されています。

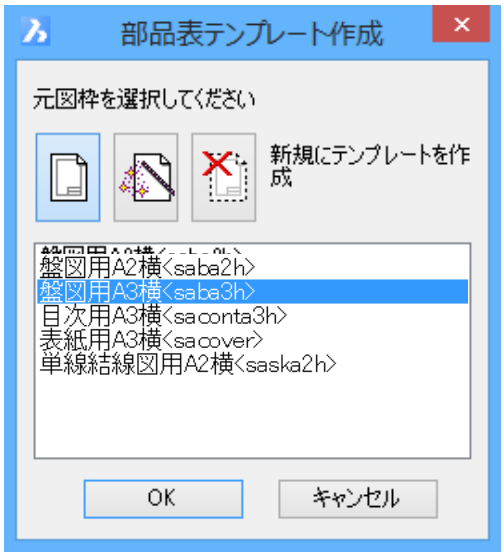



2. テンプレートを作成する図枠を選択します。

※ここで表示される図枠はACAD-DENKIのプロジェクトで「その他図枠」として登録されているものが表示されます。

本例では「盤図用A3横< saba3h > 」を選択しています。

OK クリックします。




3. 部品表テンプレート作成ダイアログが表示されます。

部品表枠名を入力します。

本例では部品表枠名をファイルスタイル設定で作成したスタイル名と同じにします。

例:Sample-Style1

**4.** タイトル枠高さなど項目の設定を行います。

設定内容については右図を参照してください。

**5.** タイトル欄の設定を行います。

項目のタイトル欄にある ▼ をクリックして項目を選択します。

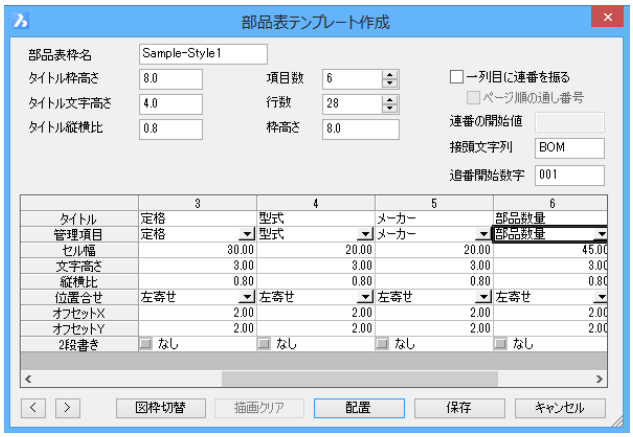
選択:器具番号

**6.** 続いて2項目のタイトル欄にある ▼ をクリックして項目を選択します。

選択:部品コード

**7.** 同様の手順で3項目以降も選択します。

3項目:定格
4項目:型式
5項目:メーカー
6項目:部品数量



**8.** 各項目のプロパティを設定します。

(右図番号説明)

①セル幅

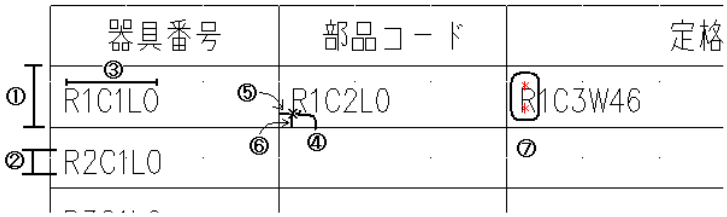
②文字高さ③縦横比

④位置合わせ

⑤オフセットX

⑥オフセットY

⑦2段書き



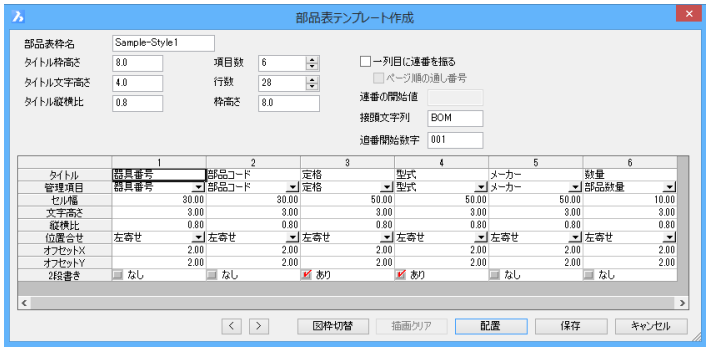

項目を以下のように設定します。

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| タイトル | 器具番号 | 部品コード | 定格 | 型式 | メーカー | 数量 |
| 管理項目 | 器具番号 | 部品コード | 定格 | 型式 | メーカー | 部品数量 |
| セル幅 | 30 | 30 | 50 | 50 | 50 | 10 |
| 文字高さ | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 縦横比 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 |
| 位置合せ | 左寄せ | 左寄せ | 左寄せ | 左寄せ | 左寄せ | 左寄せ |
| オフセットX | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| オフセットY | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 2段書き | □なし | □なし | ■あり | ■あり | □なし | □なし |

項目6　部品数量 -> 数量に変更しています。

**9.** 各項目のプロパティ設定後

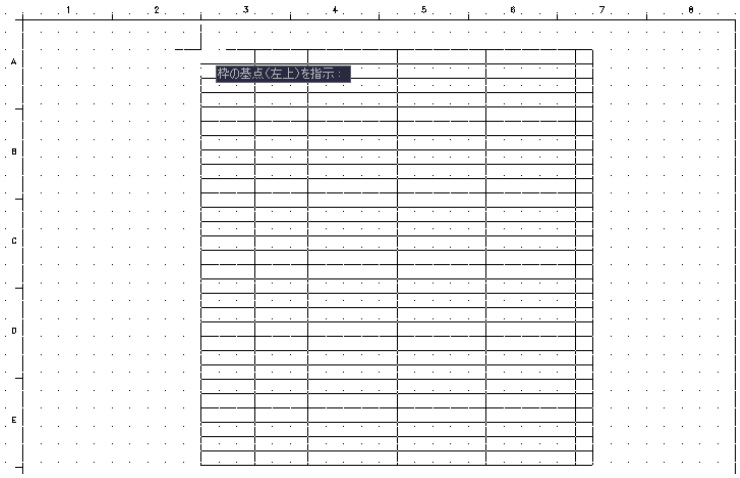
配 置 をクリックします。




**10.** コマンドラインに「枠の基点(左上)を指示」と表示されます。

部品表テンプレートを配置する任意の左上位置をクリックして指示します。

部品表テンプレート枠は複数配置することが可能です。

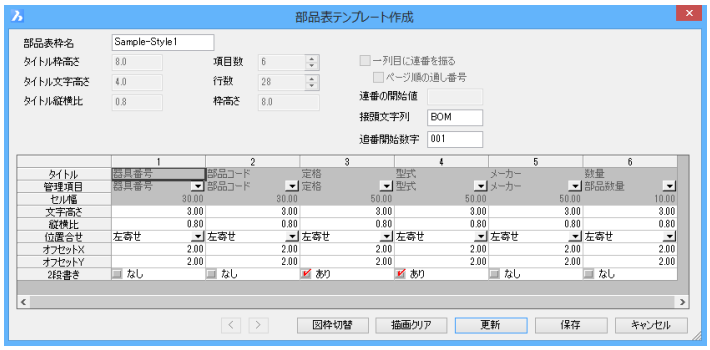


**11.** 本例では 1 つだけ配置します。

Enter を押します。

| 器具番号 | 部品コード | 定格 | 型式 | |
|---|---|---|---|---|
| R1C1L0 | R1C2L0 | R1C3W46 | R1C4W46 | R |
| R2C1L0 | | | | |
| R3C1L0 | | | | |
| R4C1L0 | | | | |

**12.** 部品表テンプレート作成ダイアログが表示されます。



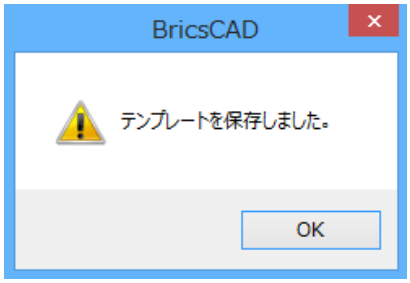

保存 をクリックします。

※部品表テンプレート枠が配置されている場合タイトル/管理項目/セル幅などの項目は変更できませんのでグレーアウトされます。

※修正が必要な場合は 描画クリア をクリックしてテンプレート配置情報をクリアします。

※図枠を変更したい場合は 図枠切替 をクリックして変更します。

**13.** 確認のダイアログが表示されます。

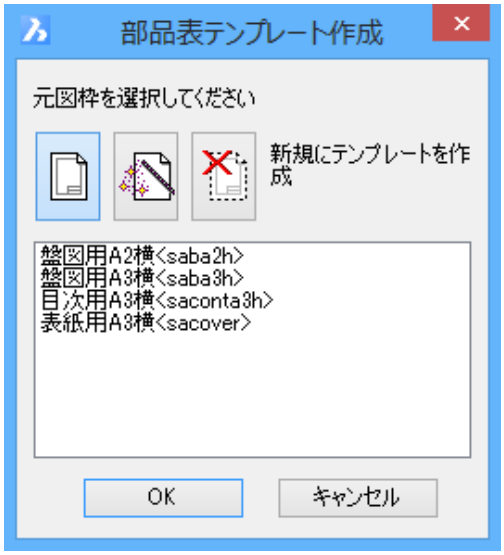



OK をクリックします。
部品表テンプレート作成が終了します。

## 3-3-3. 部品表テンプレートの修正

1. [ACAD-Parts]-[部品表テンプレート作成] を選択します。

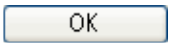
   部品表テンプレート作成ダイアログが表示されます。



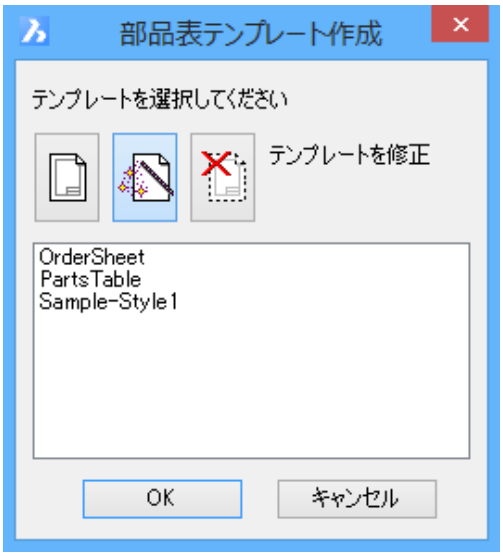
(テンプレートを修正)をクリックします。

2. 修正するテンプレートを選択します。

   本例では前章で作成し「Sample-Style1」を選択しています。

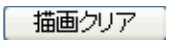


をクリックします。




3. 部品表テンプレート作成ダイアログと選択した部品表テンプレート図面が表示されます。

   本例では「連番の付加」と「接頭文字列」「追番開始数字」を修正します。



をクリックします。

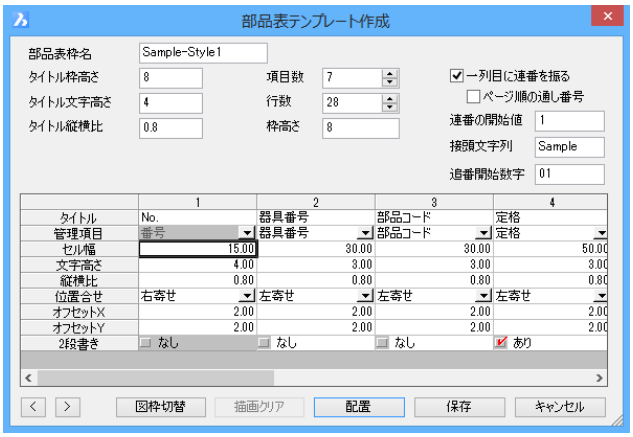
※[描画クリア]を行わないとテンプレートの項目の変更はできません。

**4.** 項目に「No」が追加されるよう設定します。

一列目に連番を振る:チェック入力

連番の開始値:1 (セル幅:15)
接頭文字列:Sample
追番開始数字:01

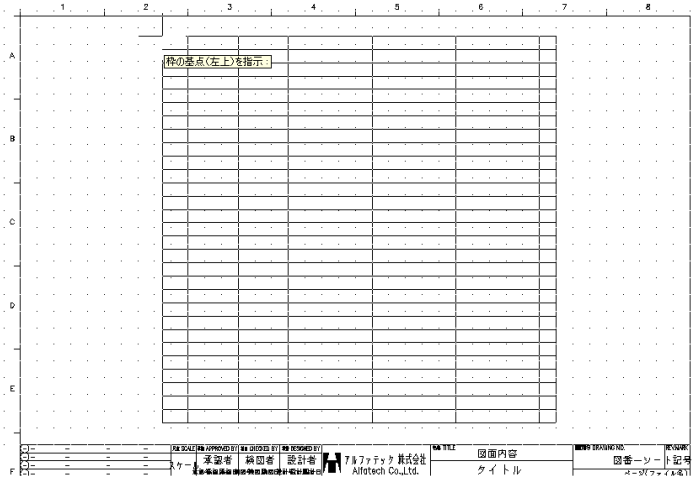
配 置 をクリックします。




**5.** コマンドラインに「基点位置(左上)を指定」と表示されます。

任意の位置をクリックして指定します。

Enter を押します。



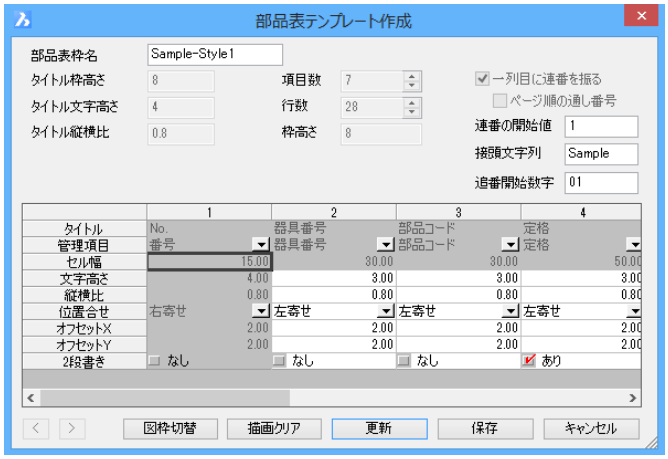

**6.** 本例では、1 つだけ配置します。

Enter を押します。

| No. | 器具番号 | 部品コード | 定格 | 型式 | メーカー | 部品 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | R1C1L0 | R1C2L0 | R1C3W46 | R1C4W46 | R1C5L0 | R1C6L0 |
| 2 | R2C1L0 | | | | | |
| 3 | R3C1L0 | | | | | |
| 4 | R4C1L0 | | | | | |
| 5 | R5C1L0 | | | | | |
| 6 | R6C1L0 | | | | | |

**7.** 部品表テンプレート作成ダイアログが表示されます。

保存 をクリックします。

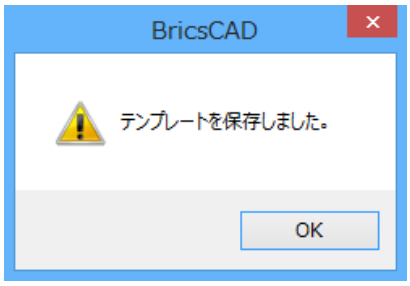


8. 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。

9. 確認のダイアログが表示されます。

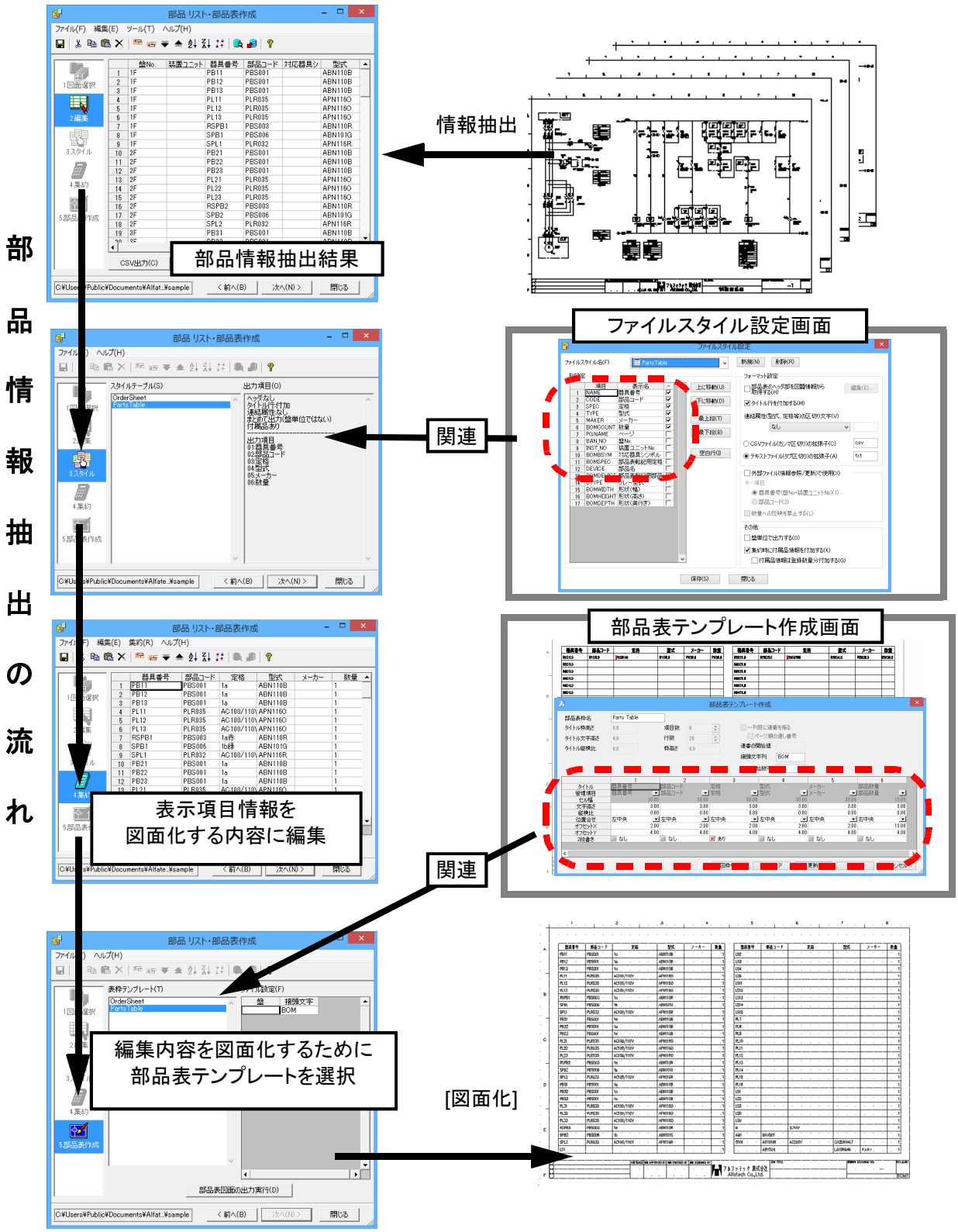
OK をクリックします。
部品表テンプレート作成が終了します。



# 3-4. 部品情報抽出から図面化までの流れ

ACAD-Partsでは図面から部品情報を抽出します。抽出後に目的に応じて表示項目を選定したスタイル(例えば「部品表を図面化するためのスタイル」または「発注書を図面化するためのスタイル」など)を使用して集約処理を行います。その後図面テンプレートを用いて図面化を行います。

## 3-4-1. 部品情報抽出から図面作成までの図解



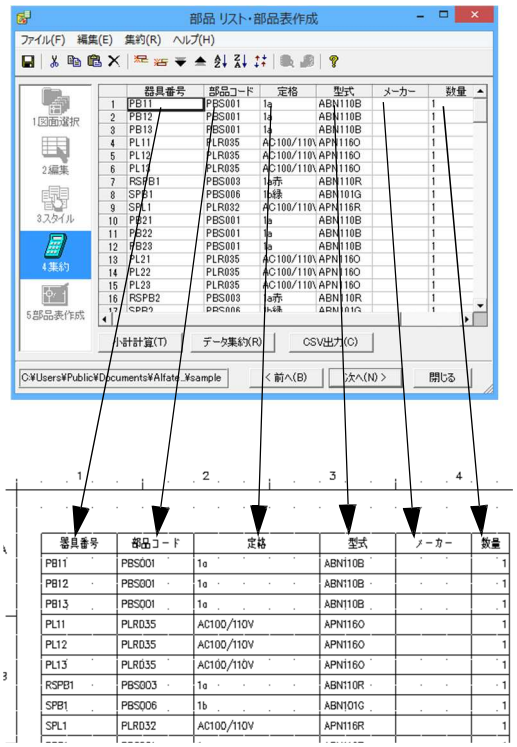
## 3-4-2. ファイルスタイル設定と部品表テンプレートについて

図面から抽出した部品情報はファイルスタイル設定で登録したスタイルを指定して項目を絞り込みます。
絞り込んだ項目に集約などで編集を行った結果を実際の図面として作成するときに部品表テンプレートを使用します。
一連の流れで選択しますので「ファイルスタイル設定」と「部品表テンプレート作成」で作成するファイル・テンプレートは一対とお考えいただき同じ名称で作成し管理されることをお勧めします。

### ご注意

ファイルスタイル設定で設定した項目の数・順番と部品表テンプレートの項目数・順番が一致していないと、作成された部品表などの図面内容は項目と内容が一致しなくなります。

[良い例]
ファイルスタイル設定の項目と部品表テンプレートの項目が一致している

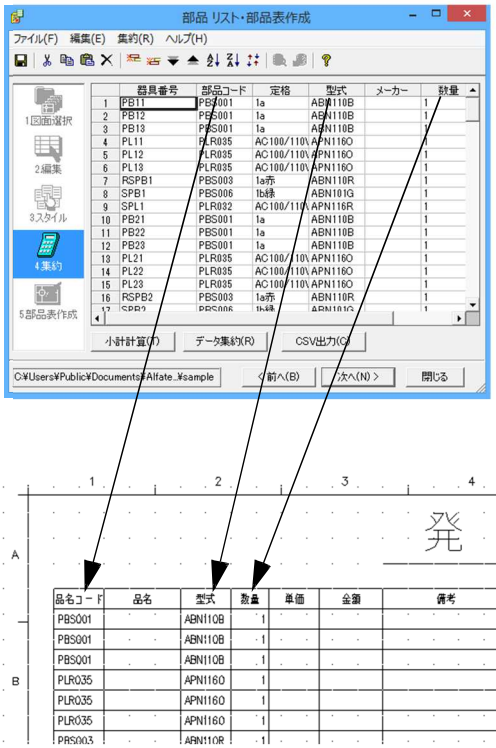






指定の項目に情報が流し込まれます。

[悪い例]
ファイルスタイル設定の項目と部品表テンプレートの項目が一致していない







テンプレートに項目のない情報はなくなります。

# 4 章. 部品表作成

図面から部品情報を抽出します。その抽出データを元にして、部品表の作成方法を説明します。

# 4-1. 部品情報抽出

ACAD-DENKIで部品情報抽出のための簡単な回路図面を作成した後、部品情報を抽出して部品表作成を行います。

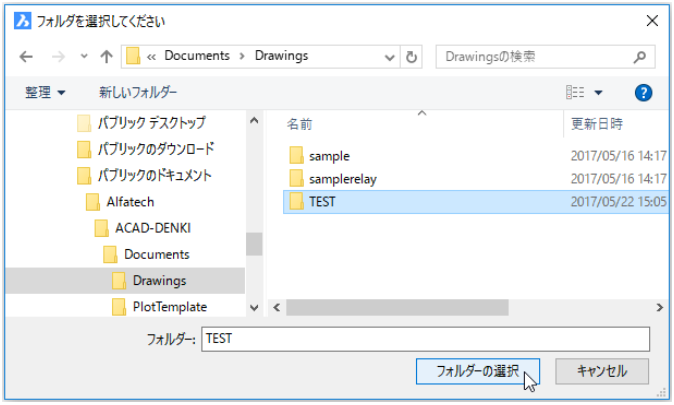
## 4-1-1. 回路図面の作成

1. ACAD-DENKIを起動します。

[プロジェクト]-[開く]を選択します。
フォルダの参照ダイアログが表示されます。

本例ではACAD-DENKIの提供Sample(下記)先に新規フォルダ"TEST"を作成して開きます。

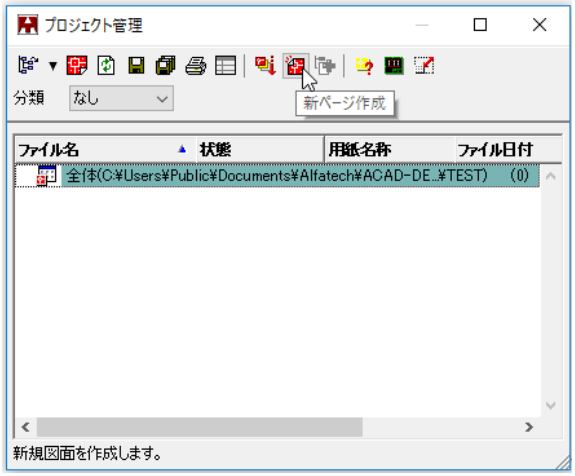
「C:¥Users¥Public¥Documents¥Alfatech¥ACAD-DENKI¥Documents¥Drawings¥TEST」




2. [フォルダーの選択]ボタン をクリックします。

3. プロジェクト管理ダイアログが表示されます。

プロジェクト管理ダイアログの[新ページ作成]アイコンをクリックします。



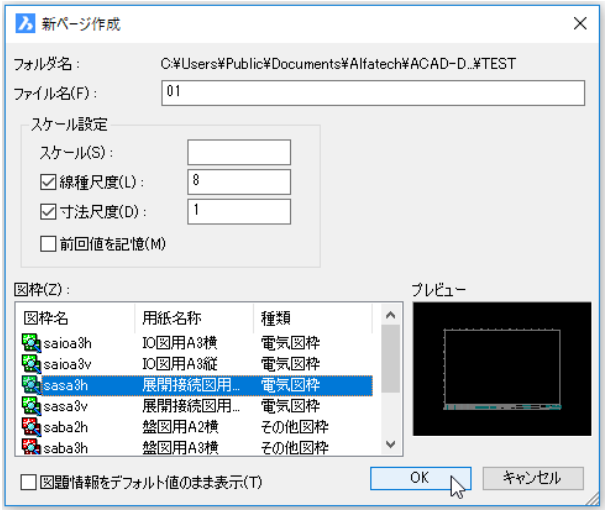

4. 新ページ作成ダイアログが表示されます。

ファイル名:01

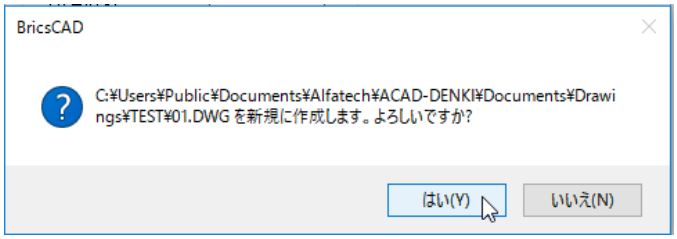
スケール: 1/1

図枠:sasa3h (展開接続図用)

OK ボタン をクリックします。



5. 確認のダイアログが表示されます。




はい(Y) ボタン をクリックします。

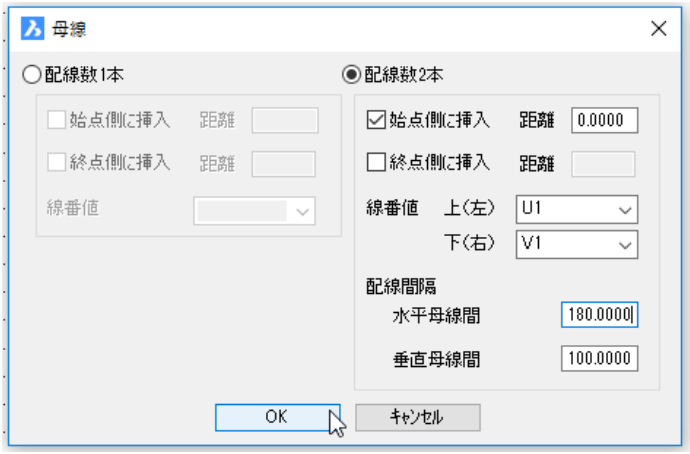
新ページが作成されます。

6. [配線]-[母線]を選択します。

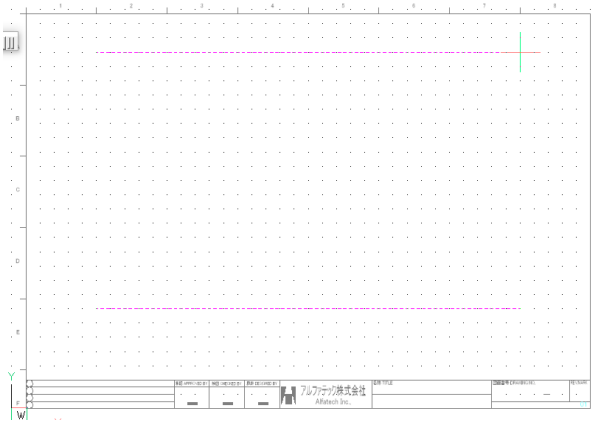
母線ダイアログが表示されます。

右図を参考に設定します。

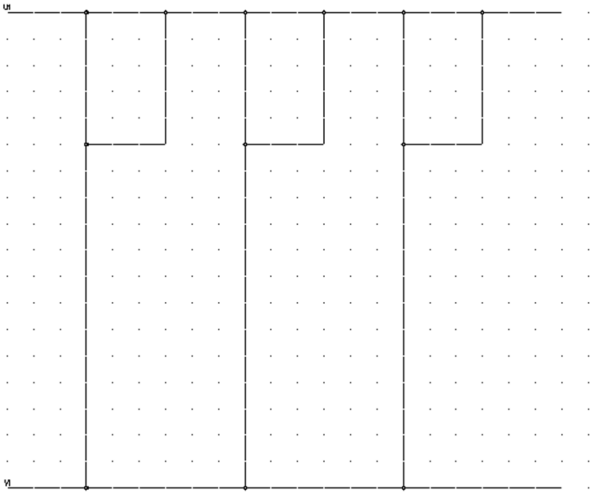
OK をクリックします。




7. 右図を参考に横母線を作図します。



8. 標準・ラング配線コマンドなどを使用して右図を参考に配線を作図します。

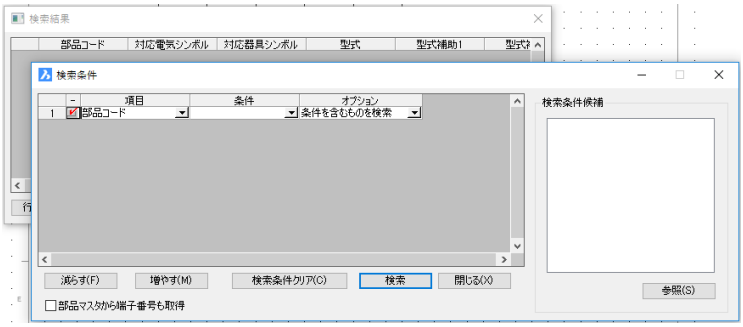


## 4-1-2. シンボル入力(部品マスタ)

1. シンボルの部品情報を検索して入力します。

   [シンボル]-[シンボル入力(部品マスタ)]を選択します。

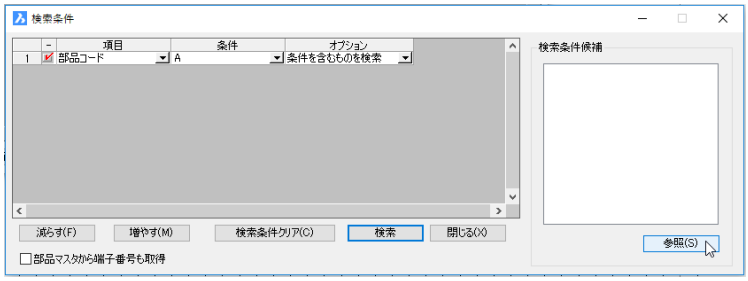
   検索条件ダイアログが表示されます。




2. 検索条件を入力します。

   項目:部品コード
   条件:A
   オプション:条件を含むものを検索

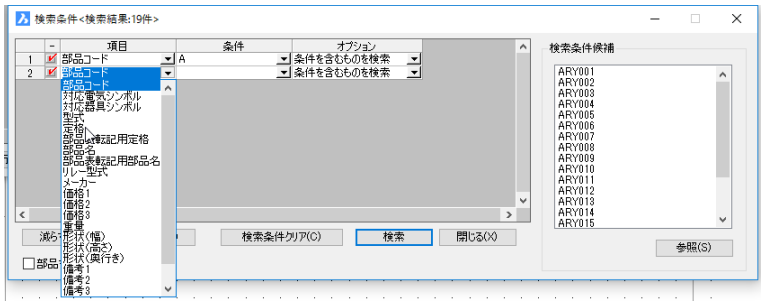
   参照(S) をクリックします。




3. 「検索条件候補」に候補が表示されます。

   増やす(M) をクリックして項目を追加します。

   [項目]の ▼ をクリックして「定格」を選択します。

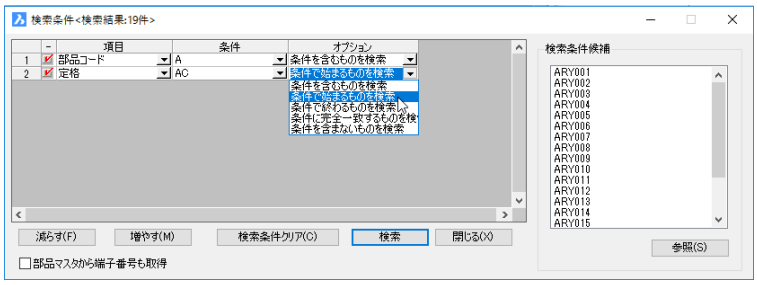



4. 「条件」を入力しオプションを選択します。

   条件:AC
   オプション

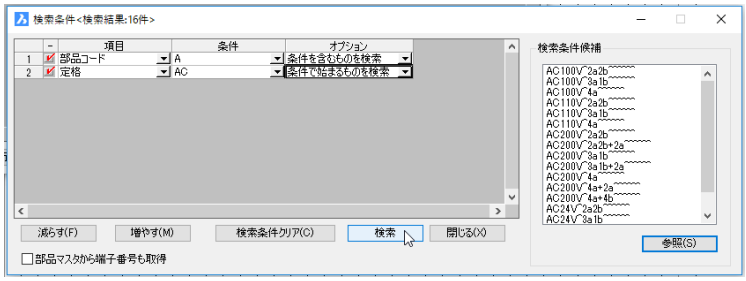
   :条件で始まるものを検索

   参照(S) をクリックします。

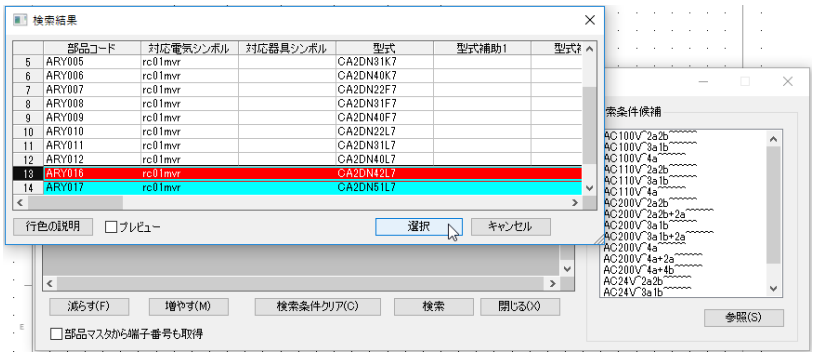



5. 検索条件候補の欄に「条件」を満たした「定格」のみが表示されます。

   検索 をクリックします。



6. 検索条件(検索結果)の後ろに表示されている検索結果ダイアログをカレントにします。

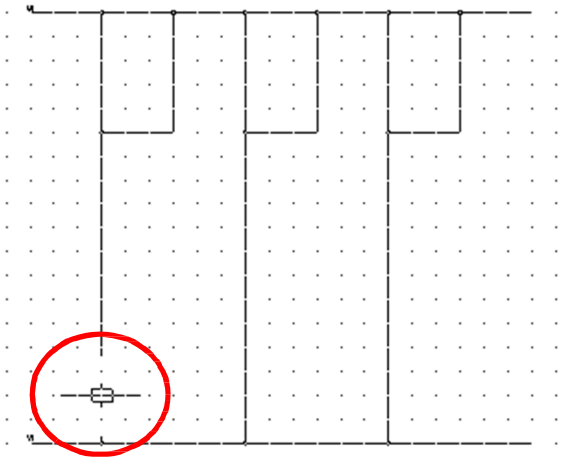



部品コードに"A"が含まれ型式が"AC"で始まる情報が表示されています。

選択:部品コードARY016

選択 をクリックします。

7. シンボルが仮表示されますので配線上に配置します。

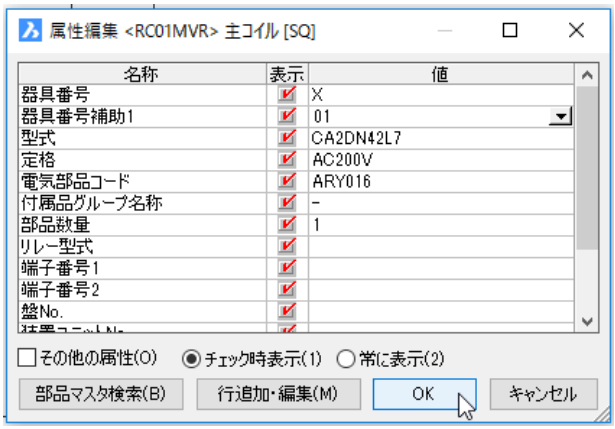


8. 属性編集ダイアログが表示されます。

器具番号/器具番号補助を入力します。

器具番号:X
器具番号補助:01

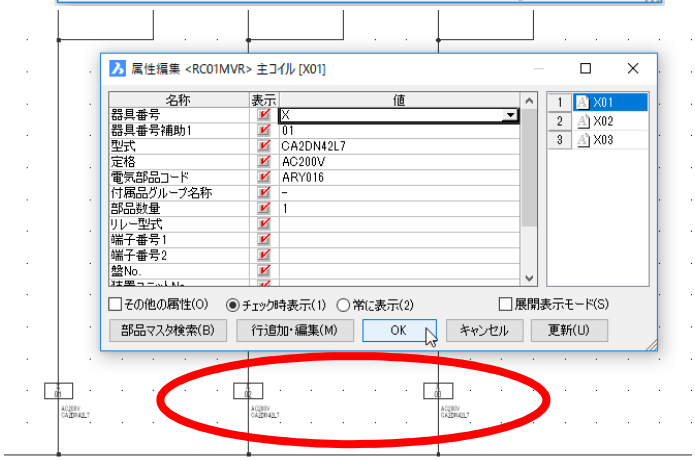
OK をクリックします。




9. 続けて右図を参照し 2 箇所にコイルを配置します。

Enter を押します。

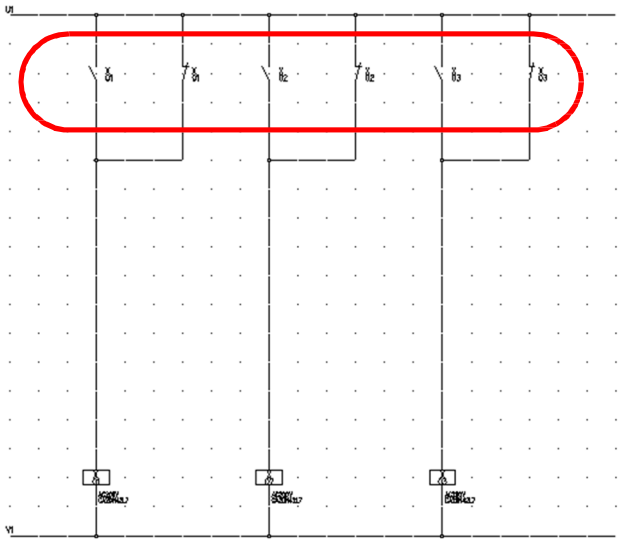
属性編集のダイアログが表示されますので、OK をクリックします。



**10.** 続けて[シンボル]-[シンボル入力(パレット)]で接点シンボルを配置します。

A 接点:asw1avr
B 接点:bsw1bvr

右図を参照して上記の
A 接点シンボル B 接点シンボルを
配置します。



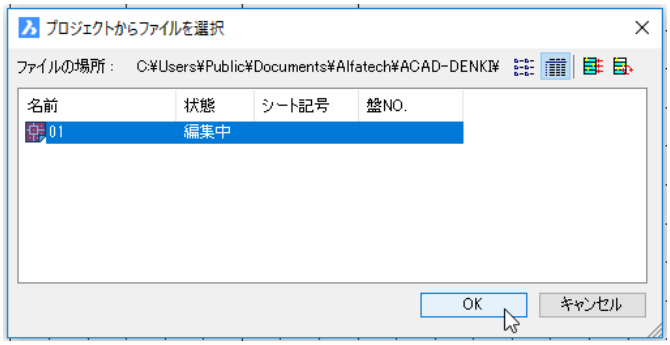
**11.** 図面を保存します。

[ファイル]-[上書き保存] を選択します。

## 4-1-3. 部品情報の抽出と反映

**1.** [ACAD-Parts]-[部品情報処理]を選択します。

プロジェクトからファイルを選択ダイアログが表示されます。

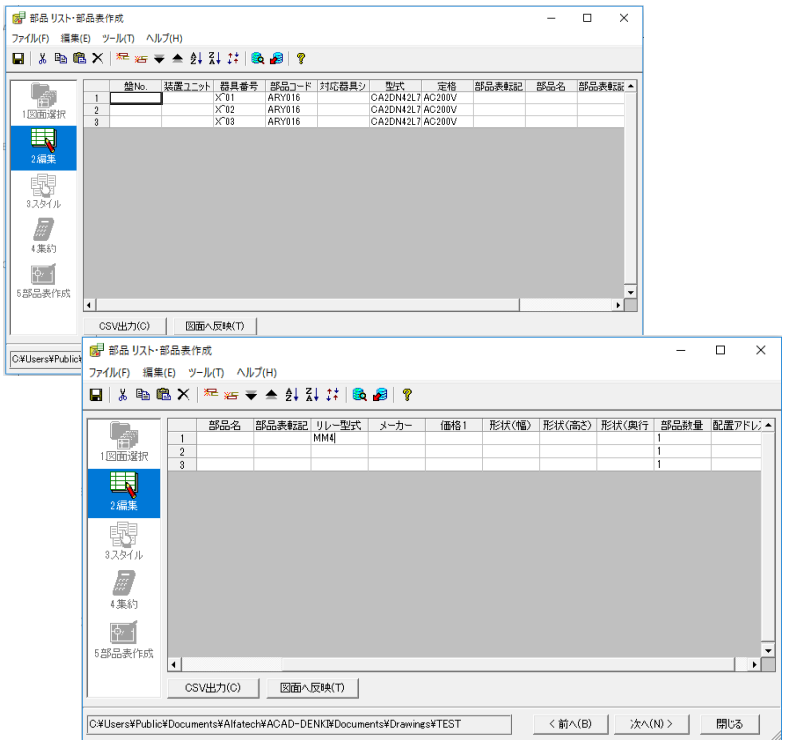



**2.** ファイルを選択します。

OK をクリックします。

図面から部品情報が抽出されます。

**3.** 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。




情報抽出後、

になります。

抽出内容に編集を加えます。

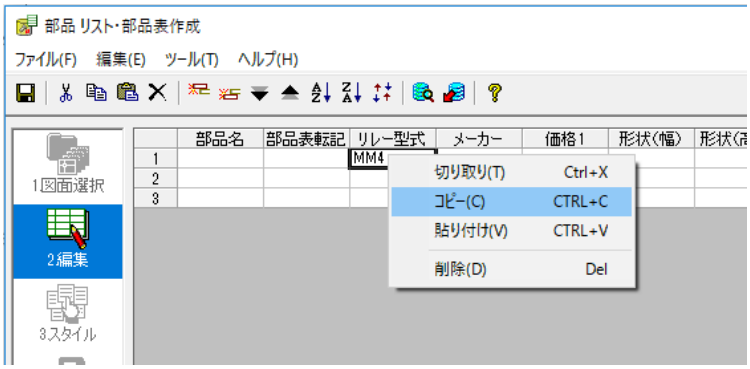
1 行目 [リレー型式]:MM4

※項目が表示されていない場合はダイアログを広げるかスライド バーを右側にスライドさせて表示させてください。

**4.** 入力した値をコピーします。

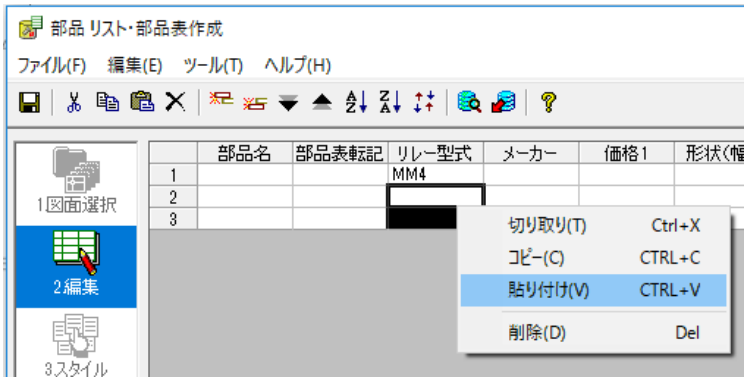
コピー元セルを選択します。

マウスを右クリックして表示されるメニューから「コピー」を選択します。




**5.** 貼り付け先セルを選択します。

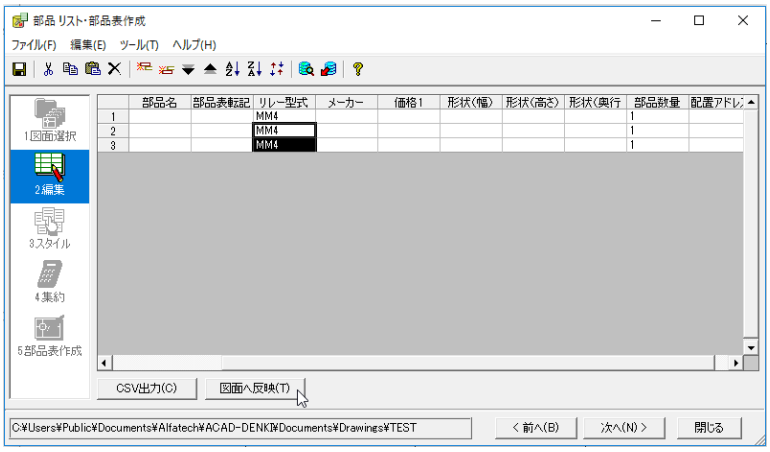
マウスを右クリックして表示されるメニューから「貼り付け」を選択します。




**6.** 貼り付け結果です。

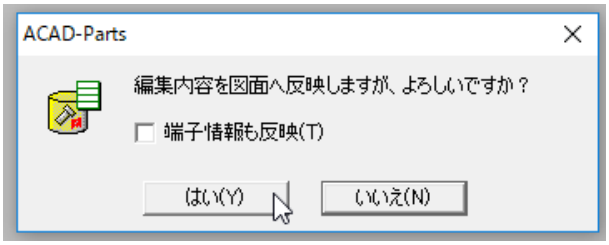
編集内容を図面に転記します。

図面へ反映(T) をクリックします。

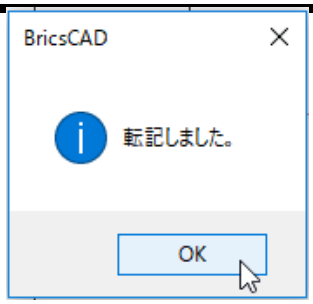



**7.** 確認のダイアログが表示されます。

はい(Y) をクリックします。



**8.** 確認のダイアログが表示されます。

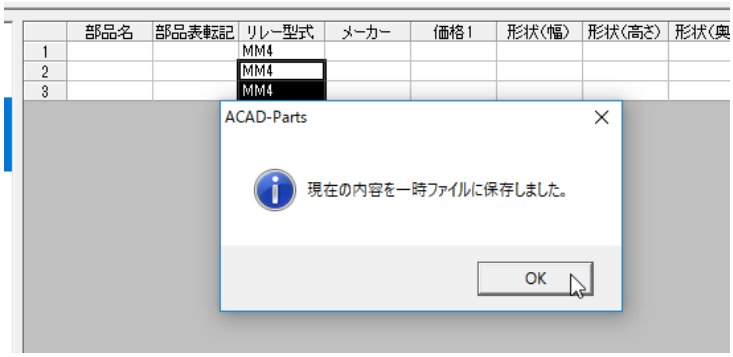



OK をクリックします。

**9.** 編集内容を保存します。

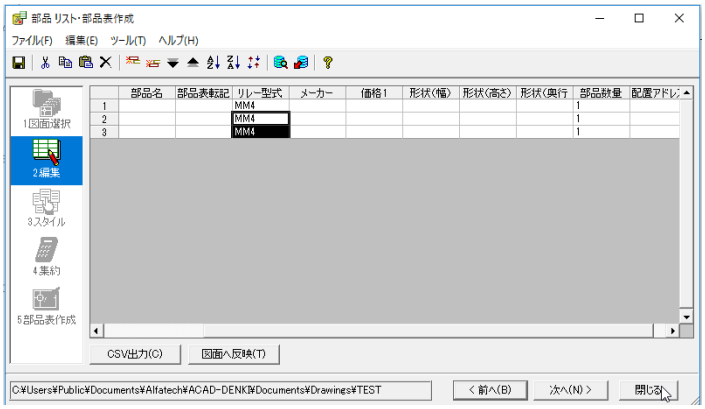
をクリックします。

**10.** 確認のダイアログが表示されます。




OK をクリックします。

**11.** 部品リスト・部品表作成ダイアログを終了します。




閉じる をクリックします。

**12.** 確認のダイアログが表示されます。

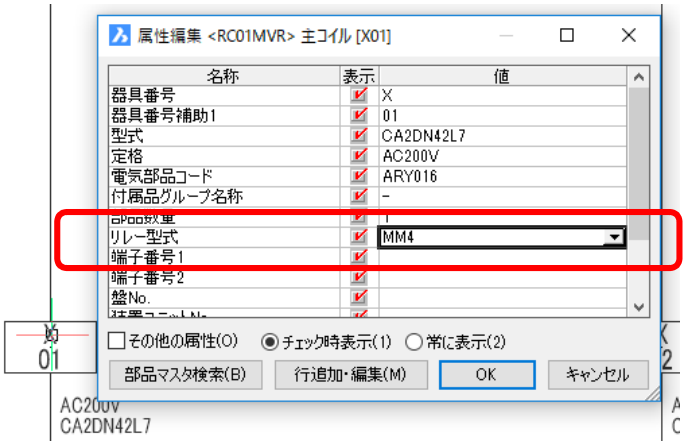
はい(Y) をクリックします。

部品リスト・部品表作成ダイアログが終了します。

**13.** 確認します。

右図は "X01" コイルを選択し右クリックで表示されるメニューから「編集(DENKI)」を選択して属性編集ダイアログを表示させた例です。

[リレー型式:MM4] が反映されていることが確認できます。
属性編集ダイアログは[キャンセル]をクリックして終了します。



# 4-2. 部品表作成

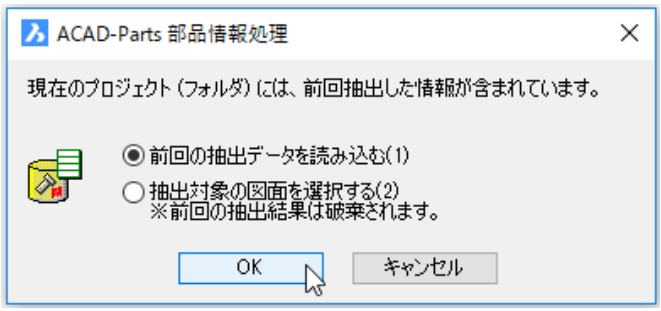
図面から抽出した情報を部品マスタの内容で更新し部品表を作成します。

## 4-2-1. 部品情報更新(部品マスタ)

1. [ACAD-Parts]-[部品情報処理]を選択します。
ACAD-Parts部品情報処理ダイアログが表示されます。

「前回の抽出データを読み込む」を選択します。

OK をクリックします。

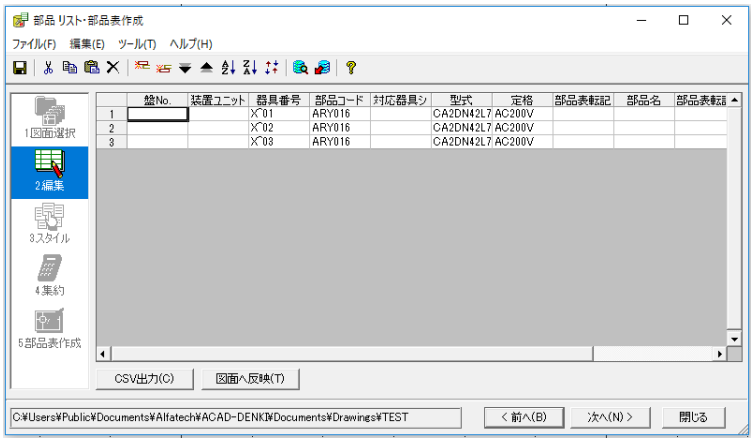



2. 部品リスト・部品表作成ダイアログが表示されます。

前回抽出結果画面の

が表示されます。

※「図面選択」はデスクトップアイコンなどからACAD-Partsを起動した場合に図面を選択するものです。
CADコマンドから部品情報処理を実行した場合は使用できません。



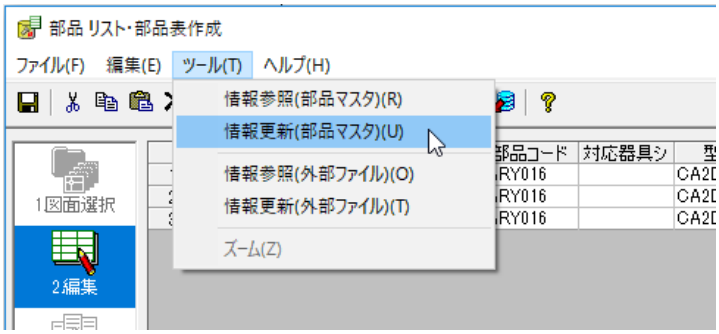

3. 図面に表記していない情報について部品マスタから更新を行います。

情報を更新する行を選択します。

選択:1,2,3 行

[ツール]-[情報更新(部品マスタ)]を選択します。

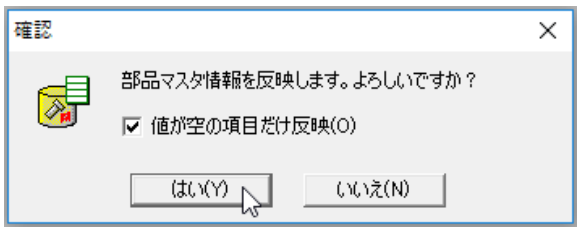
※部品マスタに登録されている「部品コード」と一致した行について内容が更新されます。



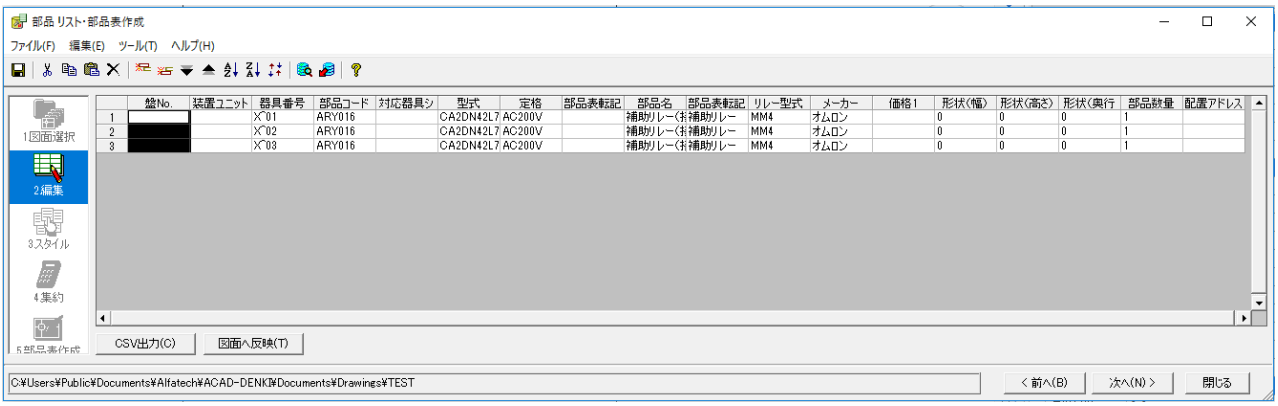

4. 確認のダイアログが表示されます。

「口値が空の項目だけ反映」にチェックを入力します。

をクリックします。



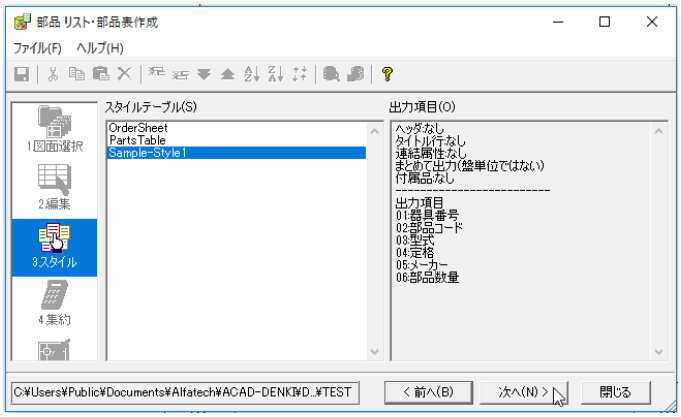
5. 更新結果です。
図面のシンボルに付加されていない属性については抽出されませんので必要に応じて部品マスタから更新します。




次へ(N) > をクリックします。

## 4-2-2. 部品情報の集約

1. 3.スタイル が表示されます。




スタイルテーブルを選択します。

選択:Sample-Style1

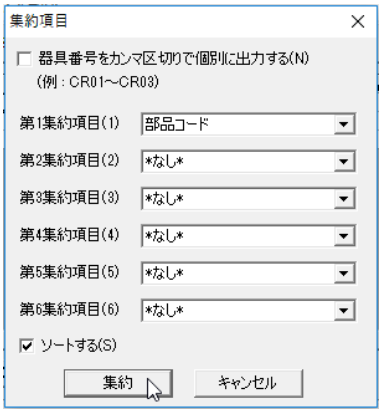
次へ(N) > をクリックします。

2. 4.集約 が表示されます。

内容を集約します。

データ集約(R) をクリックします。

**3.** 集約項目ダイアログが表示されます。




条件を指定します。本例ではデフォルトのままとします。

集約 をクリックします。

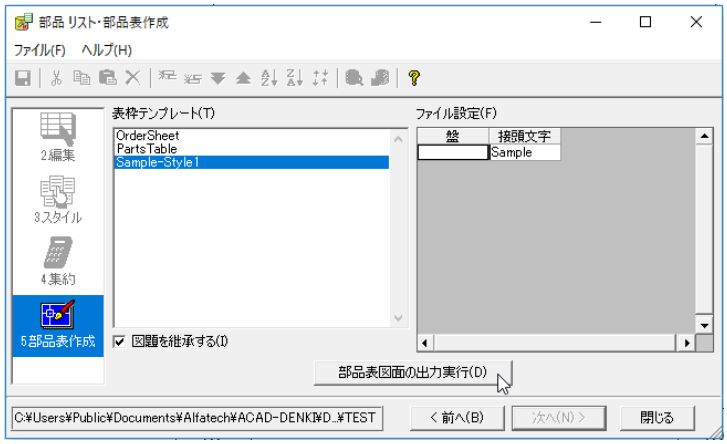
※集約項目のデフォルトは「ACAD-Parts環境設定」(3-1-1ACAD-Parts環境設定の起動P38参照)で変更できます。

**4.** 集約結果です。

次へ(N) > をクリックします

## 4-2-3. 部品表作成

**1.** 5.部品表作成 画面が表示されます。




表枠テンプレートを選択します。

選択:Sample-Style1

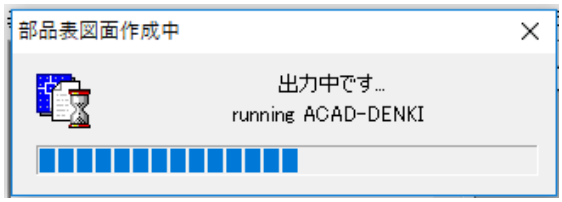
※ここで表示されるのはACAD-DENKIを起動して[ACAD-Parts]-[部品表テンプレート作成]で作成した表枠テンプレート名です。

部品表図面の出力実行(D) をクリックします。

**2.** 確認のダイアログが表示されます。

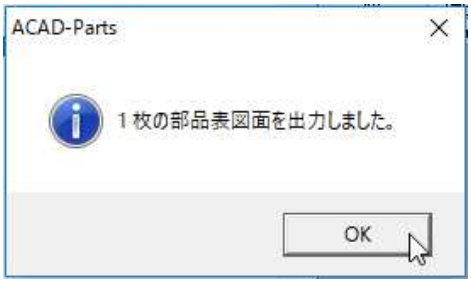
はい(Y) をクリックします。

部品表図面作成中ダイアログが表示されます。




3. ACAD-DENKIが起動し部品表が作成されます。

作成終了後確認のダイアログが表示されます。




OK をクリックします。

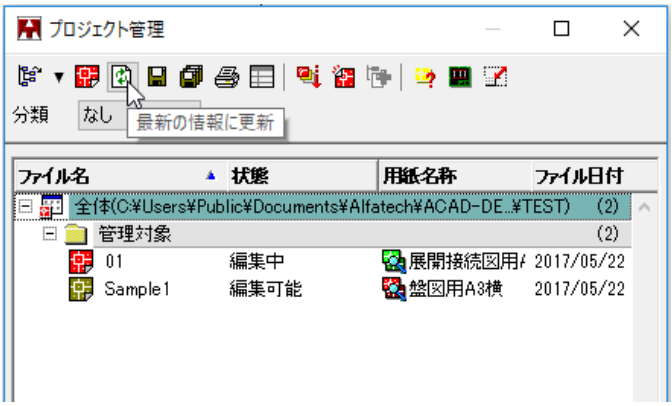
4. 閉じる をクリックします。

確認のダイアログが表示されます。

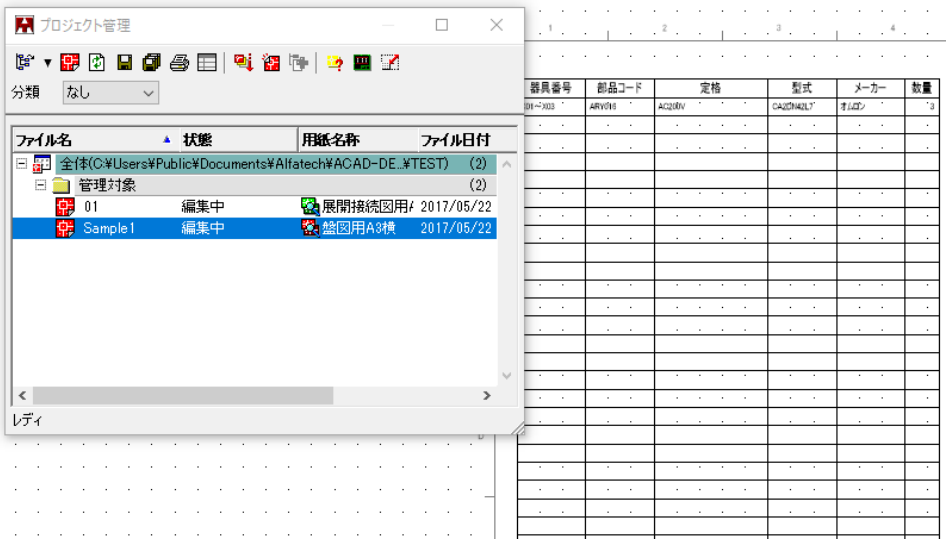
はい(Y) クリックします。

5. 部品表はプロジェクト内に作成されます。

プロジェクト管理を表示させても図面が確認できない場合は「最新の情報に更新」ボタンをクリックしてください。




図面を開いて "Sample01" を表示させた例です。



# 5 章. 盤図コマンド

その他図用の図枠を使用している図面を対象としたコマンド、及びプロジェクト内の電気図面の配置部品と盤図面配置部品の比較方法について説明します。

# 5-1. 器具仮配置

盤図面用の新規ページを作成し器具仮配置コマンドについて説明します。

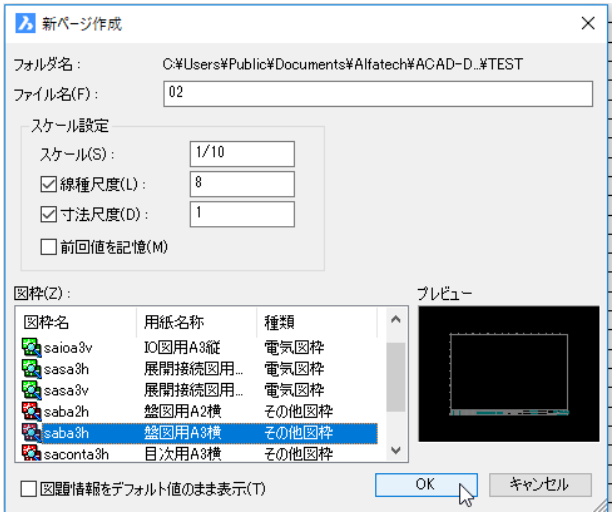
## 5-1-1. 新ページ作成

1. [プロジェクト]-[新ページ作成]を選択します。

   新ページ作成ダイアログが表示されます。

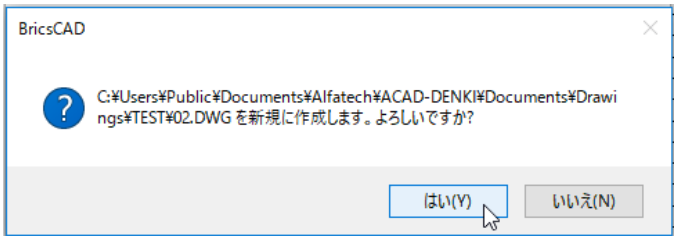
   ファイル名:02
   スケール:1/10
   図枠:saba3h

   OK をクリックします。




2. 確認のダイアログが表示されます。

   はい(Y) をクリックします。
   新ページが作成されます。



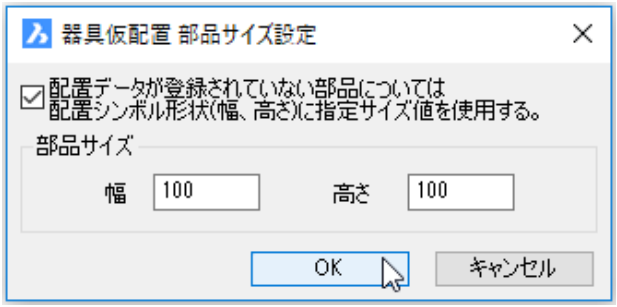

## 5-1-2. 器具仮配置操作

1. [ACAD-Parts]-[器具仮配置]を選択します。

   部品サイズ設定のダイアログが表示されます。

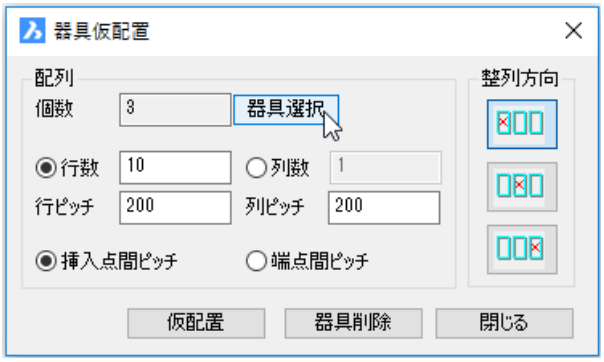
   ※抽出済みの部品情報のすべてに「対応器具シンボル」が設定されている場合は表示されません。

   OK をクリックします。



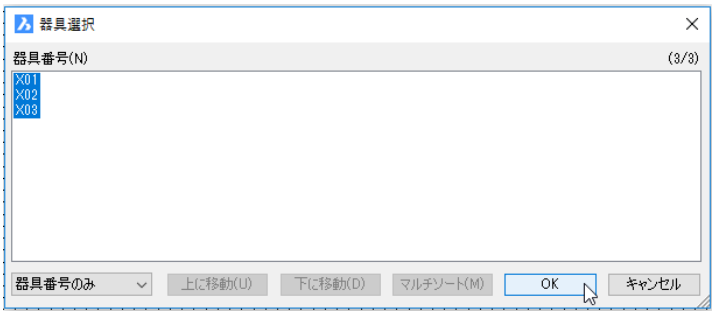

2. 器具仮配置ダイアログが表示されます。

   器具選択 をクリックします。



**3.** 器具選択ダイアログが表示されます。

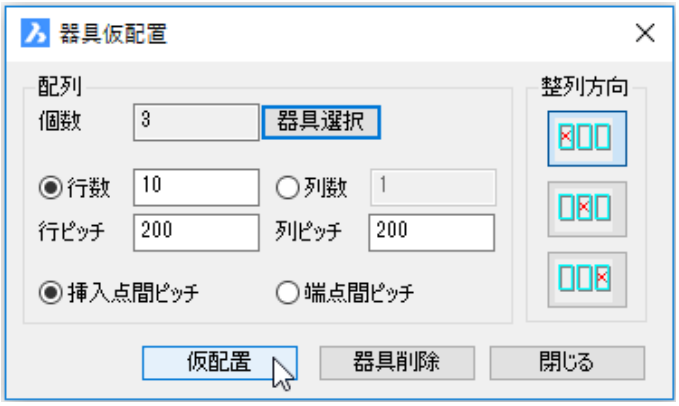
前回部品情報を抽出した器具番号が表示されます。
本例では確認のみします。




OK をクリックします。

**4.** 器具仮配置ダイアログに戻ります。

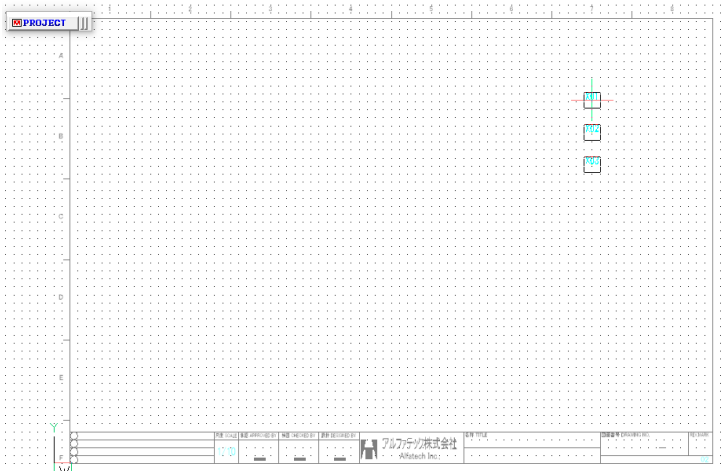
行数/ピッチなど設定します。




仮配置 をクリックします。

**5.** コマンドラインに「配置スタート基準点指示」と表示されます。

任意の位置をクリックして指示します。




**6.** 配置結果です。

ダミーシンボルが配置されます。

器具仮配置ダイアログは
閉じる をクリックして終了します。

[ファイル]-[上書き保存]を選択します。

# 5-2. Parts外部ファイル照合

外部ファイル情報と照合します

## 5-2-1. 情報の照合

1. [ACAD-Parts]-[Parts外部ファイル照合]を選択します。

   Parts外部ファイル照合ダイアログが表示されます。

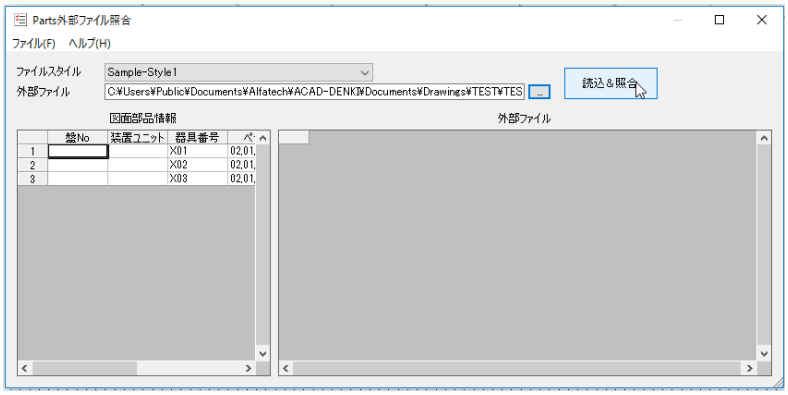
2. ファイルスタイルを選択します。

   右図例では「Sample-Style1」を指定しています。

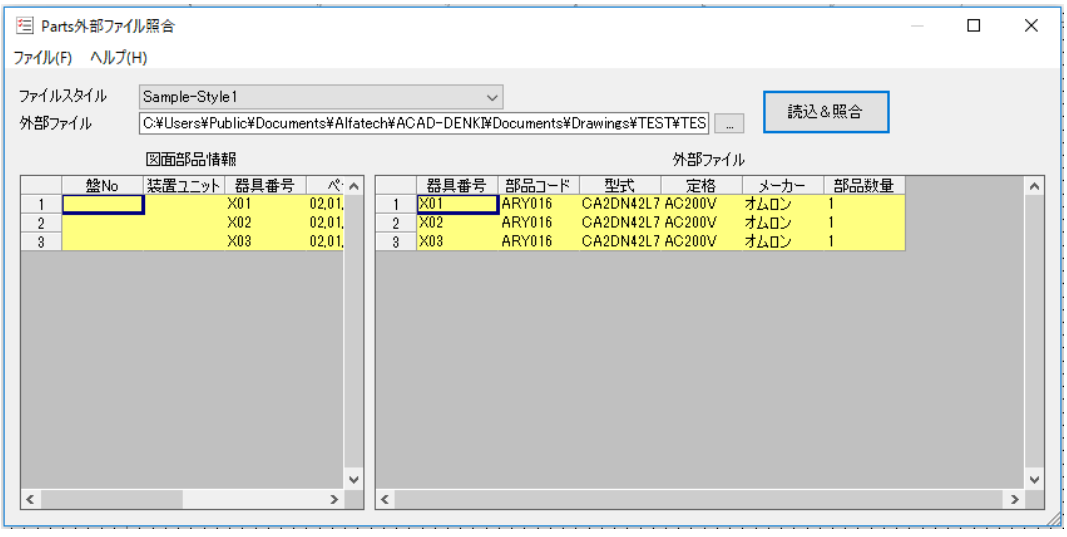
3. 外部ファイルを指定し[読込&照合] ボタンをクリックします。

   ※外部ファイルは事前の準備が必要です。

   本例では「4-2-2部品情報の集約」での集約前の結果をCSVに出力したファイルを使用した例です。




   結果です。



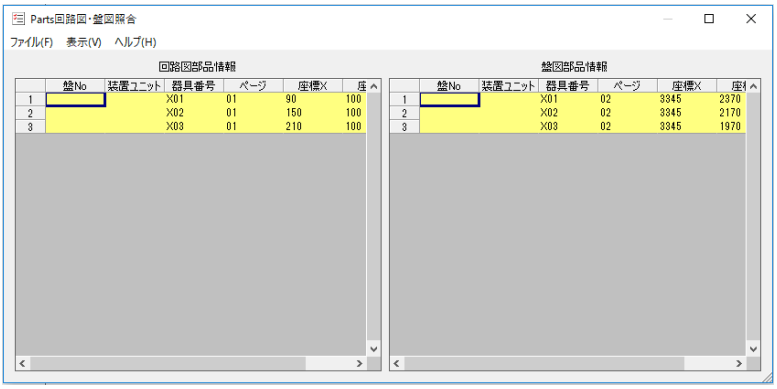
# 5-3. Parts回路図・盤図照合

作成した回路図面と盤図面の情報を照合します

## 5-3-1. 情報の照合

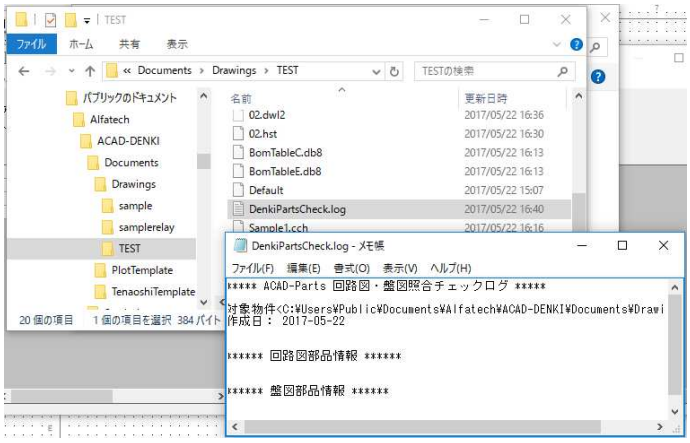
1. [ACAD-Parts]-[Parts回路図・盤図照合]を選択します。

   結果が表示されます。




※[ファイル]-[ログ出力]にて照合結果をログファイルに出力することも可能です。
logファイルは「DenkiPartsCheck.log」名称で、物件フォルダに作成されます。

右図のlogは相違の無い状態です。

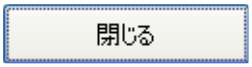



## 5-3-2. 色の説明

1. [ヘルプ]-[色の説明]を選択します。

   色の説明が表示されます。

   朱色:器具番号が無い
   緑色:回路図にのみ情報が有る
   水色:盤図にのみ情報が有る
   黄色:回路図・盤図ともに情報が有る
   薄紫:同一部品で部品コードが異なる

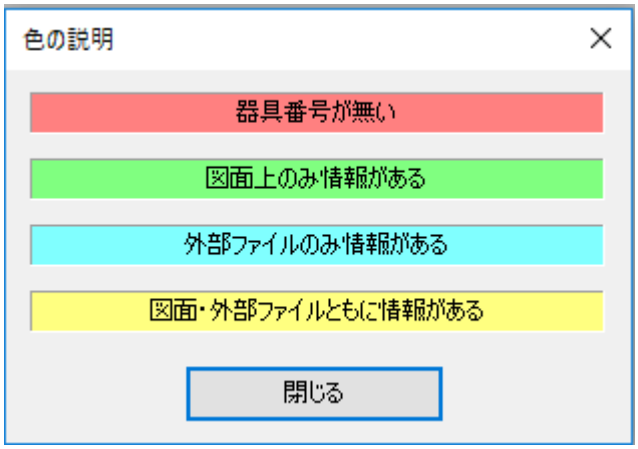
2. 確認後 

をクリックして閉じます。

3. Parts回路図・盤図照合ダイアログは確認後、「ファイル」ー「閉じる」を選択して終了します。

## 5-3-3. 色の説明

1. 色の説明をクリックします。



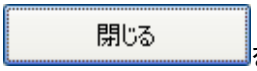

色の説明が表示されます。

朱色:器具番号が無い

緑色:図面上にのみ情報がある

水色:外部ファイルのみ情報がある

黄色:図面・外部ファイルともに情報がある

2. 確認後、 

をクリックして閉じます。

Parts回路図・盤図照合ダイアログは確認後、「ファイル」ー「閉じる」を選択して終了します。

# 6 章. 補足

操作をする上で参考になる章について解説します。

# 6-1. こんな時は?

ACAD-Partsでは環境設定・テンプレートの作図部品情報の編集などACAD-Partsでの操作・CADを起動しての操作・環境設定での操作などを行う必要があります。
目的に応じて本マニュアルでご参照していただく章を説明します。

## 6-1-1. 設定

| 目的 | 参考章 |
|---|---|
| 部品情報の項目を設定するには？ | 2-2. 部品マスタ設定 |
| 部品情報の確認(検索-表示)をするには？ | 2-3-2. 部品マスタメンテナンスの起動と検索 |
| 部品情報を編集（登録・削除）するには？ | 2-3-3. 部品情報の追加<br>2-3-6. 登録内容の削除 |
| 登録した部品情報内容（部品マスタメンテナンス）を外部ファイルに書き出すには？ | 2-3-4. 出力ファイルへ書き出し |
| 外部ファイルから登録した部品情報内容（部品マスタメンテナンス）を外部ファイルに書き込むには？ | 2-3-5. 入力ファイルから登録 |
| 部品に付属品情報を登録または削除するには？ | 2-4. 付属品情報 |
| 部品に端子情報を登録または削除するには？ | 2-5. 端子情報登録 |
| ファイルスタイル設定の表示項目を変更するには？ | 3-1-2. 部品表タブ |
| 部品情報抽出時に端子情報も抽出するには？ | 3-1-3. 対象タブ |
| 抽出される部品の数を指定するには？ | 3-1-5. 単位数量タブ |
| 集約する器具番号の表記を変更するには？ | 3-1-6. 集約項目タブ |
| 環境設定で行う設定とは？ | 3-1-10. ACAD-Parts 環境設定ダイアログ タブ説明まとめ |

## 6-1-2. 操作

| 目的 | 参考章 |
|---|---|
| ファイルスタイルの使用方法は？ | 3-2-1. ファイルスタイルの選択イメージ |
| ファイルスタイルを作成するには？ | 3-2-2. ファイルスタイルの新規作成 |
| 部品表テンプレートの設定方法は？ | 3-3. 部品表テンプレート作成 |
| 部品表テンプレートの使用方法は？ | 3-3-1. 部品表テンプレートの選択イメージ |
| 部品表テンプレートを作成するには？ | 3-3-2. 部品表テンプレートの新規作成 |
| 部品表テンプレートを修正するには？ | 3-3-3. 部品表テンプレートの修正 |
| 部品表などの図面を作成方法は？ | 3-4-1. 部品情報抽出から図面作成までの図解 |
| 作成した部品表の内容がおかしい場合は？ | 3-4-2. ファイルスタイル設定と部品表テンプレートについて |
| 部品マスタから情報を検索しながらシンボルを配置するには？<br>検索時に複数条件を指定するには？ | 4-1-2. シンボル入力(部品マスタ) |
| 図面から部品情報を抽出する方法は？ | 4-1-3. 部品情報の抽出と反映 |
| 部品表図面を作成する方法は？ | 4-2-3. 部品表作成 |

＜＜このページは白紙です。＞＞

ACAD-DENKI 2019 ACAD-Parts マニュアル 入門編

2018年7月 第 1 版発行

発行者
図研アルファテック株式会社
http://www.alfatech.jp/